

松戸市立博物館年報

第26号－平成30年度（2018）



松戸市立博物館
MATSUO MUSEUM

はじめに

昨年度は松戸市制75周年、かつ松戸市立博物館開館25周年の記念の年でした。もう開館して四半世紀が過ぎたのかという思いとともに、50周年に向けて決意を新たにしました次第です。

さて、昨年度の当館の主な活動について、ご報告させていただきます。

まず、展覧会ですが、春には館蔵資料展「まつどの江戸時代－古文書・絵画・模型からさぐる－」を開催しました。江戸時代の松戸を取り上げるのは久しぶりです。

松戸市は美術作品を多数所蔵していますが美術館がないため、当館が数年おきに美術展の場を提供しています。昨年夏には「松戸ゆかりの美術展－その潜在力－」が開催されました。

秋には特別展「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」を開催しました。博物館が所蔵するガンダーラ関係遺品を中心とした展覧会です。新聞やテレビで大きく取り上げていただいたこともあり、予想以上の人気で、有料の企画展として過去最高の来場者を記録しました。

冬は、恒例の学習資料展「昔のくらし探検」の他に、企画展「日本の太鼓・世界の太鼓」を開催しました。「21世紀の森と広場」に所在する、21世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール21との初めての連携プログラムです。今後もこのような連携企画に取り組んでいく所存です。

その他では、「松戸市立博物館アワード」が3年目を迎え、優秀作品が数多く寄せられて、この企画が広く浸透してきたことがうかがわれました。

「松戸駅前博物館」は、松戸市民劇場を会場とした、博物館の年2回の館外活動として多くの来場者を得ることができました。

また、昨年、松戸唯一のデパートが閉店しました。そこで「ミニ写真展」では、「街にデパートができた頃」と題して、デパートが開店した44年前の松戸の様子を4回にわたって振り返りました。

毎年のことですが、昨年度も「博物館友の会」をはじめ、多くの皆様のご支援・ご協力を得て、博物館の事業を進めることが出来ました。厚く御礼申し上げますとともに、今後ともご支援・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和元年8月23日

松戸市立博物館長

I	沿 革	3
II	施設の概要	5
III	事業の概要	6
1	常設展示	
	(1)総合展示	
	(2)主題展示	
	(3)野外展示	
	(4)映像展示	
2	資料・企画展示	9
	(1)市制施行75周年・開館25周年記念館蔵資料展「まつどの江戸時代 ―古文書・絵画・模型からさぐる―」	
	(2)市制施行75周年記念展「松戸ゆかりの美術展 ―その潜在力―」	
	(3)市制施行75周年・開館25周年記念特別展「ガンダーラ ―仏教文化の姿と形―」	
	(4)市制施行75周年・開館25周年記念学習資料展「昔のくらし探検」	
	(5)市制施行75周年・開館25周年記念企画展「日本の太鼓・世界の太鼓」	
	(6)ミニ写真展	
	(7)第4回松戸市展選抜展	
	(8)松戸市小中学生優秀作品展	
3	学習支援	30
	(1)講演会	
	(2)講座	
	(3)体験学習	
	(4)ミュージアムシアター・プレイルーム	
	(5)館内公開	
	(6)ガイドツアー（常設展示解説）	
	(7)情報提供	
4	連携事業	43
	(1)博学連携プログラム	
	(2)その他	
5	調査・研究	50
	(1)松戸市古文書調査（委託）	
	(2)研究員の活動	
	(3)学芸員の活動	
6	資料の収集と利用	54
	(1)資料の収集	
	(2)博物館資料の貸出	
	(3)博物館資料の特別利用	
	(4)資料の燻蒸等	
7	平成30年度常設展・企画展アンケート結果	58
	(1)平成30年度常設展	
	(2)市制施行75周年・開館25記念館蔵資料展「まつどの江戸時代 ―古文書・絵画・模型からさぐる―」	
	(3)市制施行75周年・開館25記念特別展「ガンダーラ ―仏教文化の姿と形―」	
	(4)市制施行75周年・開館25記念学習資料展「昔のくらし探検」	
	(5)市制施行75周年・開館25記念企画展「日本の太鼓・世界の太鼓」	
IV	組織と運営	63
1	組織	
2	歳出予算	
3	事務事業	
4	各種委員会等	
5	博物館利用者数の統計	
6	来訪者	
V	条例・規則	68
	職員名簿	

I 沿 革

月 日	事 項
昭和39年12月	松戸市公民館に郷土資料室設置(50㎡)
昭和46年 4 月	(財)松戸市開発協会内に移転、松戸市郷土資料館となる。(227.47㎡)
昭和49年11月	松戸市文化ホール内に移転、郷土資料コーナーとなる。(330㎡)
昭和56年 3 月	松戸市文化ホールが博物館相当施設となる。
5 月	松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)構想調査会条例制定 松戸市美術館構想調査会発足[委員 7 名]
昭和58年 8 月	松戸市美術館構想調査会、松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)構想について答申(18回開催)
昭和59年 4 月	社会教育部内に美術館準備室設置
6 月	松戸市美術館(郷土資料館及び古文書館を含む)建設調査会発足[委員10名]
11月	松戸市美術館建設調査会、美術館について答申
昭和60年 3 月	松戸市美術館建設調査会、郷土資料館・古文書館について答申(7回開催)
昭和63年 9 月	市議会に文化施設建設対策特別委員会設置[委員15名]
10月	第4次総合5ヶ年計画で郷土博物館(仮称)建設決定 美術館準備室に博物館担当学芸員を配属
11月	松戸市立郷土博物館展示検討委員会発足[委員10名]
12月	建設用地を総合公園「21世紀の森と広場」内と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会発足[委員 8 名]
平成元年 3 月	文化施設建設対策特別委員会において建築設計事務所選定方式をプロポーザル方式と決定 松戸市立郷土博物館設立懇談会において展示の基本構想を決定
4 月	文化施設建設対策特別委員会において展示設計業者選定方式を特命方式と決定
8 月	総合公園「21世紀の森と広場」内に建設位置決定
11月	松戸市立郷土博物館建築設計事務所選定委員会発足[委員 8 名] 展示基本設計を(株)乃村工藝社に委託
12月	建築設計事務所を(株)佐藤総合計画に決定
平成2年 2 月	建築基本設計を(株)佐藤総合計画に委託
3 月	建築実施設計を(株)佐藤総合計画に委託
6 月	展示実施設計を(株)乃村工藝社に委託
9 月	博物館本体工事を大成・海老澤共同企業体と契約 博物館新築工事着手
平成3年 9 月	展示工事及び展示物製作を(株)乃村工藝社に委託、工事・製作着手
平成4年 1 月	外構工事着手
3 月	植栽工事着手
4 月	美術館準備室から分かれ、博物館開設室設置
6 月	建築工事、外構工事竣工
7 月	野外展示工事着手、植栽工事竣工
9 月	松戸市立博物館条例制定(館名「松戸市立博物館」に決定)
12月	野外展示工事竣工
平成5年 1 月	展示工事竣工
3 月	松戸市立博物館管理運営規則制定

4月	松戸市立博物館開館(29日) 初代岩崎卓也館長就任
10月	松戸市立博物館協議会発足[委員10名]
平成6年4月 6月	機構改革にともない市立図書館より市史編さん係を移管 館蔵「幸田貝塚出土品」266点 国重要文化財指定(28日付)
平成7年6月	博物館登録 千葉県教育委員会 平成7年6月9日 登録番号第30号 博物館資料数 4,385点 (歴史資料 1,686点 考古資料 2,650点 民俗資料 49点
平成8年10月	博物館等資料選定評価委員会発足[委員5名]
平成9年3月	博物館開館5周年記念特別展示(期間:3月20日から5月11日まで) 「シルクロードとガンダーラ」展を実施
平成10年4月	博物館事業として「自然史」を加える。(松戸市立博物館条例改正) 機構改革にともない市史編さん係を廃し庶務係に吸収する。
平成13年10月	観覧料に「共通観覧料」を設ける。(松戸市立博物館条例改正)
平成14年6月	松戸市立博物館友の会発足(16日)
平成15年10月	松戸市制施行60周年記念・松戸市立博物館開館10周年記念特別展示(期間:10月11日から11月30日まで)「川の道 江戸川」展を実施
平成18年10月	松戸市根本内歴史公園開園記念企画展「戦国の城をさぐる」実施(期間:10月7日から11月26日まで)
平成19年12月	松戸市立博物館友の会設立5周年活動記録「5年のあゆみ」刊行
平成20年3月 4月 10月	初代岩崎卓也館長退任 2代関根孝夫館長就任 組織改革により、係制を廃止 ハイビジョンシアターをミュージアムシアターに改称 松戸市立博物館開館15周年記念特別展示(期間:10月11日から12月7日まで) 「縄文時代の東・西」展を実施
平成21年5月	市史編さん委員会に、原始・古代及び中世各部会を設置し、松戸市史上巻改訂事業に本格的に着手。
平成23年3月 4月	東日本大震災発生(11日) 観覧料「中学生以下は無料」となる。(松戸市立博物館条例改正)
平成24年3月 4月	2代関根孝夫館長退任 3代望月幹夫館長就任
平成25年10月	松戸市制施行70周年・松戸市立博物館開館20周年記念特別展示(期間:10月5日から11月24日まで)「松戸の発掘60年史－市内の遺跡を再検討－」展を実施
平成26年12月	「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」を条例化し、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」を制定(平成27年4月1日施行)
平成27年2月	『松戸市史 上巻(改訂版) 原始・古代・中世』を刊行
平成30年4月	松戸市立博物館管理運営規則第5条の観覧料の免除等の(1)「高校生及び高校生以下を引率する者～」を「大学生及び大学生以下の者を引率する者～」に拡大、(3)の「市内に居住する身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保険福祉手帳の交付～」から「市内に居住する」という市内要件を削除した。
平成30年9月	松戸市制施行75周年・松戸市立博物館開館25周年記念特別展示(期間:9月22日から11月25日まで)「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」展を実施
平成30年3月	松戸市制施行75周年・松戸市立博物館開館25周年企画展示(期間:3月9日から3月24日まで)「日本の太鼓・世界の太鼓」展を実施。「21世紀の森と広場」に所在する21世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール21、および当館の3館による初の連携企画。

Ⅱ 施設の概要

建築の概要

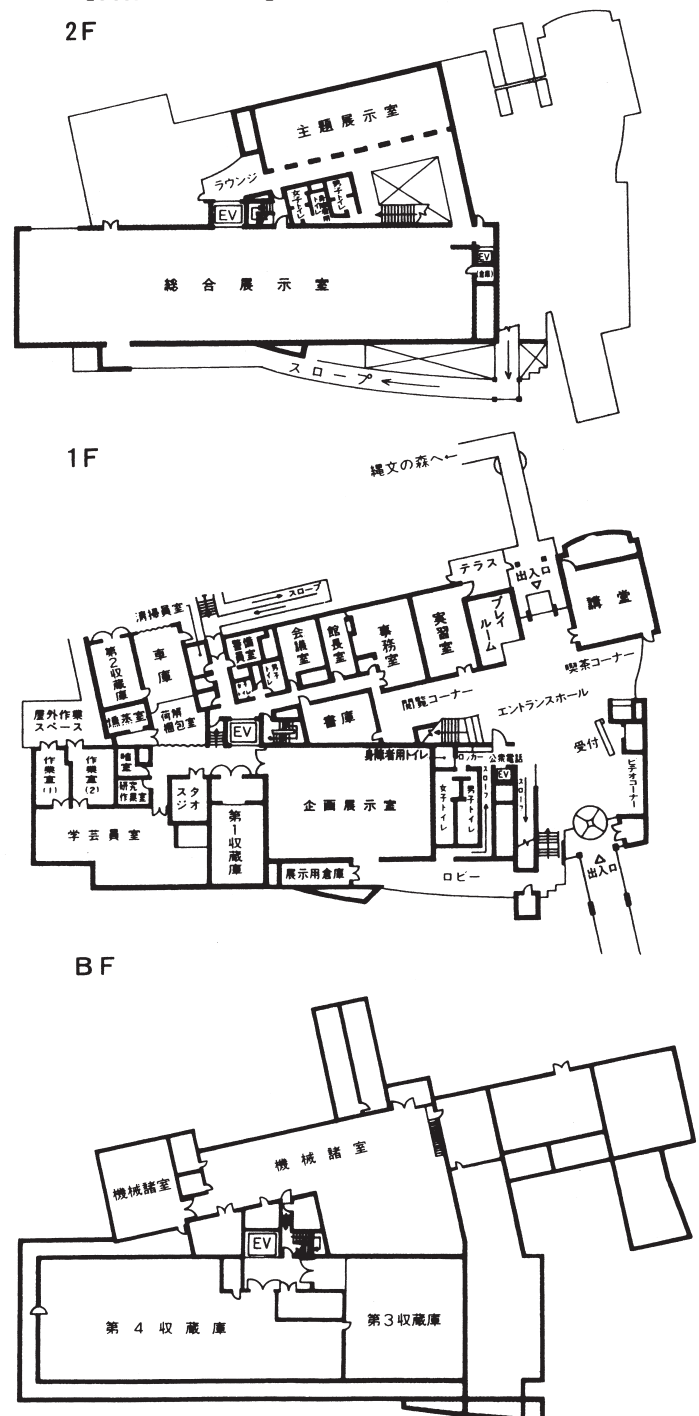
- 1) 敷地面積 7,795.81㎡ 2) 建築面積 2,709.92㎡
 3) 延床面積 5,446.73㎡ 1階 2,515.17㎡／2階 1,542.92㎡／地下1階 1,388.64㎡
 4) 階数 地下1階・地上2階 5) 構造 鉄筋コンクリート造一部鉄骨造(展示室 PRC梁構造)
 6) 高さ 14.4m

注) 博物館周辺環境との調和をはかるため高さを15m以内に、また地下水などの水脈保全のため地下部分についても10m以内に制限して建設を行った。

[各室の面積]

区分	室名	室数	階層	面積(㎡)
展示部門	総合展示室	1	2	873.40
	主題展示室	1	2	215.09
	企画展示室	1	1	318.85
	展示用倉庫	1	1	33.12
	小計			1,440.46
収蔵・保存部門	第1収蔵庫	1	1	102.67
	第2収蔵庫	1	1	46.20
	第3収蔵庫	1	B1	231.38
	第4収蔵庫	1	B1	472.41
	車庫・荷解梱包室	1	1	109.54
	作業室(1)	1	1	33.71
	作業室(2)	1	1	42.98
	燻蒸室	1	1	31.32
	小計			1,070.21
教育普及部門	講堂	1	1	124.88
	実習室	1	1	70.97
	プレイルーム	1	1	51.60
	閲覧コーナー	—	1	78.80
	ビデオコーナー	—	1	45.66
	小計			371.91
調査研究部門	書庫	1	1	50.19
	学芸員室	1	1	193.49
	スタジオ・暗室	1	1	40.30
	研究作業室	1	1	16.99
	小計			300.97
管理部門	館長室	1	1	33.03
	事務室	1	1	83.98
	会議室	1	1	38.27
	警備員室	1	1	25.03
	清掃室	1	1	10.67
	機械諸室	—	B1	575.49
	管理共有部分	—	1	424.54
	小計			1,191.01
サービス部門	エントランスホール	—	1	333.12
	喫茶コーナー	—	1	56.29
	ロビー	—	1	106.32
	スロープ	—	—	196.91
	共有部分	—	—	379.53
	小計			1,072.17
	合計			5,446.73

[各階の平面図]



Ⅲ 事業の概要

1 常設展示

(1) 総合展示

ゾーン1 人類の登場

■ 松戸のあけぼの

旧石器時代の展示空間は常設展示室の入り口部分、展示全体の導入部であるので、短時間で旧石器時代に関心を抱いてもらえるように、見てわかる展示を心がけた。特に実資料(石器)の展示については、単に「石」の羅列にならないように、3つの展示スペース相互に関連をもたせた。

ゾーン2 狩りと採集のムラ

■ 縄文人の暮らし

近年の相次ぐ発掘調査の成果は、これまでの縄文時代の生活に対する私達のイメージを一変させている。ここでは、遺跡から出土する動物・植物遺存体を手がかりにして、ムラの外での生業活動の復元を行い、貝の花貝塚の復元模型を中心にムラの中での日常生活の復元を行っている。

■ ムラのうつりかわり

縄文時代は安定した食糧供給に支えられて、人々は定住を始め、やがてムラを営むようになった。この縄文時代草創期から晩期にいたるムラの盛衰と生活基盤の変化を、幸田貝塚・子和清水貝塚・貝の花貝塚など、市内の遺跡の出土資料等を使用して、明らかにしようと試みている。

■ 人々の交流

縄文時代の人々は、近隣だけでなく、遠く離れた地域の人々とも交流していたことが、遺跡から出土する土器・石器などによってわかる。ここでは、松戸市内から出土した石器石材の産地推定を通して、松戸を中心とした縄文時代の人々の交流圏や、石材の入手経路について、展示を行っている。

ゾーン3 稲作社会の誕生

■ 米作りの暮らし

弥生時代になって中国大陆や朝鮮半島から多くの人々が日本に到来し、様々な新しい技術をもたらした。とりわけ、古墳時代の変化を松戸市域の出土資料を用いて展示している。

■ 古墳の出現

前方後円墳という共通の形の墓が全国で築かれた古墳時代における松戸市域の特質を、河原塚古墳群や栗山古墳群などの出土遺物を用いて展示を行っている。

ゾーン4 下総国のはじまり

■ 古代の松戸

古代の松戸周辺は下総国西端の葛飾郡に含まれていた。下総国の国府は市川市国府台周辺にあったと考えられており、この時期の松戸市域は政治的求心力のある国府の近郊地域として位置づけられる。

ゾーン5 武士と民衆

■ 千葉氏と高城氏

武士が政権の座に就いた中世、鎌倉時代の松戸市域では千葉氏の一族が登場する。本拠とした風早郷を名乗った風早氏である。室町から戦国時代にかけては高城氏が勢力を伸ばした。戦国後期に大谷口小金城を本拠とした高城氏は、東葛飾地域最大の領主となった。高城氏は戦国大名間の争いの渦中で、次第に後北条氏の支配に属するようになり、やがて豊臣秀吉の天下統一により滅亡を余儀なくされた。関連する文書資料および小金城出土資料などから同氏の当該期における位置づけを解説している。

■ 中世人の生と死

中世の人々は現世のみならず来世での幸福を強く願った。市内に残存する資料からその具体的な信仰を探った。板碑は供養碑としてとくに関東地方で流行した。市内の武蔵型板碑の出土地を見ると、多くは小さな谷が入り組んだ台地の縁辺部であるところから、中世人の生活空間が推量される。また関東中世史の研究に欠かせない「本土寺過去帳」所載の地名と一致する場合も多い。過去帳はその存在自体が人々の往生願望の現れであるが、ほかにも合戦記事、多くの職人の名などが見える。展示においてはその豊富な内容の一端を解説している。

ゾーン6 町場と村

■ 近世の村

近世社会に入っところの松戸市域はほとんどが農村で、幕末でも松戸宿・小金宿を除き53の村(新田村を含む)に分かれていた。近世の領主は、村を行政単位として年貢などを徴収したり、宗門改めや五人組制度等によって農民を支配し、村では名主・組頭などの村役人を代表者として生産・生活を営んでいた。当時の農村生活の楽しみには、庚申講などでの共同飲食や、お伊勢参りなど寺社参詣の旅があった。

■ 宿場と河岸

松戸市域には水戸道中松戸宿と小金宿の2つの宿場町があった。幕府の交通政策によって公的に設定された宿は、単なる交通の拠点としてでなく、周辺の流通・経済の中心地として発展した。特に江戸川岸に河岸場が発達した松戸宿は、陸上交通だけでなく、江戸川と利根川の河川交通・流通の中継基地という性格が加わり、また江戸川の対岸金町に幕府が関所を設けたので旅籠も多く、下総北西部の重要な町場に発展した。

■ 小金牧と御鹿狩

下総台地には古代から馬の牧場が設置され放牧が行われていた。江戸幕府はこの台地に直轄の牧場、小金牧・佐倉牧を開設するが、大半が小金牧に含まれた市域は、牧を管理する野馬奉行役宅や金ヶ作役所が設けられ、牧支配の中核地だった。また、徳川将軍家は「御鹿狩」と呼ばれた大規模な狩りを小金原で計4回行ったが、その舞台は現在の松飛台周辺だった。この狩りには、小金原の地元はもちろん武蔵・上総など4か国から農民が勢子として動員されたが、めったにない娯楽的要素もあった。

ゾーン7 都市へのあゆみ

■ 松戸1868～1960

近代を迎えた松戸は葛飾県、印旛県をへて千葉県に編入される。郡役所、郵便局、警察、裁判所が置かれ、東葛飾郡の行政の中心となった。19世紀末から20世紀初頭にかけては常磐線、流鉄、東武野田線(いずれも現在の名称)が市内を通過し、交通網の整備がすすむ。やがて戦争の時代にいたると多くの市民が戦場へ駆り出され、あるいは銃後の生活を強いられた。戦後の松戸は常盤平団地に象徴されるように、首都圏の住宅供給地として、大きくその景観、産業構造を変貌させている。このような近現代での松戸の変化を絵年表を中心に、市域の変遷図、土地利用変遷図などの資料を用い、日本史全体の流れを考慮しつつ解説している。

■ 下谷・谷津・台

松戸市が現在のような姿になったのは、昭和30年～40年代の高度経済成長期に大規模な宅地開発や工業団地の造成が行われたことが大きい。この時期には人口の社会増が大きく、市民の生活も全体的な景観も大きく変貌した。ここでは、下谷・谷津・台というフォークタームから、市域を江戸川低地(下谷)、下総台地の開析谷周辺(谷津)、下総台地の平坦面(台)の3種類に分け、大きな変貌を遂げる直前の昭和30年代前半の景観模型をもとに、地形、水利、生産形態、住まい方などを例にとって先人の人々の生活の場がどのようなものであったのかを対比的に説明している。

■ 常盤平団地の誕生

松戸市は昭和30年代の半ばから、その大半を占めていた近郊農村から首都圏の住宅都市へと急激にその姿を変貌させていくが、その先駆けとなったのが常盤平団地であった。この団地の住民の大半が首都圏の企業に勤めるサラリーマンの家庭で、住宅都市を目指していた松戸市の新しい市民像を代表していた。この展示では、あるサラリーマン家庭の昭和37年の暮らしが当時の生活財によって原寸大の2DKのなかに復元されている。

(2) 主題展示

主題1 考古学と科学の眼

総合展示室で復元されている4000年前の縄文時代に存在した森はどのようにして復元されたのか、また、縄文時代の海岸線をどのようにして知ることが出来たのか。あるいは、文字などのなかった遙か昔の年代がなぜ分かるのか、といった主に自然科学的な手法を用いた歴史の復元方法を紹介している。

主題2 虚無僧寺一月寺

江戸時代の小金宿には、青梅鈴法寺とともに普化宗総本山だった一月寺があり、全国に知られていた。中国唐代の普化禅師を宗祖とする禅宗の一派だった普化宗と、その僧侶である虚無僧が、近世前期に成立して近世中期に最盛期を迎えたこと、また、映像によって虚無僧の姿や生活の歴史や、江戸時代虚無僧に独占された尺八の歴史・音楽などを紹介している。

主題3 二十世紀梨の誕生

果物のナシの代表品種「二十世紀梨」は、現在鳥取県での栽培が有名であるが、実は明治時代に現在の松戸市内で松戸覚之助少年に偶然発見され、次第に全国で栽培されたのであった。そのため、現在市内に「二十世紀が丘」の地名が残るが、この展示室では発見者松戸覚之助のことや、発見以前(江戸時代)から盛んであった下総東葛地域のナシ栽培の歴史、また映像により現在の市内梨園での二十世紀梨の開花から収穫までの栽培の様子を紹介している。

主題4 三匹獅子舞

松戸市内の3地区で演じられている獅子舞は、ひと組の踊り手が3人からなる「三匹獅子舞」と呼ばれるものである。シシ(獅子)が登場する芸能は日本国内ではなじみ深いものであるが、一口にシシといっても、頭の形・演じ方ともにさまざまな違いがあることは意外に知られていない。ここでは山路興造氏の所説をもとに、三匹獅子舞の特徴、一人立ちの獅子舞と二人立ちの獅子舞の差異、絵画史料にみる一人立ちの獅子舞と風流踊、といった観点から三匹獅子舞の系譜と地域的広がりを映像を用いて解説している。

(3) 野外展示

竪穴住居復元

博物館北側の台地に、市内の遺跡から発掘された住居跡の資料に基づいて、縄文時代中期の竪穴住居3棟を原寸復元した。常時、竪穴住居1棟を開放し、住居内を自由に見学できるようになっている。

(4) 映像展示

ビデオコーナー

■ ビデオ映像

松戸市内に関わりのある映像ソフト7作品を製作して公開している。

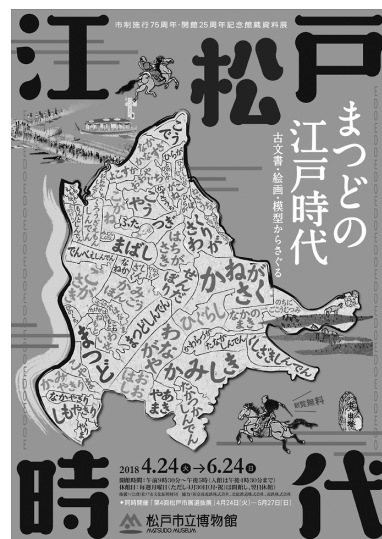
- ①大地に埋もれた歴史
- ②町並み今昔物語
- ③富士講
- ④万作を語る
- ⑤三匹獅子舞～和名ヶ谷～
- ⑥三匹獅子舞～上本郷～
- ⑦三匹獅子舞～大橋～

2 資料・企画展示

(1) 市制施行75周年・開館25周年記念 館蔵資料展「まつどの江戸時代 ―古文書・絵画・模型からさぐる―」

◆展示意図

松戸市立博物館で収集してきた、江戸時代の古文書・絵図・印刷物(錦絵・かわら版・書籍)などの一次資料、一次資料を基に再現した模型(松戸宿本陣)、本陣の遺構(瓦・かえる股)などを取り上げた。主として、いまの松戸市域にあった50をこえる村落社会について述べ、松戸宿、御鹿狩、小金牧、小林一茶などの文人などのトピックを取り上げた展示をおこなった



- ◆主催 松戸市立博物館(企画担当 富澤達三(当館学芸員))
- ◆後援 (公財)松戸市文化振興財団
- ◆協力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社
- ◆会期 平成30年4月24日(火)～6月24日(日)(開催日数54日間)
- ◆会場 松戸市立博物館 企画展示室
- ◆観覧者数 4,606人
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物

ポスター	B 2判	400枚
チラシ	A 4判	10,000枚
「下総小金乃原御狩図」現代語訳文 A 3判(両面2枚)		1,000部(館で印刷)

◆関連企画

・学芸員講演会「まつどの江戸時代 歴史資料のいろいろ」(博物館友の会共催、会場:当館講堂)

対象者 一般
開催月日 平成30年5月27日(日) 13時00分～15時00分
講師 富澤達三(当館学芸員)
参加人数 88人

・講演会 歴史を語る「近世・松戸河岸と江戸ー人とのものの交流ー」(会場:当館講堂)

対象者 一般
開催月日 平成30年6月3日(日) 13時00分～15時00分
講師 和泉清司氏(高崎経済大学名誉教授)
参加人数 87人

・ギャラリートーク(展示解説会)

対象者 一般
開催月日 平成30年4月29日(日)、5月5日(日)・26日(土)、6月9日(土)・23日(土)
各日14時00分～(所要時間:約50分)
講師 富澤達三(当館学芸員)
参加人数 延べ180人

・とてもむずかしい「IQパズル」

松戸市域にあった近世村落のパズル。一村に複数の領主がいた「相給村落」「知能指数=IQ」をかけた題名とした。

No	展示物名	和暦	西暦	大きさ(タテ×ヨコ。単位mm)
1	相渡申役請負家守証文之事	享保19年	1734	300×360
2	下総国葛飾郡風早庄馬橋村田畑名寄帳	元禄7年	1694	305×220
3	総州小金ヶ原御鹿狩御役附・諸国大地震大津波次第並絵図(写本)	江戸時代		267×183
4	中野牧野付村々内払廻状写(後期展示)	享保11年	1726	282×198
5	請取申御払馬代之事	寛政12年	1800	277×1280
6	入置申一札之事	文政7年	1824	280×345
7	[御書付]	文政9年	1826	本紙:168×475 包紙:250×340
8	餌鳥札	文政11年	1828	餌鳥札:85×115 包紙:125×88
9	覚(餌鳥札に付御書付写)	文政10年カ	1827カ	123×345
10	[冥加金三十両上納名字帯刀御免状]目録(上下一具)	弘化3年	1846	335×86
11	壬申水戸道中記	江戸時代		140×203
12	通行手形	江戸時代		160×340
13	御鹿狩小金原御場所図	嘉永2年	1849	360×495
14	[二郷半領大水入図]	弘化3年	1846	250×355
15	幸谷村絵図(彩色)	江戸時代		軸:1350×1440(絵:885×1215)
16	幸谷村絵図(彩色)	江戸時代		325×480
17	幸谷村絵図	江戸時代		335×480
18	下総小金乃原御狩之図	寛政7年カ	1795カ	295×11850
19	野馬焼印之図並考	安政6年	1856	130×200
20	[江戸周辺図]	弘化元年	1845	695×915
21	下総国輿地全図	嘉永2年	1849	1010×1110
22	江戸名所図会	天保7年	1836	255×180
23	昔風俗年中雙六	明治29年	1896	870×745
24	「春秋」巻十五 十七丁・十八丁版木2枚(後期展示)	江戸時代		236×352
25	諸土方・高名手柄 小金山麓之地理	嘉永2年	1849	183×120
26	[かわら版 御鹿狩]	嘉永2年	1849	232×313
27	関東市町定日案内	江戸時代		460×340
28	[和讃板木]	江戸時代		130×3705×20
29	千代田之御表 松戸宿船橋	明治30年	1897	425×850(マット含む)
30	富士三十六景 下総小金原	安政5年	1858	543×423(マット含む)
31	松戸宿図絵(船橋かわら版)	嘉永2年	1849	315×410
32	不動明王像	江戸時代		300×400、高さ750
33	金先禅師像	江戸時代		330×500[台座]、高さ500
34	松戸宿本陣模型	平成19年	2008	1820×1230[台座]、高さ450
35	松戸宿本陣鬼瓦	慶応3年	1867	330×500、高さ500
36	墓 股	慶応3年	1867	310×1050×140
37	[御鹿狩小屋掛人足札]	江戸時代		90×68
38	芭蕉句碑拓本	昭和時代		軸:1255×868 拓本:705×668
39	[槍先]	江戸時代		長さ150、幅23
40	槍(鞘つき)	江戸時代		210、幅35
41	袖がらみ	江戸時代		2980

(2) 市制施行75周年記念展 「松戸ゆかりの美術展 —その潜在力—」

◆展示意図

今回の展覧会では構成をⅠとⅡに分け、松戸の街が秘めている美術の潜在力を伝えた。Ⅰでは、松戸市教育委員会のコレクションの中から、戦後の約20年間相模台(松戸駅東口の現中央公園付近)にあった千葉大学工学部とその前身の東京高等工芸学校の教授陣と卒業生たちの作品についてデザインを中心に展示し、相模台に眠る記憶をたどった。併せてⅡでは松戸市在住の写真家及川修次氏が、利根川の源流から河口までの自然と流域の人々の暮らしをとらえたライフワークを紹介した。

◆主 催 松戸市教育委員会

(企画担当 田中典子〈社会教育課美術館準備室長・学芸員〉、
小川玲美子〈同学芸員〉)

◆会 期 平成30年 8月4日(土)～9月2日(日)(開催日数26日)

◆会 場 松戸市立博物館 企画展示室

◆後 援 JOBANアートライン協議会

◆助 成 自治総合センター、芸術文化振興基金、公益財団法人朝日新聞文化財団

◆協 力 新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社

◆観覧者数 1,066人(26日間)

◆観 覧 料 一般 300円(団体240円 共通500円)

高大生 150円(団体100円 共通250円)

中学生以下 無料

◆展示構成

Ⅰ 相模台の記憶 松戸にあった千葉大学工学部のデザインと美術
—前身の東京高等工芸学校時代から—

Ⅱ 利根川に魅せられて—松戸の写真家、及川修次の仕事—

◆監修者

Ⅰ 敷田 弘子氏(武蔵野美術大学 美術館・図書館)

Ⅱ 金子 隆一氏(写真史家)

◆出品点数

Ⅰ 87点

Ⅱ 78点、スライドショー5本、参考資料15点

◆印刷物

ポスター	B3判	900枚
	B2判	200枚
	A3判	3,100枚
チラシ	A4判	12,000枚
観覧券	7種全	5,200枚
カタログ	A4判	800部
リーフレット(297×840mm、3つ折り)		3,000部

◆関連企画

・ワークショップ「私にも撮れるんだ」写真講座

対 象 者 松戸市在住在勤者

開催日時 8月5日(日)10時00分～15時00分

会 場 当館実習室及び21世紀の森と広場

講 師 稲積 修氏(写団富士愛好会副会長)

参加人数 19人

・フロアレクチャー

フロアレクチャー①「相模台の記憶」



開催日時 8月12日(日)午後2時より約40分間
 会場 松戸市立博物館 企画展示室
 講師 敷田 弘子 氏(武蔵野美術大学 美術館・図書館)
 参加人数 18人

・フロアレクチャー②「及川修次の写真」

開催日時 8月18日(土)午後2時より約40分間
 会場 松戸市立博物館 企画展示室
 講師 金子 隆一 氏(写真史家)
 参加人数 16人

◆展示作品・資料

I 相模台の記憶 松戸にあった千葉大学工学部のデザインと美術－前身の東京高等工芸学校時代から－

no.	作者	タイトル	所蔵	制作年	材質
1		松戸市徽章	松戸市		金属
2	徳川昭武	総武競馬会入口	松戸市戸定歴史館	1907年 9月29日撮影	印画紙
3	徳川昭武	総武競馬場	松戸市戸定歴史館	1908年	印画紙
4	徳川昭武	競馬(総武競馬場内)	松戸市戸定歴史館	1908年	印画紙
5	五十七期工兵	陸軍工兵学校アルバム「特火点」	松戸市立博物館	1940年頃	アルバム、印画紙
6	杉田源兵衛	陸軍工兵学校スクラップブック	松戸市立博物館	1933年～1944年頃	アルバム、印画紙
7	松戸市	ALBUM no.2	松戸市立博物館		アルバム、印画紙
8		高等工芸学校校舎	松戸市教育委員会	1921年	印画紙
9		東京高等工芸学校附属工芸実修学校第七回卒業記念	松戸市教育委員会	1930年	印画紙
10	池田三四郎	高等工芸写真部卒業生	松戸市教育委員会	1930年	印画紙
11		集合写真(中橋文部大臣校長ら)	松戸市教育委員会		印画紙
12	松岡壽	イタリーの田舎娘	松戸市教育委員会	1881年	紙、木炭
13	松岡壽	本を読む少女、弘子像	松戸市教育委員会	1936年	キャンバス、油彩
14	和田香苗	ウスリー河	松戸市教育委員会	1941年	キャンバス、油彩
15	和田香苗	会堂の一隅	松戸市教育委員会		キャンバス、油彩
16	鹿島英二	きじ図案原図	松戸市教育委員会		紙、着彩
17	鹿島英二	花模様図案原図	松戸市教育委員会		紙、着彩
18	鹿島英二	鶴図案(『図案新集』PL260)原図	松戸市教育委員会		紙、着彩
19	鹿島英二	花鳥図案原図	松戸市教育委員会		紙、着彩
20	渡辺春男	帯地図案	松戸市教育委員会		紙、グアッシュ
21	鈴木豊次郎	白象行タペストリー図案	松戸市教育委員会	1925年	綿布、着彩
22	川浪和夫	草と実図案	松戸市教育委員会	1929年	紙、水彩
23	川浪和夫	仏蘭西刺繍応用テーブルクロス	松戸市教育委員会		紙、グアッシュ
24	安藤良弘	植物図案	松戸市教育委員会	1925年	紙、水彩
25	高橋〔万寿男〕	子供洋服地	松戸市教育委員会	1929年	紙、グワッシュ
26	鈴田照次	型絵染帯 黍文	松戸市教育委員会		綿
27	鈴田照次	型絵染帯 菌朶文	松戸市教育委員会		綿
28	日野厚	大倉陶園ティーセット	松戸市教育委員会		磁器
29	久米福衛	安田祿造肖像	松戸市教育委員会	1941年	油彩
30	池田三四郎	静物	松戸市教育委員会		印画紙
31	池田三四郎	東京高等工芸学校写真部校舎	松戸市教育委員会		印画紙
32	山下謙一	『s.p』	松戸市教育委員会	1933年	紙、印刷
33	横山薫次(表紙)	『造園芸術』	松戸市教育委員会		紙、印刷
34		松戸市章旗	松戸市		布
35	豊田勝秋	春日遅々(花生)	松戸市教育委員会	1927年	ブロンズ
36	豊田勝秋	花さし	松戸市教育委員会	1930年	ブロンズ

no.	作者	タイトル	所蔵	制作年	材質
37	型而工房	型而工房リーフレット	松戸市教育委員会	1930年	紙、凸版
38	手塚敬三、松本政雄	型而工房ラポルト 1 パイプ家具	松戸市教育委員会	1932年頃	紙、凸版
39	小林登、豊口克平、斎藤 四郎	型而工房ラポルト 2 椅子	松戸市教育委員会	1932年頃	紙、凸版
40	豊口克平	型而工房ラポルト 3 アパートメントの室内図解 と数字	松戸市教育委員会	1932年頃	紙、凸版
41	型而工房	テストチェア	松戸市教育委員会		印画紙、墨
42	型而工房	TEST CHAIRによる調査	松戸市教育委員会		紙、孔版
43	型而工房	豊口居室	松戸市教育委員会	1931年	印画紙
44	型而工房	型而工房第一回展 モデル ルーム居間	松戸市教育委員会	1930年	印画紙
45	型而工房	型而工房室内工芸試作展覧 会目録	松戸市教育委員会	1928年	紙、孔版
46	型而工房	「新しい住宅と家具」の講習 会	松戸市教育委員会	1931年	紙、孔版
47	池田三四郎	型而工房展会場にて	松戸市教育委員会		印画紙
48	型而工房	型而工房展ニヨル厨房モデ ルルーム	松戸市教育委員会	1934年	印画紙
49	森谷延雄	小さき室内美術	松戸市教育委員会	1926年	紙、印刷
50	木檜恕一	新らしい家と家具装飾	松戸市教育委員会	1927年	紙、印刷
51	宮下孝雄	装飾構成の研究	松戸市教育委員会	1933年	紙、印刷
52	安田祿造	本邦工芸の現在及び将来	松戸市教育委員会	1917年	紙、印刷
53	寺畑助之丞	母と子(横たわる)	松戸市教育委員会	1937年	石膏
54	型而工房	小椅子	松戸市教育委員会	1930年頃	檜、力裂
55	型而工房	肘掛け椅子	松戸市教育委員会	1930年頃	檜、杉、力裂
56	型而工房	書架	松戸市教育委員会		木
57	木檜恕一	キャビネット	松戸市教育委員会	1924年	木
58	木檜恕一	茶箆筥	松戸市教育委員会	1924年	木
59	畑正吉	木檜恕一肖像	松戸市教育委員会	1949年	ブロンズ
60	鈴木豊次郎	応接机	松戸市教育委員会	1933年	木
61	鈴木豊次郎	応接椅子	松戸市教育委員会	1933年	木、布
62	宮下孝雄	脇机	松戸市教育委員会	1932年	木
63	森谷延雄	円形花台	松戸市教育委員会	1925年	木
64	森谷延雄	側書架	松戸市教育委員会	1927年	木
65	森谷延雄	角型花台	松戸市教育委員会	1925年	木
66	渡辺力	書棚	松戸市教育委員会	1942年	木
67	大橋正	重宝でお得な瓶詰！キッ ーマン醤油	松戸市教育委員会		紙、凸版網版
68	大橋正	朝の教養を聞きましょう	松戸市教育委員会		紙
69	大橋正	しめたぞ！メて…300万 円 3月の宝くじ	松戸市教育委員会	1950年	紙、印刷
70	大橋正	明治ミルクチョコレート	松戸市教育委員会	1952年	紙、オフセット
71	大橋正	スクラップブック 『ARS ALBUM』	松戸市教育委員会		紙
72	大橋正	ファイル集「明治製菓作品 集No.16 1959 AD.ART FILE」	松戸市教育委員会	1959年	紙
73	大橋正	スクラップブック「萬」	松戸市教育委員会		紙
74	剣持勇デザイン研究所	籐丸椅子C-315S	松戸市教育委員会	1960年	籐
75	剣持勇デザイン研究所	サイドテーブル	松戸市教育委員会	1960年	ナラ
76	剣持勇デザイン研究所	スタッキングスツール202	松戸市教育委員会	1959年	ビニール、ブナ
77	剣持勇デザイン研究所	柏戸椅子T-7165	松戸市教育委員会	1961年	杉、 プラスティッ ク
80	産業工芸試験所 (豊口克平)	鉄製スタッキングスツール	松戸市教育委員会	1955年	鉄、ビニール
81	土屋幸夫	灰	松戸市教育委員会	1954年	キャンバス、油彩

no.	作者	タイトル	所蔵	制作年	材質
82	土屋幸夫	(調和をよぎって)	松戸市教育委員会	1970年代	鉛筆、インク、水彩、新聞、レイアウト用紙
83	土屋幸夫	(重なり合って)	松戸市教育委員会	1975年	サインペン、鉛筆、方眼紙
84	土屋幸夫	pythagoras's variation- II	松戸市教育委員会	1970年代初	サインペン、鉛筆、方眼紙
85	赤穴 宏	「眼」赤と青 '63	松戸市教育委員会	1963年	キャンバス、油彩
86	赤穴 宏	始祖鳥	松戸市教育委員会	1956年	キャンバス、油彩
87	山口正城	夏のこだま	松戸市教育委員会	1957年5月12日	紙、彩色

II 利根川に魅せられて－松戸の写真家、及川修次の仕事－

no.	作者	タイトル	所蔵	撮影年月日	材質
プリント					
1	及川修次	利根川の上流	個人蔵	1976(昭和51)年10月7日	ゼラチンシルバープリント
2	及川修次	奥利根湖	個人蔵	1988(昭和63)年8月7日	ゼラチンシルバープリント
3	及川修次	奥利根湖 ナラ沢の出会いより本流方向を望む	個人蔵	1988(昭和63)年10月15日	ゼラチンシルバープリント
4	及川修次	奥利根湖 E地点 旧湯の花温泉付近より矢種山を望む	個人蔵	1988(昭和63)年10月15日	ゼラチンシルバープリント
5	及川修次	渇水の矢木沢ダム堰堤	個人蔵	1978(昭和53)年10月2日	ゼラチンシルバープリント
6	及川修次	利根川のアユ釣り	個人蔵	1976(昭和51)年11月11日	ゼラチンシルバープリント
7	及川修次	秋風そよぐ利根川 水上温泉付近	個人蔵	1978(昭和53)年9月30日	ゼラチンシルバープリント
8	及川修次	農家 明川	個人蔵	1978(昭和53)年10月1日	ゼラチンシルバープリント
9	及川修次	雪囲い 明川	個人蔵	1976(昭和51)年11月10日	ゼラチンシルバープリント
10	及川修次	桑畑にて	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
11	及川修次	中島家 明川	個人蔵	1978(昭和53)年10月2日	ゼラチンシルバープリント
12	及川修次	中島家の土間 明川	個人蔵	1976(昭和51)年11月19日	ゼラチンシルバープリント
13	及川修次	山田の稲刈り 平出	個人蔵	1976(昭和51)年10月8日	ゼラチンシルバープリント
14	及川修次	大豆のさや打ち 冬は峰までやって来ている。 明川	個人蔵	1976(昭和51)年11月10日	ゼラチンシルバープリント
15	及川修次	秋日和はひなたが一番 藤原	個人蔵	1978(昭和53)年10月1日	ゼラチンシルバープリント
16	及川修次	猫 藤原	個人蔵	1978(昭和53)年10月1日	ゼラチンシルバープリント
17	及川修次	吹割れの滝 利根村	個人蔵	1986(昭和61)年5月8日	ゼラチンシルバープリント
18	及川修次	輪まわし 下川田町	個人蔵	1976(昭和51)年11月28日	ゼラチンシルバープリント
19	及川修次	囲炉裏に寄り合う親子 下川田町	個人蔵	1976(昭和51)年11月28日	ゼラチンシルバープリント
20	及川修次	セッチンヨメゴ(便所神) 下川田町	個人蔵	1976(昭和51)年11月28日	ゼラチンシルバープリント
21	及川修次	土蔵ある風景 利根村追貝	個人蔵	1982(昭和57)年3月29日	ゼラチンシルバープリント
22	及川修次	水ぬるむ 利根村追貝	個人蔵	1982(昭和57)年3月29日	ゼラチンシルバープリント
23	及川修次	小沼にも春は陽光に誘われやってくる 赤城山	個人蔵	1985(昭和60)年	ゼラチンシルバープリント
24	及川修次	渡良瀬遊水地のよしの原 藤岡町	個人蔵	1982(昭和57)年1月27日	ゼラチンシルバープリント
25	及川修次	よし刈り 渡良瀬遊水地(1) 藤岡町	個人蔵	1982(昭和57)年1月27日	ゼラチンシルバープリント
26	及川修次	よし刈り 渡良瀬遊水地(2) 藤岡町	個人蔵	1982(昭和57)年1月27日	ゼラチンシルバープリント
27	及川修次	七夕馬 大利根町北大桑	個人蔵	1976(昭和51)年8月6日	ゼラチンシルバープリント
28	及川修次	利根川(右)と江戸川(左)の分 流点一 関宿	個人蔵	1975(昭和50)年2月10日	ゼラチンシルバープリント
29	及川修次	仏の迎火 孟蘭盆	個人蔵	1978(昭和53)年8月13日	ゼラチンシルバープリント
30	及川修次	古利根川のたそがれ 満々と した流れに釣り場を求める	個人蔵	1982(昭和57)年4月24日	ゼラチンシルバープリント
31	及川修次	古利根川にて	個人蔵	1982(昭和57)年4月24日	ゼラチンシルバープリント

no.	作者	タイトル	所蔵	撮影年月日	材質
32	及川修次	矢切の渡し 江戸川	個人蔵	1975(昭和50)年2月21日	ゼラチンシルバープリント
33	及川修次	秋の収穫 今年は上場の出来 布施	個人蔵	1974(昭和49)年8月30日	ゼラチンシルバープリント
34	及川修次	河童ども 布施	個人蔵	1974(昭和49)年8月30日	ゼラチンシルバープリント
35	及川修次	水溜り 布施	個人蔵	1974(昭和49)年8月30日	ゼラチンシルバープリント
36	及川修次	手賀沼の汚染	個人蔵	1975(昭和50)年4月10日	ゼラチンシルバープリント
37	及川修次	手賀沼の秋日和	個人蔵	1974(昭和49)年10月14日	ゼラチンシルバープリント
38	及川修次	朝は漁り舟でにぎわう手賀沼	個人蔵	1974(昭和49)年10月14日	ゼラチンシルバープリント
39	及川修次	往く秋は水面に 手賀沼	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
40	及川修次	「オーイッ、舟が出るぞ!!」 陸の孤島・小堀の渡しの船頭 さん	個人蔵	1974(昭和49)年12月6日	ゼラチンシルバープリント
41	及川修次	取手の渡船	個人蔵	1975(昭和50)年11月7日	ゼラチンシルバープリント
42	及川修次	どんど焼き 利根川河川敷	個人蔵	1977(昭和52)年1月15日	ゼラチンシルバープリント
43	及川修次	利根川と小貝川の合流地点	個人蔵	1975(昭和50)年5月18日	ゼラチンシルバープリント
44	及川修次	苗代から早苗を取る 印西町	個人蔵	1975(昭和50)年5月15日	ゼラチンシルバープリント
45	及川修次	苗の植え直しをする人	個人蔵	1976(昭和51)年5月14日	ゼラチンシルバープリント
46	及川修次	虫送り 印西町	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
47	及川修次	夕映え	個人蔵	1976(昭和51)年7月6日	ゼラチンシルバープリント
48	及川修次	フナの水揚げ 印旛沼	個人蔵	1980(昭和55)年	ゼラチンシルバープリント
49	及川修次	印旛沼夕映	個人蔵	1975(昭和50)年10月26日	ゼラチンシルバープリント
50	及川修次	犬供養	個人蔵	1982(昭和57)年1月17日	ゼラチンシルバープリント
51	及川修次	犬卒塔婆	個人蔵	1982(昭和57)年1月17日	ゼラチンシルバープリント
52	及川修次	投網する人、根木名川にて 安西	個人蔵	1978(昭和53)年4月26日	ゼラチンシルバープリント
53	及川修次	蛇沼(1)	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
54	及川修次	蛇沼(2)	個人蔵	1975(昭和50)年6月16日	ゼラチンシルバープリント
55	及川修次	じゅんさい採り 蛇沼	個人蔵	1975(昭和50)年6月16日	ゼラチンシルバープリント
56	及川修次	春はさざ波と共にやって来る 河内村	個人蔵	1975(昭和50)年3月27日	ゼラチンシルバープリント
57	及川修次	働く人 神崎町小松	個人蔵	1975(昭和50)年11月8日	ゼラチンシルバープリント
58	及川修次	利根の流るるに浸る牛の群 東村押砂	個人蔵	1975(昭和50)年7月19日	ゼラチンシルバープリント
59	及川修次	神崎神社の旧社地 ニッ塚 新利根村	個人蔵	1974(昭和49)年9月30日	ゼラチンシルバープリント
60	及川修次	引っ掛けた!草魚を釣る人 利根川、水郷大橋にて	個人蔵	1974(昭和49)年12月31日	ゼラチンシルバープリント
61	及川修次	どうだい!草魚を引っ掛け 持ち上げる若い人 水郷大 橋付近	個人蔵	1974(昭和49)年12月31日	ゼラチンシルバープリント
62	及川修次	利根川 仏送り 津ノ宮	個人蔵	1975(昭和50)年8月16日	ゼラチンシルバープリント
63	及川修次	自転車	個人蔵	1978(昭和53)年6月	ゼラチンシルバープリント
64	及川修次	マコモ茂る舟繋ぎ場 霞ヶ浦 麻生町	個人蔵	1975(昭和50)年11月8日	ゼラチンシルバープリント
65	及川修次	栈橋 霞ヶ浦	個人蔵	1975(昭和50)年11月8日	ゼラチンシルバープリント
66	及川修次	旧神宮橋(大船津) 北浦	個人蔵	1976(昭和51)年2月6日	ゼラチンシルバープリント
67	及川修次	ボッチをかぶった女性たちの 昼のひとつとき 常陸利根川	個人蔵	1975(昭和50)年12月1日	ゼラチンシルバープリント
68	及川修次	外浪逆浦	個人蔵	1976(昭和51)年5月14日	ゼラチンシルバープリント
69	及川修次	波崎海岸 波崎町	個人蔵	1975(昭和50)年7月19日	ゼラチンシルバープリント
70	及川修次	シジミの荷揚げ場での語らい	個人蔵	1975(昭和50)年2月19日	ゼラチンシルバープリント
71	及川修次	採取を終え帰ってきたシジミ 舟	個人蔵	1975(昭和50)年2月19日	ゼラチンシルバープリント
72	及川修次	シジミの選別作業	個人蔵	1975(昭和50)年12月14日	ゼラチンシルバープリント
73	及川修次	波高き利根川河口の防波堤	個人蔵	1990(平成2)年2月11日	ゼラチンシルバープリント
74	及川修次	銚子港	個人蔵	1975(昭和50)年7月19日	ゼラチンシルバープリント
75	及川修次	銚子港 夏の花火大会	個人蔵	1975(昭和50)年8月2日	ゼラチンシルバープリント
76	及川修次	テープレコーダーに聴き入る	個人蔵	1950(昭和25)年	ゼラチンシルバープリント

no.	作者	タイトル	所蔵	撮影年月日	材質
77	及川修次	開拓地の兄弟 岩手県気仙 郡種山ヶ原開拓地にて	個人蔵	1955(昭和30)年頃	ゼラチンシルバープリント
78	及川修次	岩崎鬼剣舞	個人蔵	1967(昭和42)年	ゼラチンシルバープリント
スライドショー					
1	及川修次	すみつけ祭 (群馬県佐波郡玉村町上福島 地区)	個人蔵	1979(昭和54)年2月15日 1982(昭和57)年2月15日	
2	及川修次	利根川流域の水害 (千葉県我孫子市/茨城県取手 市)	個人蔵	1982(昭和57)年8月2日-13日 1981(昭和56)年8月24日 1995(平成7)年11月17日	
3	及川修次	佐倉兵営跡 (千葉県佐倉市)	個人蔵	1975(昭和50)年10月26日-27日	
4	及川修次	三ッ堀のどろ祭 (千葉県野田市)	個人蔵	1975(昭和50)年-1986(昭和61)年4月3日	
5	及川修次	利根川山河 (利根川全流域)	個人蔵	1974(昭和49)年-1981(昭和56)年	
参考出品					
1	及川清太郎	少女	個人蔵		ゼラチンシルバープリント、手彩色
2	及川清太郎	少女	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
3	及川清太郎	日本髪的女性	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
4	及川清太郎	日本髪的女性	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
5	及川清太郎	千葉幸子	個人蔵		ゼラチンシルバープリント、手彩色
6	及川清太郎	女性	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
7	及川清太郎	女性	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
8	及川清太郎	鈴川みね子(東宝バラエター・ 古川ロッパ一座)	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
9	及川清太郎	女性	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
10	及川清太郎	女性	個人蔵		ゼラチンシルバープリント、手彩色
11	及川清太郎	長谷川如是閑	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
12	及川清太郎	観ヶ原大演習	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
13	及川清太郎	飛行中のプロペラ機	個人蔵		ゼラチンシルバープリント
14	及川清太郎	アルバム	個人蔵		
15	及川清太郎	東条英機	個人蔵		ゼラチンシルバープリント

(3) 市制施行75周年・開館25周年記念 特別展「ガンダーラ ー仏教文化の姿と形ー」

◆展示意図

本特別展では、当館所蔵のガンダーラ仏教美術品やガラス製品をはじめとするシルクロードの交易品とともに、日本各地の博物館・美術館等が所蔵する関連資料を借用し、合わせて展示することにより、遙かなる仏教文化の世界をよみがえらせることを目指した。

さらに、シルクロードの交流を背景として、中国にもたらされた仏教が、さらに東方に位置する朝鮮半島や日本列島にも伝わるが、その頃の日本ではこうした仏教をどのように受け容れたのか、日本で華開く仏教文化の始まりについて、発掘された資料から探った。

◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 大森隆志・小林孝秀(当館学芸員))

◆後 援 (公財)松戸市文化振興財団 (公財)松戸市国際交流協会 千葉テレビ放送株式会社
日本西アジア考古学会

◆協 力 新京成電鉄株式会社 北総鉄道株式会社 流鉄株式会社

◆会 期 平成30年 9月22日(土)～11月25日(日)(開催日数56日間)

◆会 場 松戸市立博物館 企画展示室

◆観覧者数 8,959人

◆観 覧 料 一 般 300円(団体240円 共通500円)

高大生 150円(団体100円 共通250円)

小中学生 無料

◆印 刷 物 展示図録 A 4判 1,500冊

ポスター B 2判 700枚

B 3判 410枚

チラシ A 4判 20,000枚

展示資料リスト A 4判(8頁) 3,000部(館で印刷)

こどもワークシート A 5判(12頁) 2,000部(館で印刷)

◆関連企画

・講演会①「ガンダーラの仏教美術－当館コレクションを中心に－」(会場:当館講堂)

対 象 者 一般

開催月日 平成30年 9月30日(日) 13時00分～15時00分

講 師 望月幹夫(当館館長)

参加人数 67人

・講演会②「仏像のいないガンダーラ美術」(会場:森のホール21レセプションホール)

対 象 者 一般

開催月日 平成30年10月 7日(日) 13時00分～15時00分

講 師 小泉恵英氏(九州国立博物館学芸部長)

参加人数 119人

・講演会③「ガンダーラの仏教寺院跡をたずねて」(博物館友の会共催、会場:当館講堂)

対 象 者 一般

開催月日 平成30年10月14日(日) 13時00分～15時00分

講 師 大森隆志(当館学芸員)

参加人数 92人

・講演会④「仏教文化の受容－古墳・飛鳥・白鳳－」(博物館友の会共催、会場:当館講堂)

対 象 者 一般

開催月日 平成30年10月28日(日) 13時00分～15時00分

講 師 小林孝秀(当館学芸員)

参加人数 84人



- ・講演会⑤「姿を現した白鳳仏－飛鳥・河原寺裏山遺跡を掘る－」(会場:森のホール21レセプションホール)
 - 対 象 者 一般
 - 開催月日 平成30年11月10日(土) 13時00分～15時00分
 - 講 師 右島和夫氏(群馬県立歴史博物館館長)
 - 参加人数 130人
- ・講演会⑥「ガラスが語るシルクロードの東西交流」
 - (日本西アジア考古学会・松戸市立博物館連携講演会、会場:講堂)
 - 対 象 者 一般
 - 開催月日 平成30年11月17日(土) 13時00分～15時00分
 - 講 師 小寺智津子氏(国土舘大学非常勤講師)
 - 参加人数 70人
- ・シルクロードの民族衣装試着体験(会場:当館エントランスホール)
 - 対 象 者 一般
 - 開催月日 平成30年11月23日(金) 10時00分～15時00分
 - 講 師 岩尾いくよ氏(カリフォルニアクラブ代表)
 - 参加人数 98人
- ・展示解説会
 - 対 象 者 大人からこどもまで
 - 開催月日 平成30年 9 月23日(日)、10月 6 日(土)・27日(土)、11月 4 日(日)・25日(日)
 - 各日14時30分～(所要時間:約50分)
 - 講 師 大森隆志・小林孝秀(当館学芸員)
 - 参加人数 延べ202人
- ・ぬりえ&しおりづくり(会場:企画展示室前ロビー・閲覧コーナー)
 - 対 象 者 大人からこどもまで
 - 期 間 平成30年 9 月22日(土)～11月25日(日) 各日 9 時30分～17時00分
 - 内 容 仏像などの展示資料をモチーフにしたオリジナルしおりづくりのコーナーを設け、体験を実施した。
 - 参加人数 773人

◆展示資料一覧

I. ガンダーラの仏教文化

◎:重要文化財 ○:三重県指定有形文化財

1. 仏像のふるさとガンダーラ

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
1	仏陀立像	ガンダーラ	2～3世紀	1	個人蔵
2	菩薩立像	ガンダーラ	2～3世紀	1	龍谷大学
3	菩薩諸相像	ガンダーラ	3～4世紀	1	松岡美術館
4	菩薩半跏像	パキスタン	1～4世紀	1	松戸市教育委員会
5	仏頭	アフガニスタン	4～5世紀	1	松戸市教育委員会
6	仏頭	インド	4～5世紀	1	松戸市教育委員会
7	ジャータカ浮彫「兎本生」	ガンダーラ	3世紀頃	1	龍谷大学
8	浮彫「燃燈仏授記」	ガンダーラ	2～3世紀	1	龍谷大学
9	仏伝浮彫「誕生」	ガンダーラ	2～3世紀	1	東京国立博物館
10	仏伝浮彫「四門出遊・出家決意」	ガンダーラ	—	1	龍谷大学
11	仏伝浮彫「出家決意・出城」	ガンダーラ	2～3世紀	1	伊賀市
12	仏伝浮彫「苦行」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
13	仏伝浮彫「降魔成道」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
14	仏伝浮彫「四天王奉鉢」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
15	仏伝浮彫「梵天勧請」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
16	仏伝浮彫「初転法輪」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
17	仏伝浮彫「火神堂内毒龍調伏」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
18	仏伝浮彫「帝釈窟説法」	ガンダーラ	2～3世紀	1	平山郁夫シルクロード美術館
19	仏伝浮彫「スリグプタの招待・占夢」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
20	仏伝浮彫「涅槃」	アフガニスタン (カーピシー)	3世紀頃	1	龍谷大学
21	仏伝浮彫「纏布」	パキスタン (スワート)	1～2世紀	1	龍谷大学
22	浮彫「涅槃・仏塔礼拝」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
23-a	仏伝浮彫「分舍利」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
23-b	舍利容器	パキスタン	3～4世紀	1	松戸市教育委員会
24	破風形浮彫	パキスタン	3～4世紀	1	松戸市教育委員会
25	破風形浮彫	パキスタン	3～4世紀	1	松戸市教育委員会
26	浮彫	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
27	浮彫	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
28	浮彫	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
29	浮彫「戦士群像」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
30	浮彫「戦士立像」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
31	浮彫「役人」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
32	浮彫「献花供養者像」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
33	浮彫「供養者像」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
34-a	浮彫「供養者像」	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
34-b	海獣装飾板	パキスタン	2～3世紀	1	個人蔵
36	舍利容器	ガンダーラ	—	1	龍谷大学
37	舍利容器	ガンダーラ	—	1	龍谷大学
38	壺	アフガニスタン (ハッダ周辺)	4～5世紀	1	龍谷大学
39	飾金具(三宝標)	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
40	飾金具(法輪)	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
41	飾金具(蓮華文)	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
42	飾金具(蓮華文)	パキスタン	2～5世紀	1	松戸市教育委員会
43	把手付水瓶	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
44	水瓶部分(注口)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
45	水瓶部分(注口)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
46	水瓶部分(注口)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
47	水瓶部分(口縁部)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
48	水瓶部分(口縁部)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
49	水瓶部分(口縁部)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
50	水瓶部分(底部)	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
51	扉	パキスタン	1～2世紀	1	松戸市教育委員会
52	カニシュカⅠ世金貨	ガンダーラ	1～2世紀	1	平山郁夫シルクロード美術館
53	カニシュカⅠ世銅貨	ガンダーラ	1～2世紀	11	平山郁夫シルクロード美術館
56	ガンダーラ語碑文	ガンダーラ	1世紀初	1	龍谷大学
57	ガンダーラ語碑文	ガンダーラ	2～3世紀	1	龍谷大学

2. ガンダーラ仏教寺院跡探訪

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
54-a	仏陀坐像	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-b	仏陀坐像	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-c	菩薩像	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-d	仏陀坐像	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-e	仏陀立像	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-f	仏手	タレリ	2～5世紀	2	京都大学人文科学研究所
54-g	仏伝浮彫「帰城」	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-h	仏伝浮彫「燃燈仏授記」	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-i	仏伝浮彫「涅槃」	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-j	仏伝浮彫「涅槃・荼毘」	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-k	菩薩像	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-l	獅子	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-m	アトランテース	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-n	海獣ケートス	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-o	菩薩腕輪(スーリヤ神)	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
54-p	カローシュティー刻文土器	タレリ	2～5世紀	6	京都大学人文科学研究所
54-q	蓋・ランプ	タレリ	2～5世紀	3	京都大学人文科学研究所
54-r	仏塔部材	タレリ	2～5世紀	3	京都大学人文科学研究所
54-s	仏伝浮彫「涅槃」	タレリ	2～5世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-a	浮彫「燃燈仏授記」	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-b	仏陀立像	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-c	仏陀(頭部)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-d	頭光	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-e	仏陀(頭部)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-f	菩薩(頭部)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-g	ハーリティ(鬼子母神)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-h	供養者(胸部)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-i	供養者(胸部)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-j	供養者(頭部)	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
55-k	獅子	メハサンダ	3～6世紀	3	京都大学人文科学研究所
55-l	土器(鉢)	メハサンダ	3～6世紀	2	京都大学人文科学研究所
55-m	仏伝浮彫	メハサンダ	3～6世紀	1	京都大学人文科学研究所
58	アショーカ王碑文拓本	パキスタン (シャバーズ・ガリ)	3～6世紀	1	龍谷大学
59	アショーカ王碑文拓本	ネパール (ルンビニ)	3～6世紀	1	龍谷大学

3. シルクロードの中のガンダーラ

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
60	◎ 白瑠璃碗	伝・安閑天皇陵	3～6世紀	1	東京国立博物館
61	切子ガラス碗	イラン	3～7世紀	1	松戸市教育委員会
62	瑠璃碗を持つ菩薩(展示のみ図録に掲載なし)	—	—	1	明治大学図書館
63	二重浮出し円文切子装飾碗破片	上賀茂遺跡	4～6世紀	1	京都市考古資料館
64	二重浮出し円文切子装飾碗	イラン	4～6世紀	1	MIHO MUSEUM
65	浮出し円文切子装飾碗	イラン	4～6世紀	1	MIHO MUSEUM
66	鳥文瓶	イラン	12世紀	1	松戸市教育委員会
67	パテラ杯	地中海東部	紀元前1～ 後1世紀	1	松戸市教育委員会
68	軟膏容器	トルコ	紀元前10～8 世紀	1	松戸市教育委員会
70	地母神像	アフガニスタン	紀元前2000年 紀	1	松戸市教育委員会

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
71	彩色タイル	イラン	紀元前 8 世紀	1	松戸市教育委員会
72	多彩釉画像タイル	伝イラン北西部	紀元前 8 ～ 7 世紀	1	東京国立博物館
73	多彩釉画像タイル	伝イラン北西部	紀元前 8 ～ 7 世紀	1	東京国立博物館

Ⅱ. 日本における仏教文化の受容

1. 仏教文化の受容－造塔と舍利埋納－

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
1	軒丸瓦	奈良県 飛鳥寺	6 世紀	2	奈良文化財研究所
2	飛鳥寺塔心礎埋納品 装身具・金銀製品・馬鈴				
2-a	耳環	奈良県 飛鳥寺	6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
2-b	小玉	奈良県 飛鳥寺	6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
2-c	丸玉	奈良県 飛鳥寺	6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
2-d	管玉	奈良県 飛鳥寺	6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
2-e	金・銀延板	奈良県 飛鳥寺	6 世紀	2	奈良文化財研究所飛鳥資料館
2-f	馬鈴(複製)	奈良県 飛鳥寺	原品: 6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
3	飛鳥寺塔心礎埋納品 蛇行状鉄器(複製)	奈良県 飛鳥寺	原品: 6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
4	飛鳥寺塔心礎埋納品 挂甲(複製)	奈良県 飛鳥寺	原品: 6 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
5	法隆寺塔心礎埋納品(模造)				
5-a	舍利容器(模造)	奈良県 法隆寺	原品: 7 世紀	4	東京国立博物館
5-b	海獣禽獸葡萄鏡(模造)	奈良県 法隆寺	原品: 7 世紀	1	東京国立博物館

2. 花開く仏教文化－莊嚴の世界－

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
6	独尊埴仏	奈良県 紀寺跡(小山廃寺)	7 世紀	1	東京国立博物館
7	四尊連坐埴仏	奈良県 山田寺跡	7 世紀	2	東京国立博物館
8	十二尊連坐埴仏	奈良県 山田寺跡	7 世紀	2	奈良文化財研究所飛鳥資料館
9	鍍金銅板五尊像(複製)	奈良県 山田寺跡	原品: 7 世紀	1	奈良文化財研究所飛鳥資料館
10	埴仏范(四尊連坐)	奈良県 山田寺跡	7 世紀	1	東京国立博物館
11	埴仏范(火頭形)	奈良県 橘寺	7 世紀	1	東京国立博物館
12	方形三尊埴仏	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
13	方形三尊埴仏	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
14	方形三尊埴仏	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
15	大型独尊埴仏	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
16	裏面陰刻の埴仏片				
16-a	「勒・釋」	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
16-b	「阿弥他」	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
17	塑像片				
17-a	俗形像の手	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 ～ 8 世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
17-b	侍女頭部	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 ～ 8 世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
17-c	菩薩胸部	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 ～ 8 世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
17-d	天部腰部	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 ～ 8 世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
17-e	天部腰部	奈良県 川原寺裏山遺跡	7 ～ 8 世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
17-f	台座	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
17-g	如来左膝	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(奈良文化財研究所飛鳥資料館保管)
18	塑像片	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	4	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
18-a	神将形の甲	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
18-b	菩薩像の臂釦	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
18-c	髻	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
18-d	部位不明	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
18-e	巻髪	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	3	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
19	緑釉埴	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
19-a	緑釉渦文埴	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
19-b	緑釉水波文埴	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
20	透彫金具片	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	2	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
21	光背	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)
22	蓮台	奈良県 川原寺裏山遺跡	7～8世紀	1	明日香村教育委員会(関西大学文学部考古学研究室保管)

3. 古墳出土の仏教荘厳 - 三重県鳥居古墳 -

No.	資料名	遺跡名・出土地等	時期	点数	所蔵・保管
23	○ 押出仏(一光三尊仏)	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館
24	○ 押出仏(如来坐像)	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館
25	○ 押出仏(菩薩立像)	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館
26	○ 埴仏(吉祥天立像)	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館
27	須恵器	三重県 鳥居古墳	7世紀	4	三重県総合博物館
27-a	高坏	三重県 鳥居古墳	7世紀	9	三重県総合博物館
27-b	坏身・坏蓋	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館
27-c	甕	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館
27-d	平瓶	三重県 鳥居古墳	7世紀	1	三重県総合博物館

(4) 市制施行75周年・開館25周年記念 学習資料展「昔の暮らし探検」

◆展示意図

学習資料展「昔の暮らし探検」は、私たちの便利な生活がどのように形づくられてきたか、そのなかで失われたかつての生活における技術、知恵などを子どもたちに伝えようと開催した。今から80年程前の市内の農家の暮らしを出発点にして、衣食住の様々な生活の変化を探検しながら現在の生活に至る、身近な生活の歴史を紹介した。



- ◆主催 松戸市立博物館
(企画担当 青木俊也〈当館学芸員〉)
- ◆会期 平成31年1月12日(土)～2月24日(日)
(開催日数36日間)
- ◆会場 松戸市立博物館 企画展示室
- ◆観覧者数 7,305人
松戸市内小学校39校見学
松戸市外小学校12校見学
- ◆観覧料 無料
- ◆印刷物

チラシ	A 4判	10,000枚
ポスター	B 2判	10枚(館で印刷)
探検手帳	A 3判 4つ折	500枚(館で印刷)

◆関連企画

・教員向け放課後解説会

対象者 小学校三学年担当教員
開催月日 平成31年1月11日(金) 15時30分～17時30分
講師 青木俊也
参加人数 23人

・小学生学芸員による展示解説会(会場:企画展示室)

対象者 学習資料展観覧者
開催月日 平成31年1月26日(土)
①14時00分～14時30分、②15時00分～15時30分
講師 小学生学芸員 10人
参加人数 ①45人、②42人

◆展示資料

< 1 > 住まう

(1) 農家の住まい

資料名	
農家(模型 1/20)	農家の間取り(模型 1/20)

< 2 > 食べる

(1) かまど

資料名				
かまど(2点)(鋳物、模型1/1)	まき	火吹き竹(2点)	十能	火挟み
火消し壺	七輪(2点)	渋うちわ(2点)	炭入れ	鉄瓶

(2) ご飯を炊く

資料名				
米櫃	一升杓(2点)	五合杓(2点)	一合杓	一斗杓
斗かき	米研ぎ桶	あげざる	羽釜(2点)	飯櫃(2点)
杓文字	飯櫃入れ			

(3)おかずを煮炊きする

資料名				
鉄鍋	銅行平鍋	杓子	焼き網	焙烙
せいろ	すり鉢	すりこ木	おろし金(金属製)	おろし金(陶製)
かつお節削り	脚付きまな板	杓文字掛け	あげざる	酒徳利
醤油徳利				

(4)食卓

資料名				
普段のお膳	飯茶碗(2点)	汁椀(2点)	四つ椀	行事のお膳
ちゃぶ台(2点)	土瓶	茶碗(4点)		

(5)水まわりのくらし

資料名				
井戸車	釣瓶桶	手押しポンプ	手桶	水瓶
柄杓	流し台	洗い桶		

(6)食べ物の保存

蠅帳(2点)	甕(3点)	漬け物樽(2点)
--------	-------	----------

<3>着る

(1)着物

資料名				
野良着	女の単衣の着物	女の衿の着物と羽織	男の単衣の着物	男の衿の着物と羽織
男子の衿の着物と羽織		男子の単衣の着物		

(2)機織り

資料名			
高機	綿繰り	糸車	手織りの袋

(3)裁縫

資料名				
針箱	くけ台	尺差し	裁ち板	座布団

(4)洗濯

資料名				
たらい	金だらい	洗濯板	洗濯石鹸	火のし
鍔	炭火アイロン	張り板		

<4>くらす

(1)冬のくらし

資料名				
火鉢	五徳	火箸	灰ならし	鉄瓶
炭おこし	十能(炭運び)	炭入れ	やぐら炬燵(2点)	行火
湯たんぽ(陶製)	湯たんぽ(ブリキ製)	掻い巻き布団		

(2)夏のくらし

資料名				
蚊帳	蚊遣りぶた	うちわ	すだれ屏風	すだれ

(3)明かり

資料名				
燭台	行灯	ランプ(2点)	電灯	手燭
がندوق	小田原提灯			

(4)しまう

資料名				
行李(2点)	箆筒	茶箱	衣桁	布団風呂敷
鏡台				

(5)掃除

資料名				
座敷ほうき	庭ほうき	ぞうきん	バケツ	はたき

(6)聞く・見る

資料名	
蓄音機	ラジオ

<5>耕す

資料名				
下肥桶	天秤棒	肥柄杓	万能	平鍬
えぶり(しろならし)	田んぼ(模型)	田下駄	田植え定規	除草機
踏み車	足踏み脱穀機	唐箕	もみならし	万石通し
俵じょうご	米俵	箕		

(5) 市制施行75周年・開館25周年記念 企画展「日本の太鼓・世界の太鼓」

◆展示意図

松戸市制施行75周年と開館(園)25周年を記念して、「21世紀の森と広場」に所在する21世紀の森と広場公園管理事務所、森のホール21、松戸市立博物館の3館による連携プログラムを企画した。プログラムの共通テーマは「和太鼓」であり、「21世紀の森と広場」では和太鼓の競演を、森のホール21では和太鼓集団「鼓童」の公演をそれぞれ3月17日(日)に実施した。

博物館では太鼓館所蔵の資料を借用して、3月17日(日)の前後2週間の期間に太鼓の展示を行い、公園、森のホール21、博物館の3館に来館(園)者が回遊することを想定した連携プログラムとして実施した。



- ◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 山田尚彦<当館学芸員>)
- ◆後 援 (公財)松戸市文化振興財団、千葉テレビ放送株式会社
- ◆協 力 株式会社宮本卯之助商店(太鼓館)、国立民族学博物館、新京成電鉄株式会社、北総鉄道株式会社、流鉄株式会社
- ◆会 期 平成31年3月9日(土)～3月24日(日)(開催日数14日間)
- ◆会 場 松戸市立博物館企画展示室
- ◆観覧者数 1,371人(エントランスでの関連映像視聴者数500人)
- ◆観 覧 料 無料 [3月17日(日)は常設展も無料]
- ◆印 刷 物 ポスター B2判 300枚
チラシ A4判 6,000枚

◆関連企画

・太鼓館職員による展示解説会

対 象 者 大人から子どもまで

開催月日 平成31年3月17日(日)①14時15分～14時45分、②16時15分～16時45分

講 師 飯田希美氏(太鼓館[株式会社宮本卯之助商店]学芸員)

参加人数 延べ63人

展示資料リスト(※資料番号は太鼓館の資料番号、no.43は館蔵資料)

no.	資料番号	資料名		採取地	材質 (鼓面)	材質 (胴・枠)	たて (mm)	よこ (mm)	奥行 (mm)	直径 (mm)
1	366	ジェンベ	Djembe, Jembe	ブルキナファソ	馬皮		650	430	210	310
2	142	ベンドレ	Bendre	ブルキナファソ	牛皮	ひょうたん	390	370		275
3	319	クイア・タンボール	Cuia Tambor	ブラジル 連邦共和国	牛皮	ひょうたん	150			360
4	492	クイーカ	Quica	ブラジル 連邦共和国	山羊皮		75			187
5	183	タオス族の太鼓	Indian Drum	アメリカ合衆国	鹿皮	ポプラ	570			300/270
6	306	ナヴァホ族の太鼓	Indian Drum	アメリカ合衆国	鹿皮	シラカバ	435			450
7	519	タオス族の太鼓	Hand Drum	アメリカ合衆国	バッフアロー皮	松	60			320
8	431	チェロキー族の太鼓	Indian Drum	アメリカ合衆国	鹿皮	ブリキ缶	185			160
9	377	亀甲ラトルドラム	Turtle shell Rattle	アメリカ合衆国	鹿皮	亀甲	430	110	46	
10	54	トビラート	Tbilat	モロッコ王国	山羊皮	陶器	190	250		150
11-1	364	ベンディール	Bendir	モロッコ王国	山羊皮		320	300	25	
11-2	364	ベンディール	Bendir	モロッコ王国	山羊皮		320	300	25	

no.	資料 番号	資料名		採取地	材質 (鼓面)	材質 (胴・杵)	たて (mm)	よこ (mm)	奥行 (mm)	直径 (mm)
12	383	パンデロ・デ・ペチョ	Pandero de Pecho	スペイン王国	山羊皮	りんごの木	350	370	60	325
13	254	軍楽隊太鼓(大)	Side Drum	スイス連邦	オス牛の皮	松または杉		275		300
14	253	軍楽隊太鼓(中)	Side Drum	スイス連邦	オス牛の皮	松または杉		230		260
15	252	軍楽隊太鼓(小)	Side Drum	スイス連邦	子牛の皮	松または杉		170		210
16	571	ウントフ	У н т ф	ロシア連邦	トナカイ皮		750	570	30	
17	75	ダラブッカ	Darabukka	トルコ共和国	羊皮	銅板	340	210		200
18	514	ダラブッカ	Darabukka	イスラエル国	羊皮	素焼き	170			121
19	189	ラマナ	Rammana	ラオス人民民主共和国	子牛皮	紫檀	70	250		240/160
20	215	パーヤ	Bamya	パングラデシュ人民共和国	山羊皮/外環は水牛皮	素焼き	280	260		230
21	506	フドッカ	Huduka	インド				110		92
22	436	押し車太鼓	Toy Drum	インド	紙	素焼きの皿	40	155	230	140
23	1	モコ	Moko	インドネシア共和国	青銅	青銅	530			275
24	404	ンガ	Rnga	インド	山羊皮	松	1415		180	665
25	137	クンダン	Kendang	インドネシア共和国	水牛皮	ラワン	610			255/220
26	388	クンダンアゲン	Kendang ageng	インドネシア共和国	水牛皮			642	353	260
27	33	クロング・ヤーオ／クロン・ヨウ	Glaw·ng Yao	タイ王国	牛皮	マホガニー	705			205
28	346	ワルワ	Waruwa	パプアニューギニア独立国	トカゲ皮		940			160/170
29	347	トゥムトゥ	Tumtu	パプアニューギニア独立国	トカゲ皮		940			160
30	351	クンドゥ太鼓	Kundu Drum	パプアニューギニア独立国	トカゲ皮		975			140
31	463	クンドゥ太鼓	Kundu Drum	パプアニューギニア独立国	トカゲ皮		755			180
32	378	达克	Dalu	中華人民共和国	牛皮		390	240		260
33	228	缸鼓	Ganggu	中華人民共和国	豚皮					590
34	460	猴鼓	Hougu	中華人民共和国	山羊皮	クスノキ	505			490
35	418	平太鼓	Hira Daiko	日本	牛皮	ケヤキ	230		600	570
36	442	陣太鼓	Jin Daiko	日本	牛皮	ケヤキ	39			400
37	385	平鈞太鼓	Hirazuri Taiko	日本	牛皮		785		120	370
38	179	団扇太鼓	Uchiwa Daiko	日本	牛皮		460			250
39	653	ちぢん	Chijin	日本	馬皮	クスまたはセンダン	140	370		290
40	651	パーランク	Paranku	日本	豚皮				50	225
41	310	締太鼓	Shime Daiko	日本	牛皮	寄せ木	130			310
42	525	エイサー太鼓	Eisa Taiko	日本	豚皮	桐	480		500	470
43	—	桶胴型締太鼓	Okedogata Shimedaiko	日本	牛皮	杉		275		300
44	—	希望の鼓	Kibo no Tsutsumi	日本	牛皮	ケヤキ	1,370		760	900

このほかに、エントランス及び企画展示室内で国立民族学博物館所蔵の太鼓に関する映像資料4作品の常時上映を行った(下記参照。番号は国立民族学博物館の管理番号)。

- ①no.1125「ネパールのタイコ作り」(19分)
- ②no.1611「西ジャワの太鼓」(15分)
- ③no.1689「バタックのタイコとリズム インドネシア・スマトラ島」(19分)
- ④no.1699「海を渡った和太鼓」(15分)

(6) ミニ写真展

◆展示意図 当館に移管された松戸市役所広報課旧蔵の写真を常設展示室内で順次公開した。

◆主 催 松戸市立博物館(企画担当 柏木一朗<当館学芸員>)

◆テ ー マ 「タイムトラベル松戸1974 街にデパートができた頃」

◆会 期 ①平成30年4月1日(日)～6月30日(土)

②平成30年7月1日(日)～9月30日(日)

③平成30年10月2日(火)～12月27日(木)

④平成31年1月5日(土)～3月31日(日)

◆会 場 松戸市立博物館 常設展示室

◆観覧者数 単独として計上していない。

◆観 覧 料 常設展示観覧料に含む。

◆展示資料

街にデパートができた頃

1	伊勢丹松戸店/開店セレモニー	昭和49年(1974)4月19日
2	伊勢丹松戸店/開店セレモニー	昭和49年(1974)4月19日
3	伊勢丹松戸店/レジャープランコーナー	昭和49年(1974)4月19日
4	桜まつり/常盤平	昭和49年(1974)
5	桜まつり/常盤平	昭和49年(1974)
6	D51型蒸気機関車405号/ユウカリ交通公園	昭和49年(1974)4月25日
7	第1回松戸まつり	昭和49年(1974)10月9日
8	第1回松戸まつり/民謡パレード	昭和49年(1974)10月11日
9	第1回松戸まつり/ 松戸駅西口広場より伊勢丹を望む	昭和49年(1974)10月11日
10	第1回松戸まつり/松戸駅西口を望む	昭和49年(1974)10月11日
11	第1回松戸まつり/郷土芸能(伊勢丹屋上)	昭和49年(1974)10月11日
12	第1回松戸まつり/郷土芸能(伊勢丹屋上)	昭和49年(1974)10月11日
13	松戸市立図書館/全景	昭和49年(1974)2月5日
14	松戸市立図書館/屋上	昭和49年(1974)2月5日
15	婦人消防官/研修風景	昭和49年(1974)4月
16	婦人消防官/防火指導(みどり幼稚園)	昭和49年(1974)
17	40m級はしご車/松戸市役所前	昭和49年(1974)10月



街にデパートができた頃Ⅱ

1	伊勢丹松戸店/開店セレモニー	昭和49年(1974)4月19日
2	第1回入学式/松戸市立河原塚小学校	昭和49年(1974)4月19日
3	第1回入学式/松戸市立河原塚小学校	昭和49年(1974)4月19日
4	第1回松戸市こども祭/松戸市立第一中学校 学校体育館	昭和49年(1974)5月5日
5	第1回松戸市こども祭/仮装行列(桃太郎)	昭和49年(1974)5月5日
6	第1回松戸市こども祭/ 仮装行列(寺内貫太郎一家)	昭和49年(1974)5月5日
7	第1回松戸市こども祭/ 松戸市役所(仮装行列)	昭和49年(1974)5月5日
8	野菜の安売りデー/市内青果店	昭和49年(1974)7月
9	野菜の安売りデー/市内青果店	昭和49年(1974)7月
10	世界環境週間/江戸川クリーン運動	昭和49年(1974)6月9日
11	子と清水遺跡発掘調査/日暮	昭和49年(1974)2月
12	子と清水遺跡発掘調査/日暮	昭和49年(1974)2月
13	日枝神社の幟(勝海舟書)/和名ヶ谷	昭和49年(1974)
14	北山市民会館/串崎新田	昭和49年(1974)
15	体育館/運動公園(上本郷)	昭和49年(1974)6月
16	駅前バス停/松戸駅東口	昭和49年(1974)9月9日
17	文化ホール/郷土資料展示室	昭和49年(1974)12月



街にデパートができた頃Ⅲ

1	伊勢丹松戸店/開店セレモニー	昭和49年(1974) 4月19日
2	なわとび/松戸市立常盤平第二小学校	昭和49年(1974)
3	スロープ歩道/常盤平支所前	昭和49年(1974) 4月
4	千葉県警察本部音楽隊/老人ホーム慰問	昭和49年(1974) 7月
5	豆腐の安売りデー/松戸駅西口	昭和49年(1974) 7月12日
6	駅前バス停/松戸駅東口	昭和49年(1974) 9月9日
7	第1回松戸まつり/ 松戸駅西口駅前(民謡パレード)	昭和49年(1974)10月11日
8	第1回松戸まつり/ 松戸駅西口駅前(民謡パレード)	昭和49年(1974)10月11日
9	オーストラリア国立少年合唱団/ 松戸市民会館	昭和49年(1974) 9月11日
10	市民運動会(おんぶ競争)/ 松戸市立第一中学校	昭和49年(1974)10月11日
11	市民運動会(ボール渡し)/ 松戸市立第一中学校	昭和49年(1974)10月11日
12	市民運動会(綱引き)/松戸市立第一中学校	昭和49年(1974)10月11日
13	ミス松戸コンテスト入賞者/ 松戸市役所市長室	昭和49年(1974)10月
14	ミス松戸コンテスト入賞者/松戸市役所前	昭和49年(1974)
15	保育園早朝ランニング/パンダ保育所	昭和49年(1974)
16	松戸駅前時計塔/松戸駅西口	昭和49年(1974)10月
17	松戸駅西口ロータリー/松戸駅西口	昭和49年(1974)10月



街にデパートができた頃Ⅳ

1	松戸駅西口/柏方面を望む	昭和48年(1973)12月
2	松戸駅東口/柏方面を望む	昭和48年(1973)12月
3	年末警戒/五香南町会	昭和48年(1973)12月
4	成人式/松戸市民会館	昭和49年(1974) 1月15日
5	成人式/松戸市民会館	昭和49年(1974) 1月15日
6	新入生の健康診断/松戸市立中部小学校	昭和49年(1974) 1月17日
7	茅葺き門/戸定邸	昭和49年(1974) 3月
8	こども祭り/松戸市立中部小学校(仮装行列)	昭和50年(1975) 5月5日
9	プレハブ校舎/松戸市立高木小学校	昭和49年(1974)
10	サルビア公園/常盤平	昭和49年(1974) 8月
11	防火指導車の寄贈	昭和49年(1974)
12	松戸市文化祭/松戸市民会館	昭和49年(1974)11月
13	江戸川を守る会松戸支部/松戸市役所	昭和49年(1974)11月
14	清掃工場/流動焼却炉	昭和49年(1974)
15	ミニ消防車	昭和50年(1975)
16	第1回入学式/松戸市立高校	昭和50年(1975) 4月
17	おはなしキャラバン/稔台市民センター	昭和50年(1975)



(7) 第4回松戸市展選抜展

- ◆展示意図 松戸美術会との協力により、松戸市美術展覧会(市展)の運営に関わり指導的立場にいる会員の作品を選んで選抜展として開催した。
- ◆主 催 松戸美術会・松戸市教育委員会生涯学習推進課・松戸市立博物館
- ◆会 期 平成30年4月24日(火)～5月27日(日)
- ◆会 場 松戸市立博物館 企画展示室
- ◆観覧者数 館蔵資料展「まつどの江戸時代－古文書・絵画・模型からさぐる－」と同時開催のため、計上していない。
- ◆観 覧 料 無料
- ◆出品作家数 5名
- ◆作 品 数 12点

3 学習支援

(1) 講演会

■館長講演会

演 題	「ガンダーラの仏教美術－当館コレクションを中心に－」 (※特別展「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」講演会①:再掲)
対 象 者	一般
開催月日	平成30年 9 月30日(日)
内 容	当館所蔵のガンダーラ仏教美術作品に関して映像資料を多用して講演した。
講 師	望月幹夫(当館館長)
会 場	当館講堂
参加人数	67人(全て事前応募)

■歴史を語る

第1回	演 題	「近世・松戸河岸と江戸－人と物の交流－」
	対 象 者	一般
	開催月日	平成30年 6 月 3 日(日)
	内 容	関東地方の水陸の交通史を概観し、「宿」「川関所」「渡船場」「河岸」の4機能を持つ松戸宿の特殊性や、国学と松戸宿名主一族(吉岡家)の関係などに注目した講義が行われた。
	講 師	和泉清司氏(高崎経済大学名誉教授)
	会 場	当館講堂
	参加人数	87人(事前応募110人、当選者100人)
第2回	演 題	「姿を現した白鳳仏－飛鳥・川原寺裏山遺跡を掘る－」 (※特別展「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」講演会⑤:再掲)
	対 象 者	一般
	開催月日	平成30年11月10日(土)
	内 容	大量の埴仏や塑像の出土で注目された飛鳥・川原寺裏山遺跡について、当時、発掘調査に関わられた右島和夫氏が、その発掘成果をもとに白鳳の仏教文化を紹介した。
	講 師	右島和夫氏(群馬県立歴史博物館 館長)
	会 場	森のホール21レセプションホール
	参加人数	130人(事前応募115人、当日申込15人)
第3回	演 題	①「ニュータウンの変遷と地域社会～多摩ニュータウンを事例に～」 ②「常盤平団地の生活史」
	対 象 者	一般
	開催月日	平成31年 3 月 3 日(日)
	内 容	多摩ニュータウンと市内常盤平団地に暮らす人々の姿に焦点を当てた2つの講演会を実施した。①では、ニュータウンという新しい居住環境で、居住者たちはどのように生活し、どのような地域社会を築いてきたのかを豊富な資料によって明らかにした。②では、居住者の高齢化が進む常盤平団地において、集いの場所「いきいきサロン」を紹介するとともに、入居開始当初からの居住者家族の日常生活を記録することが必要であることを述べた。
	講 師	①金子淳氏(桜美林大学准教授) ②青木俊也(当館学芸員)

会 場 当館講堂
参加人数 38人(事前応募19人、当日受付19人)

■特別展記念講演会

演 題 「仏像のいないガンダーラ美術」
(※特別展「ガンダーラー仏教文化の姿と形ー」講演会②:再掲)
対 象 者 一般
開催月日 平成30年10月7日(日)
内 容 仏像不表現のガンダーラ仏教美術作品に関して映像資料を多用して講演した。
会 場 森のホール21レセプションホール
講 師 小泉恵英氏(九州国立博物館学芸部長)
参加人数 119人(事前応募105人、当日受付14人)

■松戸駅前博物館

第1回 演 題 「江戸落語を楽しむ会」
対 象 者 一般
開催月日 平成31年2月3日(日)
内 容 学芸員講話「お江戸の落語2 徒弟制と落語」(約30分)ののち、落語「さじ加減」(約50分)を聴き、江戸の庶民文化や話芸について学んだ。
講 師 月の家小圓鏡師匠、富澤達三(当館学芸員)
会 場 松戸市民劇場
参加人数 283人(まつど生涯学習大学受講生94人、一般189人)

第2回 演 題 「江戸時代のまつどを探る」
対 象 者 一般
開催月日 平成31年3月24日(日)
内 容 学芸員講話「地形と江戸時代の松戸」(約30分)と、渡辺尚志氏「松戸の村の江戸時代ー幸谷村を中心にー」(約80分)では、幸谷村を事例に近世村落のしくみを「無年季的質地請戻し慣行」などから考える講演が行われた。
講 師 渡辺尚志氏(一橋大学大学院社会学研究科教授)、富澤達三(当館学芸員)
会 場 松戸市民劇場
参加人数 174人(まつど生涯学習大学受講生41人、一般133人)

■「学芸員講演会」(博物館友の会共催)(会場:講堂、各回定員:80人・当日先着順)
各学芸員が専門分野について講演した。

開催月日	タイトル	講師	参加人数(うち友の会会員)
平成30年 5月27日(日)	「まつどの江戸時代 ーいろいろな歴史資料ー」	富澤達三	88人(23人)
6月17日(日)	「戦国時代の史料を眺めてみる ー西原文書ふたたびー」	中山文人	61人(23人)
10月14日(日)	「ガンダーラの仏教寺院跡をたずねて」	大森隆志	92人(21人)
10月28日(日)	「仏教文化の受容 ー古墳・飛鳥・白鳳ー」	小林孝秀	84人(20人)
12月16日(日)	「ナマハゲとサンタクロース」	山田尚彦	29人(9人)
平成31年 2月24日(日)	「幕末の水戸藩と松戸」	柏木一郎	86人(24人)

(2) 講座

(※当館講座の各回定員:30人)

■古文書を読む(近世入門編)(会場:当館実習室)

対 象 者	一般
開催月日	平成31年1月5日(土)～2月16日(土)の隔週土曜日、3月10日(日)(全5回)
内 容	本年度より、午後120分の講義とした。当館所蔵の一紙ものの近世古文書を解説し、文書自体の特徴を解説しつつ、基本的なくずし字の解説を行った。その他、文書内で登場する松戸の近世村落の概要・江戸幕府の村落支配のしくみなどを解説した。
講 師	富澤達三(当館学芸員)
応募人数	50人(抽選)
参加人数	延べ130人(①27人②26人③28人④26人⑤23人)

■古文書を読む(近世中級編Ⅰ)(会場:当館実習室)

対 象 者	一般
開催月日	平成30年9月15日(土)～11月10日(土)の隔週土曜日(全5回)
内 容	本年度も千駄堀の名主・土屋亮平家文書の御用留を解説した。テキストは「天保壺歳御触書御用留帳」で、17頁まで読み進めた。文書内の語句を説明するため、補助プリントを適宜使用した。
講 師	和泉清司氏(高崎経済大学名誉教授)
応募人数	38人(抽選)
参加人数	延べ144人(①29人②29人③30人④29人⑤27人)

■古文書を読む(近世中級編Ⅱ)(会場:当館実習室)

対 象 者	一般
開催月日	平成31年1月27日(日)～2月24日(日)の隔週日曜日、3月9日(土)、3月23日(土)(全5回)
内 容	中級編Ⅰの教材「天保十壺歳 御触書御用留帳」を継続して解説、17頁から最終の28頁まで読み終えた。その後、「天保十四年卯四月 日光御用二付諸事書抜帳」を16頁まで解説した。
講 師	出口宏幸氏(江東区文化財主任調査員)
応募人数	44人(抽選)
参加人数	延べ132人(①30人②27人③26人④25人⑤24人)

■戦国時代の史料を読む(会場:女性センターゆうまつど)

対 象 者	一般
開催月日	平成30年8月29日(水)～11月7日(水)の隔週水曜日(全6回)
内 容	一昨年、昨年に続いて当館所蔵「西原文書」からは4点、さらに本年度同時に市指定文化財となった「豊前氏古文書」より2点、また昨年度学界に公表された国府台合戦関係文書等3点の計9点を解説・解説した。なお点数が多い分、昨年度までのような受講者による研究発表は行わなかった。
講 師	中山文人(当館学芸員)
応募人数	27人
参加人数	延べ134人(①23人②23人③22人④24人⑤21人⑥21人)

■松戸の歴史をさぐる 近現代編Ⅲ(会場:実習室)

対 象 者	一般
開催月日	平成30年10月28日(日)・11月4日(日)・11月18日(日)(全3回)
内 容	館蔵資料及び『松戸市史』、近隣自治体史を参照しながら幕末維新期の松戸市域の様相と関連する人物について解説をおこなった。
講 師	柏木一朗(当館学芸員)
応募人数	48人(抽選)
参加人数	延べ84人(①29人②27人③28人)

■松戸市パートナー講座

実施年月日	内 容	主催者	派遣講師	参加人数
平成30年 5月27日(土)	松戸の歴史を学ぼう －江戸時代の北松戸－	いきいきサロン北松戸	富澤達三	40人
6月27日(水)	松戸の歴史を学ぼう －江戸時代の村と新松戸－	東町茶話会	富澤達三	16人
平成31年 2月7日(木)	小金地区の歴史 －戦国時代編－	小金地区社会福祉協議会	中山文人	107人
3月12日(火)	「小金領」と戦争	小金街並み文化交流協会	中山文人	51人

■その他講師派遣等

実施年月日	内 容	主催者	派遣講師	場 所	参加人数
平成30年 5月8日(火)	「幕末から明治初期の松戸」(講座「松戸の宿の今昔物語Ⅵー歩いて学ぶ松戸塾」)[講座講師]	生涯学習推進課(市民自主企画講座「ご近所探訪・地域を学ぶ」)	柏木一朗	松戸市文化ホール	30人
5月22日(火)	「松戸市の農業の歴史について」[講師]	農政課	柏木一朗 富澤達三	松戸市役所新館5階市民サロン	14人
6月25日(土)	松戸市文化財審議会への参加(「西原文書」,「豊前氏古文書」指定に係る審議)	社会教育課	中山文人	社会教育課(京葉ガスビル5階会議室)	—
9月6日(木)	「地形から見た江戸時代の松戸」[講演会講師]	松戸商工会議所	富澤達三	松戸市商工会議所	25人
9月29日(土)	「松戸方面から眺めた千葉市・千葉氏の戦国時代ー永祿の宗教対立と大戦争ー」[講座講師]	千葉市郷土博物館(「千葉市史研究講座」第1回古代・中世)	中山文人	千葉市生涯学習センター	123人
①10月19日 ②10月26日	「仏像のふるさとガンダーラ」	聖徳大学(オープン・アカデミー公開講座)	大森隆志	①聖徳大学生涯学習社会貢献センター、②松戸市立博物館企画展示室	①31人 ②32人
12月15日	「群馬県の横穴式石室ーその源流を探るー」[講座講師]	群馬県立歴史博物館(講座「ぐんま古墳最前線」)	小林孝秀	群馬県立歴史博物館	80人

(3) 体験学習

■こども体験教室「親も楽しむ 米づくりと展示づくり－小学生学芸員になろう－」

(博物館友の会共催、会場:21世紀の森と広場の水田当館実習室等)

対 象 者 小学4～6年生と保護者

開催月日 ①平成30年4月28日(土)田起こし・代かき

②5月12日(土)田植え

③6月30日(土)田の草取り・勉強会

④8月11日(土)案山子づくり

⑤9月22日(土)稲刈り

⑥10月6日(土)脱穀

⑦11月17日(土)竈でご飯を炊く・展示をつくる(1)

⑧12月1日(土)展示をつくる(2)

⑨平成31年1月12日(土)展示をつくる(3)

⑩1月26日(土)展示解説会

内 容 21世紀の森と広場の水田で、上記一連の米づくり体験をしたのち、それらを踏まえて児童が好きな作業を選んで、独力で時間をかけて展示パネルを制作して、本年度開催した学習資料展「昔のくらし探検」中で「小学生学芸員」コーナーとして展示した。なお本体験教室は、博物館友の会有志より終始協力を得た。

講 師 青木俊也・中山文人(当館学芸員)・博物館友の会有志

応募人数 24人(小学生10人、保護者14人)(※定員10組)

参加人数 延べ156人(小学生88人、保護者68人)

①19人②21人③21人④13人⑤14人⑥16人⑦16人⑧10人

⑨10人⑩16人

■こども体験教室「親も楽しむ 勾玉づくり」(会場:当館実習室、定員:各回小学生15人)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1回	平成30年 5月3日(木・祝)	10時00分～ 11時00分	小学生と 保護者 (こどもだけの 参加も可)	大森隆志 小林孝秀 (当館学芸員)	29名 (小学生16人 保護者13人)	27名 (小学生15人 保護者12人)
第2回		13時30分～ 14時30分			26名 (小学生15人 保護者11人)	27名 (小学生15人 保護者12人)
第3回	8月4日(土)	10時00分～ 11時00分	小学生と 保護者 (こどもだけの 参加も可)	大森隆志 (当館学芸員)	22名 (小学生15人 保護者7人)	22名 (小学生13人 保護者9人)
第4回		13時30分～ 14時30分			25名 (小学生15人 保護者10人)	22名 (小学生14人 保護者8人)
内 容	縄文時代の装身具作りをとおして、当時の生活技術の一端を知ってもらった。					

■こども体験教室「親も楽しむ 土鈴づくり」(会場:当館実習室、定員:各回小学生10人)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1回	平成30年 7月28日(土)	10時00分～ 11時00分	小学生と 保護者 (こどもだけの 参加も可)	小林孝秀 (当館学芸員)	15名 (小学生12人 保護者3人)	14人 (小学生8人 保護者6人)
第2回		13時30分～ 14時30分			10名 (小学生6人 保護者4人)	14人 (小学生6人 保護者他8人)
内容	粘土で鈴(土鈴)を作り、縄文時代の技術の一部を体験してもらった。					

■こども体験教室「自分でつくる糸と布－紡ぐ・染める・織る・縫う－」(博物館友の会共催)

(会場:当館実習室、定員:8人)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1回	平成30年 7月31日(水) (糸紡ぎ)	9時30分～ 12時30分／ 13時30分～ 16時30分	小学生 (3年生以上)	青木俊也 (当館学芸員) はたくさの会 (博物館友の会 サークル)	20人 (※定員8人の ため抽選)	延べ35人 ①7人 ②7人 ③7人 ④7人 ⑤7人
第2回	8月2日(金) (糸染め 下処理)	9時30分～ 11時30分				
第3回	8月7日(火) (糸染め)	9時30分～ 15時00分				
第4回	8月8日(水) (機織り)	9時30分～ 15時00分 の間の50分				
第5回	8月9日(木) (製作・作品作り)	9時30分～ 12時00分				
内容	松戸市域に伝わった機織りの技術を体験することを目的としている。具体的には、綿から糸車を使って糸を紡ぎ、その糸を草木染めして、高機で織った。そして織り上げた布でポシェットなどの作品を製作した。					

■こども体験教室「親も楽しむ からくりおもちゃ〈初級編〉パタパタをつくろう」

(博物館友の会共催)(会場:当館実習室、各回定員:10組20人)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1回	平成30年 8月19日(日)	10時00分～ 12時00分	小学3～6年生と保護者 (こどもだけの参加も可)	山田尚彦 (当館学芸員) 博物館友の会 有志	14人 (小学生7人 保護者7人)	15人 (小学生8人 保護者7人)
第2回		13時30分～ 15時30分			8人 (小学生4人 保護者4人)	13人 (小学生5人 保護者8人)
内容	郷土玩具のひとつ「パタパタ」を作って遊ぶ。作品は持ち帰ることができる。					

■こども体験教室「親も楽しむ からくりおもちゃ〈応用編〉からくり屏風をつくろう」
(博物館友の会共催)(会場:当館実習室、各回定員:10組20人)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第1回	平成30年 8月26日(日)	10時00分～ 12時00分	小学3～6年生と保護者 (こどもだけの参加も可)	山田尚彦 (当館学芸員) 博物館友の会 有志	20人 (小学生10人 保護者10人)	18人 (小学生9人 保護者9人)
第2回		13時30分～ 15時30分			12人 (小学生6人 保護者6人)	12人 (小学生6人 保護者6人)
内容	からくりおもちゃの応用編として、からくり屏風を作って遊ぶ。作品は持ち帰ることができる。					

■体験教室「裂き織りをしてみませんか」(博物館友の会共催)(会場:当館実習室)

	開催日	時 間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第 1 日	平成31年 2 月 6 日(水)	各日 ①10時00分～	一般	青木俊也 (当館学芸員) はたくさの会 (博物館友の会 サークル)	23人 (※各 2 人・定 員24人のため 抽選)	延べ24人
第 2 日	2 月 7 日(木)	②11時00分～				第 1 日 8 人
第 3 日	2 月 8 日(金)	③13時30分～ ④14時30分～ (各40分)				第 2 日 8 人 第 3 日 8 人
内 容	擦り切れたりして使えなくなった布を裂いて新しい布に再生する先人の知恵を体験した。					

■体験教室「自分でつくる糸と布」(博物館友の会共催)(会場:当館実習室)

	開催日	時間	対象者	講師	応募人数	参加人数
第 1 日	平成31年 2月19日(火) (糸紡ぎ)	9時30分～ 12時30分／ 13時30分～ 16時30分 の間の各50分	一般	青木俊也 (当館学芸員) はたくさの会 (博物館友の会 サークル)	35人 (※定員 8 人の ため抽選)	延べ16人 ① 8 人 ② 8 人
第 2 日	2月21日(木) (機織り)	9時30分～ 15時00分 の間の各50分				
内容	綿から糸車を使って糸を紡ぎ、高機で織った。					

■昔のくらし体験教室「天秤棒で桶を担いでみよう」(博物館友の会共催)(会場:当館企画展示室)

	開催日	時 間	対象者	講師	参加人数	人数内訳
第 1 回	平成31年 1月12日(土)	13時10分～ 16時00分の 間で随時	学習資料展 「昔のくらし探 検」観覧者	博物館友の会 有志	延べ95人 (子ども58人 大人37人)	21人
第 2 回	1月26日(土)					20人
第 3 回	2月9日(土)					17人
第 4 回	2月23日(土)					37人
内 容	天秤棒で桶を担いで、昔のくらしの一端を体験した。					

■昔のくらし体験教室「風呂敷を使ってみよう」(博物館友の会共催)(会場:当館企画展示室)

	開催日	時 間	対象者	講師	参加人数	人数内訳
第1回	平成31年 1月19日(土)	13時10分～ 16時00分の 間で随時	学習資料展「昔 のくらし探検」 観覧者	博物館友の会 有志	延べ103人 (子ども64人 大人39人)	28人
第2回	2月2日(土)					39人
第3回	2月16日(土)					36人
内 容	四角い物、丸い物、瓶を風呂敷で包んで、昔のくらしの一端を体験した。					

■昔のくらし体験教室「紙芝居と昔の遊びを楽しむ日」(博物館友の会共催)

(会場:縄文の森広場、森の工芸館、当館企画展示室)

対象者	子どもと一般
開催月日	平成31年3月24日(日)11時～15時30分
講師	紙芝居 峯岸 照恭氏(大江戸ヤッサン一座代表) 昔の遊び 博物館友の会有志
参加人数	延べ159人(子ども68人、一般91人) 紙芝居117人(子ども42人、一般75人) 昔の遊び42人(子ども26人、一般16人)) (※当日先着順)
内容	紙芝居とけん玉、コマなどの遊びを行って、「昔のくらし」における子どもの世界を楽しんだ。

■博物館を描こう

対象者	小学4～6年生
開催月日	平成30年7月29日(日)13時30分～16時30分
講師	学習支援専門員
応募人数	15人(※定員12人のため抽選)
参加人数	11人
内容	博物館内外の風景、展示物の絵を描くことによって、博物館に対する興味関心、理解を深める。

(4) ミュージアムシアター・プレイルーム

■ミュージアムシアター

公共上映の権利を有する映像ソフトを月替わりで毎日、講堂において定時上映した。ただし講演会等の開催時には、上映を中止した。

上映時間 午前11時・午後1時15分・3時15分

※午前11時上映分は『午前11時の名画座』として、過去に上映したものの中から好評だったものを上映した。(平成28年度から毎日上映)

※土日祝日の午後1時15分上映分は『キッズシアター』として、子ども向けプログラムの上映をした。

※7月2日～7月9日は燻蒸に伴う休館のため、上映していない。

ミュージアムシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
平成30年/4月	〈奇跡の映像 よみがえる100年前の世界〉 東洋 不思議の世界	26日	161人	6人
5月	〈極める・日本の美と心 奈良の名刹〉 薬師寺～白鳳の祈り・花会式～	25日	202人	8人
6月	小さな町の小さな物語(昭和35年) 〈昭和30年代日本・家族の幸福 親子編〉	26日	155人	5人
7月	〈人類－いかにして人は五大洲へ渡ったのか－〉 (1) 始まりの地 アフリカ	20日	130人	6人
8月	〈NHKスペシャル ドキュメント太平洋戦争 第4集〉責任なき戦場～ビルマ・インパール	27日	171人	6人
9月	〈珠玉の仏教美術5〉 仏教伝来と聖徳太子～飛鳥・白鳳時代～	26日	128人	4人
10月	〈知の回廊 第78回〉ギリシアから日本にきた 神々	26日	232人	8人
11月	〈極める・日本の美と心 奈良の名刹⑥〉 飛鳥寺・当麻寺	26日	270人	10人
12月	〈ふるさとの伝承24〉 イリコに生きる島の一年 ～瀬戸内海・伊吹島～	23日	83人	3人
平成31年/1月	〈昭和こどもキネマ 第三巻 児童映画篇2〉 鶴と子供たち(昭和24年)	22日	74人	3人
2月	〈昭和こどもキネマ 第五巻 児童映画篇3〉 ぼくらの教室(昭和23年)	23日	74人	3人
3月	〈昭和30年代の日本・家族の生活 都会の子ども たち編〉お姉さんと一緒(昭和31年)	26日	111人	4人
		296日	1,791人	6人

午前11時の名画座

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
平成30年 4 月	〈現代日本の形成過程 3〉 ワシントン会議と日米協調	26日	65人	2 人
5 月	〈森浩一が語る日本の古代 第11巻〉 東アジア文化と日本	26日	116人	4 人
6 月	〈大モンゴル I〉幻の王 プレスター・ジョン	26日	145人	5 人
7 月	〈映画で見る昭和30年代の日本・家族の幸福 夫婦編 2〉妻と夫がけんかした話(昭和32年)	20日	68人	3 人
8 月	〈映画で見る昭和30年代の日本・家族の生活 都会の子どもたち編〉遊び場のない子どもたち(昭和39年)	27日	94人	3 人
9 月	〈ふるさとの伝承10〉 田の神に語る－奥能登の農の心－	26日	85人	3 人
10月	〈アレクサンドロス大王と東西文明 第 3 話〉 神々のはるかな旅	26日	162人	6 人
11月	〈森浩一が語る日本の古代 第 9 巻〉 東海・関東の地域学	26日	132人	5 人
12月	〈日本の近代化遺産 第 8 巻〉 開拓者魂の証し－北海道の近代化遺産－	23日	63人	2 人
平成31年 1 月	〈昭和30年代の日本・家族の生活 都会の暮らし編〉おやじの日曜日(昭和34年)	22日	82人	3 人
2 月	〈ふるさとの伝承11〉 小さな森の祭り－若狭の聖域－	23日	53人	2 人
3 月	〈日本の近代化遺産 第 7 巻〉港が築いた日本の国際化－横浜・横須賀の近代化遺産－	27日	83人	3 人
		298日	1,148人	3 人

土日祝日のキッズシアター

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
平成30年 4 月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 こぶとり爺さん・たにし長者・魚女房	10日	69人	6 人
5 月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 ほら吹き娘・熊と狐・和尚と小僧の川渡り	9 日	69人	7 人
6 月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 しっぺい太郎・天にのぼった息子・無精くらべ	7 日	18人	2 人
7 月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 一足千里のわらじ・山伏と白い狼・月日のたつのは早い	8 日	43人	5 人
8 月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 七羽の白鳥・謎の恋歌・「お」は難しい	8 日	41人	5 人
9 月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 尻鳴りべら・涙を流した鬼の面・星の火	9 日	41人	4 人
10月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 風の神と子供たち・漆の兄弟・天の邪鬼とわらし	7 日	28人	4 人

上映月	映像タイトル	上映日数	観覧者数	1日平均
11月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 あとかくしの雪・三つの謎かけ・こおった声	7日	60人	8人
12月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 笠地蔵・塩ふき臼・大年の客	8日	37人	4人
平成31年1月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 因幡の白兎・嫁の坊主頭・三枚のお札	9日	61人	6人
2月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 炭焼き長者・金のなる木・お坊さんの手ぬぐい	8日	41人	5人
3月	アニメ〈ふるさと再生 日本の昔ばなし〉 三人の兄弟・狼の眉毛・どっこいしょ	10日	77人	7人
		100日	585人	5人

■プレイルーム

年齢を問わず、いつでも来館者が楽しめる場所として無料で開放している。体験プログラムとして、①やってみようアンギン編み、②つくってみようコースター、③着てみようアンギン編みの服、④つかってみよう糸車の4種類を実施した。また、「常設展示ぬりえ！」を設け、こどもからおとなまで、誰でもぬりえを楽しんでもらえるようにしている。

平成30年度利用者総数 12,173人

(5) 館内公開

対象者	一般
開催月日	①平成30年5月6日(日)10時00分～11時00分 ②平成30年8月12日(日)10時00分～11時00分
内容	博物館の多様な活動を理解していただくため、通常は非公開のバックヤード(車庫、荷解梱包室、燻蒸室、学芸員室、スタジオ、機械室、収蔵庫)を紹介・解説した。
講師	①青木俊也・小林孝秀(当館学芸員) ②青木俊也・中山文人・小林孝秀(当館学芸員)
応募人数	①事前応募5人、当日申込1人 ②事前応募5人、当日申込13人
参加人数	延べ24人(①6人②18人)

(6) ガイドツアー(常設展示解説)

平成30年度は208回行い1,126人が参加した。

「人類の登場」から「都市へのあゆみ」まで2名の展示解説員によるリレー方式の解説会を毎日午前10時と午後2時から行った(解説時間約30分間)。なお、団体観覧者においては適宜開催した。

(7) 情報提供

■ 閲覧コーナー

当館の購入図書及び関係諸機関との交換図書の閲覧サービスを行なっている。蔵書の一部は開架で提供している。

・蔵書数(平成31年 3 月31日現在)

開架図書冊数 1,240冊

閉架図書冊数 39,195冊

・閉架図書の利用状況(平成30年 4 月 1 日～平成31年 3 月31日)

利用人数:48人

利用冊数:100冊

・視聴覚資料数(平成31年 3 月31日現在)

ビデオテープ 418巻

C D 88枚

D V D 44枚

■ 刊行物

平成30年度の刊行物はずぎの通りである。

・松戸市立博物館年報 第25号

A 4 判75頁(本文71頁) 500部 平成30年 8 月31日

・ガンダーラ - 仏教文化の姿と形 - (特別展展示図録)

A 4 判140頁(本文136頁) 1,500部 平成30年 9 月22日

・松戸市立博物館紀要 第26号

A 4 判90頁(本文81頁) 800部 平成31年 3 月31日

■ ミュージアムショップ

刊行物とミュージアムグッズを販売している。

ミュージアムグッズ			
ジグソーパズル	5 種類(各900円)、1 種類(1,200円)	クリアホルダー	3 枚セット 100円
絵はがき	8 種類(各80円)、5 種類(各100円)	ミニクリアホルダー(景清・阿沙丸・土偶)	各200円
テレホンカード	4 種類 各700円	(※28年 9 月末まで販売)	3 枚セット 500円
埴輪ぬいぐるみキーホルダー(馬・人)	各350円	一筆箋(シルクロード・朱印状)	各300円
土鈴セット	200円	縄文土器レプリカ 深鉢形土器 3 種類	9,000円
メモ帳	100円		～10,000円
虚無僧ストラップ(青・赤・緑)	各750円	クリアホルダー(コシッキー 1 体・3 体)	各150円
虚無僧錦絵・絵はがきセット	350円		
図		録	
改訂版 常設展示図録(平成16年度)	1,500円	企画展 弥生人の脳発見!	完売
開館記念展 松戸写真館 完売		－とっとり青谷上寺地遺跡展－(平成14年度)	
－カメラがとらえた松戸の人々－(平成 5 年度)		企画展 はにわの十字路	1,000円
特別展 縄文土器の世界(平成 5 年度)	1,000円	－古代東国の交流と地域性－(平成14年度)	
企画展 救いの民俗	完売	特別展 川の道 江戸川(平成15年度)	1,000円
－地獄極楽冥土の旅－(平成 6 年度)		企画展 昔のくらし探検<松戸版>(平成16年度)	500円
特別展 馬と牧	完売	企画展 ベルシャ文明の曙	1,000円
－かつて松戸は牧場だった－(平成 6 年度)		－文明の基層を探る－(平成17年度)	
企画展 稲と魚	900円	企画展 戦国の城をさぐる	1,000円
－水田をめぐる漁・猟・採集－(平成 7 年度)		－松戸市根本内歴史公園開園記念－(平成18年度)	

図			録		
特別展	古墳時代の飾り馬 －馬利用のはじまりをさぐる－(平成7年度)	完売	特別展	縄文時代の東・西(平成20年度)	1,000円
企画展	小金城主高城氏 (平成8年度(平成13年度再版))	1,000円	企画展	人生儀礼の世界(平成21年度)	1,000円
特別展	シルクロードとガンダーラ(平成8年度)	1,500円	企画展	湯浅喜代治 考古コレクション －夢を追った70年－(平成22年度)	1,000円
特別展	福神の世界(平成9年度)	完売	企画展	東日本の古墳と渡来文化 －海を越える人とモノ－(平成24年度)	1,000円
特別展	ネアンデルタール人の復活(平成10年度)	1,000円	特別展	松戸の発掘60年史 －市内の遺跡を再検討－(平成25年度)	1,000円
企画展	水戸道中 －宿場と旅人－(平成10年度)	完売	企画展	Plastic ? /Plastic ? －高度経済成長とプラスチック－(平成26年度)	1,000円
特別展	貝塚を考える(平成10年度)	1,200円	企画展	石斧と人 －3万年のあゆみ－(平成28年度)	800円
企画展	戦後松戸の生活革新 完売 －新しい暮らし方へのあこがれ－(平成12年度)		企画展	本土寺と戦国の社会(平成29年度)	900円
企画展	中世の東葛飾 －いのり・くらし・まつりごと－(平成13年度)	1,200円	特別展	ガンダーラ －仏教文化の姿と形－(平成30年度)	1,000円
企画展	大名の旅 －本陣と街道－(平成19年度)	1,000円			
紀			要		
松戸市立博物館紀要	第1号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第14号	500円
松戸市立博物館紀要	第2号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第15号	500円
松戸市立博物館紀要	第3号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第16号	600円
松戸市立博物館紀要	第4号	700円	松戸市立博物館紀要	第17号	500円
松戸市立博物館紀要	第5号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第18号	500円
松戸市立博物館紀要	第6号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第19号	400円
松戸市立博物館紀要	第7号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第20号	500円
松戸市立博物館紀要	第8号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第21号	600円
松戸市立博物館紀要	第9号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第22号	500円
松戸市立博物館紀要	第10号	1,000円	松戸市立博物館紀要	第23号	400円
松戸市立博物館紀要	第11号	500円	松戸市立博物館紀要	第24号	300円
松戸市立博物館紀要	第12号	500円	松戸市立博物館紀要	第25号	400円
松戸市立博物館紀要	第13号	400円	松戸市立博物館紀要	第26号	400円
資 料 集 ・ 報 告 書					
松戸市立博物館歴史資料集1 東漸寺所蔵資料目録	700円		松戸市立博物館報告書3 松戸市民家調査報告書		完売
松戸市立博物館歴史資料集2 青木源内家所蔵資料目録追加	700円		松戸市立博物館報告書4 松戸旧宿場町建築物調査報告書		2,100円
松戸市立博物館映像記録VTR 送り大師 東葛飾印旛大師講の人々	完売		松戸市立博物館報告書5 農村松戸の民俗－1960年代調査の記録－		800円
松戸市立博物館報告書1 松戸の三匹獅子舞(VTR含む)	5,400円		松戸市立博物館報告書6 松戸市役所広報課旧蔵写真目録		900円
松戸市立博物館報告書2 縄文時代以降の松戸の海と森の復元	1,200円				
松 戸 市 史					
松戸市史 上巻	完売		松戸市古文書目録(三)「本土寺文書他」		2,000円
松戸市史 上巻(改訂版)「原始・古代・中世」	3,000円		松戸市古文書目録(四)「秋谷家文書」		2,500円
松戸市史 中巻「近世」	5,500円		松戸市史考古資料集1 大谷口遺跡の土師器と須恵器		300円
松戸市史 下巻(一)「明治」	4,000円				
松戸市史 下巻(二)「大正・昭和」	3,900円		松戸市史考古資料集2 千駄堀寒風台遺跡出土遺物を中心とする 考古資料		300円
松戸市史史料編(一)「大熊家文書」	2,800円				
松戸市史史料編(二)「近世諸家文書」	完売				
松戸市史史料編(三)「萬満寺史料」	3,500円		松戸市史考古資料集3 関場遺跡第2地点出土旧石器資料報告 寒風台遺跡出土石器再整理報告		300円
松戸市史史料編(四)「本土寺史料」	5,500円				
松戸市史史料編(五)上「秋谷家文書」	8,050円				
松戸市史史料編(五)下「秋谷家文書」	7,500円		松戸市史考古資料集4 上本郷遺跡出土の縄文時代後期から晩期を 中心とする考古資料		400円
松戸市史史料編(六)「東漸寺史料」	5,000円				
松戸市古文書目録(一)「諸家文書」	1,100円				
松戸市古文書目録(二)「諸家文書」	1,500円				

4 連携事業

(1) 博学連携プログラム

①受入

■博物館実習

平成30年度博物館実習生

班	大学名	氏名	学部学科
第1班	東洋大学	永井小百合	文学部史学科
	国土館大学	田中美由子	文学部史学地理学科
	昭和女子大学	賀古 千尋	人間文化学部歴史文化学部
	淑徳大学	追川 和樹	人文学部歴史学科
第2班	大正大学	田中 遥菜	文学部歴史学科
	立正大学	堤 羽蘭	文学部史学科
	日本大学	種林 由季	文理学部史学科
第3班	二松学舎大学	稲留 雛乃	文学部国文学科
	聖徳大学	阿部 汐里	文学部文学科
	青山学院大学	中井 有咲	文学部史学科
	東京成徳大学	大森 聡	人文学部日本伝統文化学科

(1) 合同実習

月 日	午 前	午 後
7月22日(日)	実習内容説明、館内バックヤード見学	展示見学、質疑応答

(2) 個別実習

第1班 平成30年7月27日(木)～8月1日(水)

月 日	午 前	午 後
7月26日(木)	フィルム資料の整理とリストの作成	同左
7月27日(金)	こども体験教室「土鈴をつくろう」準備	同左
7月28日(土)	こども体験教室「土鈴をつくろう」補助	同左
7月29日(日)	流山市市立博物館見学	足立区立郷土博物館見学
7月31日(火)	展示室における、こども向けメニューの開発	同左
8月1日(水)	展示室における、こども向けメニューの研究発表	まとめ・レポート執筆など

第2班 平成30年8月2日(木)～8月8日(水)

月 日	午 前	午 後
8月2日(木)	フィルム資料の整理とリストの作成	同左
8月3日(金)	こども体験教室「勾玉をつくろう」準備	同左
8月4日(土)	こども体験教室「勾玉をつくろう」補助	同左
8月5日(日)	流山市市立博物館見学	足立区立郷土博物館見学
8月7日(火)	展示室における、こども向けメニューの開発	同左
8月8日(水)	展示室における、こども向けメニューの研究発表	まとめ・レポート執筆など(富澤)

第3班 平成30年8月9日(木)～8月15日(水)

月 日	午 前	午 後
8月9日(木)	フィルム資料の整理とリストの作成	同左
8月10日(金)	近世・近代古文書整理(一時預かり資料の撮影)	同左
8月11日(土)	公文書整理	同左
8月12日(日)	流山市市立博物館見学	足立区立郷土博物館見学
8月14日(火)	展示室における、こども向けメニューの開発	同左
8月15日(水)	展示室における、こども向けメニューの研究発表	まとめ・レポート執筆など

■教員・生徒の職場研修・職場体験学習の受け入れ

博物館の活用等を目的とした小学校教員対象の体験研修と中学校・高等学校の児童・生徒の勤労観・社会観を育成するための職場体験学習を行った。

中堅教諭等資質向上研修(体験研修)

学 校 名	担当教科等	年 月 日
松戸市立小金中学校	数 学	平成30年7月24日・25日
松戸市立六実中学校	美 術	同 上
松戸市立高木第二小学校	教 務	平成30年8月16日・17日
松戸市立和名ヶ谷中学校	数 学	平成30年8月21日・22日

高校生(インターンシップ)

学 校 名	学 年	年 月 日
松戸市立松戸高等学校	第1学年(1人)	平成30年9月21日

中学生(職場体験学習)

学 校 名	学 年	年 月 日
専修大学松戸中学校	第2学年(2人)	平成30年6月6日
松戸市立松戸第一中学校	第2学年(2人)	平成30年11月6日
松戸市立和名ヶ谷中学校	第2学年(2人)	平成30年11月28日
松戸市立常盤平中学校	第2学年(2人)	平成30年11月29日
松戸市立第四中学校	第2学年(2人)	平成31年1月16日

②派遣

■千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会見学会

場 所	市内の各遺跡・史跡
開催月日	8月6日(月)
講 師	学習支援専門員
参加人数	20人
内 容	松戸市内の遺跡・史跡見学会における指導

■出前授業

市内の小学校・中学校を対象とし、当該校からの要請に応え、博物館学芸員及び学習支援専門員が、通常の授業の中でゲストティーチャーとして指導・支援を行った。

・松戸市立北部小学校

対 象 者	小学3～6年生 356人
開催日時	平成30年7月11日(水) 8時30分～15時00分
内 容	博物館アワードへの取り組み方について 社会科の研究及びイラスト等の取り組み方について 博物館の利用について
講 師	当館学習支援専門員

・聖徳大学附属小学校

対 象 者	小学4年生 55人
開催日時	平成30年9月25日(火) 9時20分～10時5分、10時25分～11時10分
内 容	松戸市立博物館における大橋三匹獅子舞の紹介 松戸市の伝統文化である大橋三匹獅子舞の保存の姿
講 師	山田尚彦(当館学芸員)、当館学習支援専門員

・専修大学松戸中学校

対 象 者	中学2年生 156名
開催日時	平成30年12月1日(土)10時40分～11時25分
内 容	「まつどの江戸時代～上本郷村～」を主題とし、当時の専修大学松戸中学校周辺の農村における生活について講演した。
講 師	富澤達三(当館学芸員)

聖徳大学附属小学校指導案(※GT:ゲストティーチャー)

指導計画

(1) 本時の目標

三匹獅子舞の保存や継承のための取組などを知り、人々の願いや努力について考えることができる。

【思考力・判断力・表現力】

(2) 本時の指導展開

時間	学習活動と内容	指導上の留意点(・)、評価(☆)	教具・資料
5分	・前回までの振り返りをする。 千葉県にある主な祭りや文化財の位置を確認する。 ・本時の課題を知る	・前回までの振り返りの中で、祭りについての意見が多く挙がっていることを伝え、本日の授業につなげる。	■資料:地図 (県内の文化財マップ) ■資料:写真 (県内の祭りの写真)
祭りを守るためにどのような事をしてきたのだろうか。			
10分	・GT1 松戸市博物館学芸員 山田先生のお話 〈千葉県を含めた東日本の無形文化遺産に獅子舞の出てるお祭りが多いのはなぜなのか。東日本と西日本のお祭りの違いは何か〉	・子ども達が調べたお祭りの中で特徴となる点に焦点を当てて、教材化し、由来や経緯を知る。 ＜仮＞ ①いつから(300年以上前から) ※時期や時間の経過 ②様子(三匹獅子舞や踊りなど) ※位置や空間的な広がり ③由来(神社やお寺などで) ※事象や人々の相互関係をわかりやすくまとめることができるようにする。	
30分	・GT2 大橋三匹獅子舞保存会の方々 ＜三匹獅子舞の踊り披露＞ ＜獅子舞の解説＞	・大橋三匹獅子舞の今 ①いつから 神社と祭りの関係 ②様子 三匹獅子舞 ③由来 受け継ぐ大変さ	■GT:大橋三匹獅子舞保存会の方々 ■資料:獅子舞の衣裳 楽器
中休み 20分休憩			
25分	・GT1、GT2へのインタビュー 1組、2組のそれぞれの場所にわかれ、グループごとにGTへインタビューをする。	・実際に見て聴いて感じた気持ちなども含めて、踊る理由や受け継ぐ難しさなどを質問する。 [保存会の方4カ所] [山田先生1カ所] 計5カ所	
15分	・インタビューしてわかったこと、考えたことを発表する。 みんなで楽しむもの 神様に感謝するもの	・祭りを守るためにどのような事をしてきたのか、グループごとに発表し、他のグループからも学び合う。	■移動黒板
5分	・学習の振り返りをする。	・今日の授業で自分がわかったことを比較させ、振り返ることができるようにする。 ☆保存や継承のための取組などを知り、人々の願いや努力について考えることができる。(ノート、振り返りシート)	

(聖徳大学附属小学校より提供)

③事業

■中学生・高校生縄文土器に挑戦 by drawing

対 象 者 松戸市内中学校美術部員、松戸市立松戸高等学校美術部員
 開催月日 平成30年7月25日(水)
 内 容 縄文土器をモチーフに絵を描くことを通じて、松戸市域の縄文時代の生活に理解を深めるとともに、縄文土器の造形的な美しさを表現することで、時代を超えた美的価値を味わう機会とした。
 講 師 初鹿 香 氏(松戸市立六実中学校美術科教諭)、当館学習支援専門員
 参加人数 8人

■中学生・高校生縄文土器に挑戦 by drawing 作品展

展示意図 中学生と高校生が縄文土器の観察を通して味わった感動を、自分なりの感性、個性で絵に表現し、その作品を展示した。
 主 催 松戸市立博物館
 会 期 平成30年8月1日(水)～8月19日(日)
 会 場 松戸市立博物館 企画展示室前ロビー
 観覧者数 「松戸ゆかりの美術展－その潜在力－」と同時開催のため、計上していない。
 観 覧 料 「松戸ゆかりの美術展－その潜在力－」の観覧料
 作 品 数 8点

■第3回松戸市立博物館アワード

趣 旨 博学連携の一環として、博物館の機能並びに環境を生かしたコンクールを開催することにより、児童生徒の博物館に対する理解を深めるとともに、博物館の積極的な活用を推進する機会とする。

募集概要 (1)募集内容並びに募集対象者

①歴史に関する自由研究部門

・小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部

②歴史に関するイラスト部門

・小学生中学年の部、小学生高学年の部、中学生の部、高校生の部

(2)募集期間

・平成30年7月1日(土)～9月15日(土)

(3)表彰

①自由研究部門各部1点を教育長賞、2点を博物館長賞、さらに11点を優秀賞。その他37点を佳作。

②イラスト部門各部1点を教育長賞、3点を博物館長賞、さらに16点を優秀賞。

展示会場 当館 企画展示室

作品展開催月日 平成30年12月4日(火)～12月16日(日)

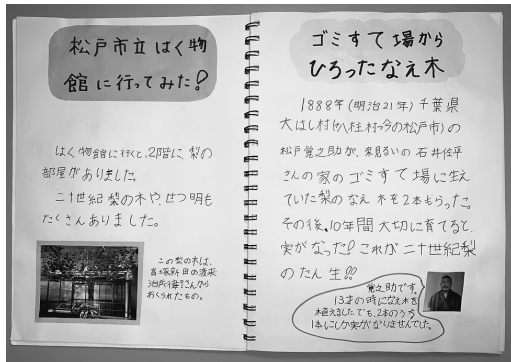
応募点数

	小学生中学年	小学生高学年	中学生	高校生	合計
自由研究部門	41	129	121	1	292
イラスト部門	34	145	162	9	350

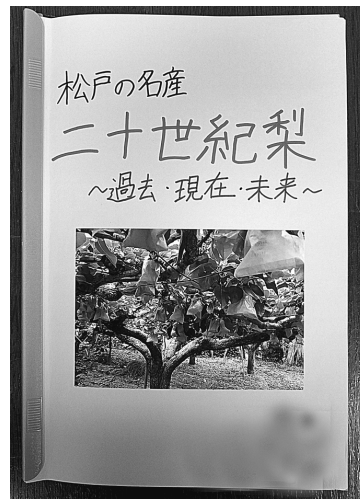
応募校数 ・自由研究部門:26校

・イラスト部門:37校

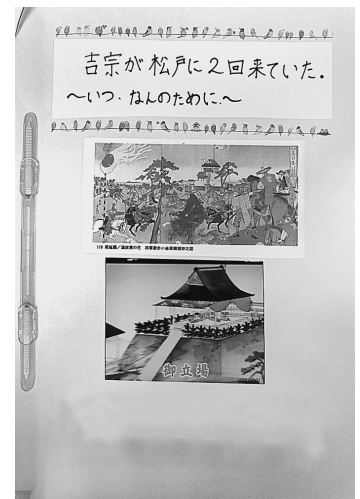
<自由研究部門>



教育長賞
「松戸市出身 二十世紀梨」
(六美小学校3年)



博物館長賞
「松戸の名産二十世紀梨」
(和洋国府台女子中学校1年)



博物館長賞
「吉宗が松戸に2回来ていた」
(聖徳大学附属小学校6年)

<イラスト部門>



教育長賞
「粋めかなきやあ、意味がない」
(牧野原中学校3年)



博物館長賞
「天照大御神」
(牧野原小学校4年)



博物館長賞
「桜・熊本城」
(寒風台小学校6年)



博物館長賞
「大正時代」
(市立松戸高校2年)

■第3回博物館アワード作品展

展示意図 博物館アワード(歴史自由研究、歴史イラスト部門)に応募した小中学生、高校生の入賞・入選作品を展示した。

主催 松戸市立博物館
会期 平成30年12月4日(火)~12月16日(日)
会場 松戸市立博物館 企画展示室
観覧者数 346人
観覧料 無料
作品数 自由研究部門45点、イラスト部門350点



■松戸市小中学生優秀作品展

展示意図 学習資料展「昔のくらし探検」の会期に合わせて、市内小中学校の絵画やポスター等の優秀作品を展示することにより、優れた作品を鑑賞し、よさを味わう機会とした。

主催 松戸市立博物館(企画担当 当館学習支援専門員)
会期 ①松戸市小中学生観光絵画優秀作品展

平成31年1月12日(土)～1月24日(木)

②こども県展優秀作品展

平成31年1月26日(土)～2月7日(木)

③明るい社会づくりポスター優秀作品展

平成31年2月9日(土)～2月21日(木)

会 場 松戸市立博物館 企画展示室前ロビー

観覧者数 学習資料展「昔のくらし探検」と同時開催のため、計上していない。

観 覧 料 無料

作 品 数 ①16点、②28点、③21点

(2) その他

■千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会向け展示解説会(ナイトミュージアム)

連携対象 千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会

開催月日 平成30年11月15日(木)

内 容 特別展「ガンダーラー 仏教文化の姿と形」の展示解説を千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会の有志に向けて行った。

講 師 大森隆志(当館学芸員)

参加人数 27名

■こどもモニター事業への協力

連携対象 子どもわかもの課「こどもモニター事業」

開催月日 平成30年7月24日(火)・25日(水)

内 容 「こどもモニター事業」に係る施設見学会(埼玉県立歴史と民俗の博物館・足立区立郷土博物館・松戸市立博物館)およびグループワーク(「理想の博物館」について)に学芸員2名が随行のうえ、協力した。

講 師 山田尚彦・青木俊也(当館学芸員)

参加人数 延べ50人(1日目:27人・2日目:23人)

■「ゲットユアドリーム」事業への協力

連携対象 子どもわかもの課「ゲットユアドリーム」事業

開催月日 ①平成30年9月7日(金) 松戸市立小金中学校

②平成31年1月26日(土) 松戸市立古ヶ崎中学校

内 容 「ゲットユアドリーム」事業で、中学校へ学芸員2名を派遣し、博物館学芸員の仕事や経験に関する講義を行った。

講 師 ①柏木一郎・②富澤達三(当館学芸員)

参加人数 延べ374人(①235人、②139人)

5 調査・研究

(1) 松戸市古文書調査(委託)

博物館における展示の基礎資料を得るため、平成2年度より古文書調査団を組織し、一時中断をはさみ、平成30年度に第26次の調査として再開した。今年度は松戸市上矢切(旧上矢切村)の町山家文書を調査し、168点分の仮目録を作成し、データベース化を行った。

[組織]

団 長：渡辺尚志(一橋大学教授)

調 査 員：金澤真嗣・菅原一・水林純・斎藤一・藤原正克・関千賀子・心光康子・山本渉・吉田舞衣・黒滝香奈・小杉宇海(以上、一橋大学大学院生)

(2) 研究員の活動

「松戸市立博物館研究員設置要綱」に則り、下記の方々に研究員を委嘱した。

村井良子(有限会社 プランニング・ラボ)

研究テーマ「子供向け展示の研究」

松戸市立博物館における常設展示室リニューアルにおける(仮)「こども歴史博物館」の展示計画を検討するために、企画展「こどもミュージアム」制作途中評価調査計画を策定した。さらに「こどもミュージアム」の展示構成、展示手法を検討した。

中川 洋(法政大学兼任講師)

研究テーマ「陸軍鉄道聯隊演習線の研究」

鉄道聯隊によって千葉県内に敷設された演習線について、その建設の背景および経緯、訓練や運用の実態、戦後の跡地利用についての研究を行った。具体的には、①鉄道聯隊に関連する文献の調査と目録の作成、②新京成電鉄所蔵鉄道聯隊関連写真の調査と目録の作成を行った。

柴田 徹(有限会社 石器石材研究所)

研究テーマ①「松戸市における旧石器時代の石材移動についての研究」

関場遺跡第2地点出土の石器石材産地分析を行なった。成果は松戸市立博物館紀要第26号に掲載した。

研究テーマ②「偏光顕微鏡を用いた土器胎土分析による松戸市内出土縄文土器とブルガリア先史土器の比較研究」

上記テーマの基礎研究として、松戸市内出土縄文土器とブルガリア先史土器のプレパラートを20点作成した。

(3) 学芸員の活動

山田 尚彦 専攻分野：日本民俗学・文化人類学

研究テーマ：「地域社会における民俗芸能の継承と葛藤に関する研究」

「近代知識の大衆化に関する歴史社会学的研究」

[年間活動]

- ・こども体験教室「親も楽しむからくりおもちゃ<初級編>パタパタをつくろう」講師(2回・平成30年8月19日)
- ・こども体験教室「親も楽しむからくりおもちゃ<応用編>からくり屏風をつくろう」講師(2回・平成30年8月26日)

- ・講演会講師 学芸員講演会⑤「ナマハゲとサンタクロース」(平成30年12月16日)
 - ・市制施行75周年・開館25周年記念企画展「世界の太鼓・日本の太鼓」担当(平成31年3月9日～3月24日)
- [外部機関等協力活動]

- ・千葉大学非常勤講師「博物館資料論A」(平成30年10月1日～平成31年3月31日)
- ・講演会講師「人文・社会科学の視点によるプラスチックの展示—『Plastic? Plastic! 高度経済成長とプラスチック』展をふりかえって」(道具学会2018年度シンポジウム「プラスチックの道具力」平成30年6月10日 会場:新宿区新宿歴史博物館講堂)

[執筆]

- ・「民具短信 松戸市立博物館「東北の伝統こけし」コレクション紹介」『民具マンスリー』第51巻10号 神奈川大学日本常民文化研究所 平成31年1月10日

[所属学会]

日本文化人類学会、日本民具学会、相模民俗学会、地方史研究協議会、文化資源学会、日本生活学会、日本風俗史学会、日本家政学会、日本写真学会、メディア史研究会、情報知識学会、文化財保存修復学会

中山 文人 専門分野:日本中世史
研究テーマ:「関東中世史の研究」

[年間活動]

- ・講座講師 講座「戦国時代の史料を読む」(6回・平成30年8月29日～11月7日の隔週水曜日)
- ・講演会講師 学芸員講演会②「戦国時代の史料を眺めてみる－西原文書ふたたび－」(平成30年6月17日)
- ・こども体験教室講師「親も楽しむ米づくりと展示づくり－小学生学芸員になろう－」(10回・平成30年4月28日～平成31年1月26日)

[外部機関等協力活動]

- ・千葉市史研究講座講師「松戸方面から眺めた千葉市・千葉氏の戦国時代－永祿の宗教対立と大戦争－」(平成30年9月29日)
- ・松戸市パートナー講座講師「小金の歴史〈戦国時代編〉」(小金地区社会福祉協議会・平成31年2月7日)
- ・松戸市パートナー講座講師「『小金領』と戦争」(小金街並み文化交流協会・平成31年3月12日)

[執筆]

- ・「館蔵古文書から学ぶ中世の東国－博物館講座の実際と課題－」『松戸市立博物館紀要』第26号 松戸市立博物館 平成31年3月31日

[所属学会]

歴史学研究会、地方史研究協議会、日本史研究会、千葉城郭研究会、博物館問題研究会

青木 俊也 専門分野:民俗学
研究テーマ:「戦後生活史展示の研究」「葬墓習俗の研究」

[年間活動]

- ・学習資料展「昔のくらし探検」担当(平成31年1月12日～2月24日)
- ・こども体験教室講師「親も楽しむ 米づくりと展示づくり－小学生学芸員になろう－」(10回・平成30年4月28日～平成31年1月26日)
- ・体験教室講師「自分でつくる糸と布」(2回・平成31年2月19日、2月21日)
- ・体験教室講師「裂き織りをしてみませんか」(24回・平成31年2月6日、7日、8日)
- ・講演会講師 歴史を語る③「常盤平団地の生活史」(平成31年3月3日)

[外部機関等協力活動]

- ・立教大学兼任講師 学校・社会教育講座「民俗学」1(平成30年4月1日～平成30年8月31日)
- ・神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科非常勤講師「博物館民俗資料学特論」「博物館歴史資料学特論」(平成30年9月1日～平成31年3月31日)

[執筆]

- ・「現代史展示と社会－「2DK生活再現展示」の「文献メディアによる展示利用」の推移－」

『松戸市立博物館紀要』第26号 松戸市立博物館 平成31年3月31日

[所属学会]

日本民俗学会

大森 隆志 専門分野:考古学

研究テーマ:「中世地下式坑の考古学的研究」

[年間活動]

- ・市制施行75周年・開館25周年記念特別展「ガンダーラー仏教文化の姿と形」(平成30年9月22日～11月25日)担当
- ・こども体験教室「親も楽しむ勾玉づくり」講師(2回・平成30年8月4日)
- ・講演会講師 学芸員講演会③「ガンダーラの仏教寺院跡をたずねて」(平成30年10月14日)

[外部機関等協力活動]

- ・講演会講師 聖徳大学オープン・アカデミー公開講座「仏像のふるさとガンダーラ」(平成30年10月19日・10月26日)

[執筆]

- ・共編著『ガンダーラー仏教文化の姿と形』特別展展示図録 松戸市立博物館 平成30年9月22日
- ・共著「松戸市関場遺跡第2地点の石器石材について」『松戸市立博物館紀要』第26号 松戸市立博物館(平成31年3月31日)

[所属学会]

日本考古学協会、日本考古学会、縄文時代文化研究会、山梨県考古学協会、文化経済学会(日本)、日本アートマネジメント学会

柏木 一郎 専門分野:日本近代史

研究テーマ:「近代日本政治外交史・近代日本軍事史の研究」

[年間活動]

- ・ミニ写真展担当(平成30年4月1日～31年3月31日)
- ・講座講師「松戸の歴史をさぐる 近現代編Ⅲ」(平成30年10月28日、11月4日・16日)
- ・講演会講師 学芸員講演会⑥「幕末の水戸藩と松戸」(平成31年2月24日)

[外部機関等協力活動]

- ・法政大学通信教育部兼任講師「日本近代史」(平成30年4月7日～7月20日)
- ・法政大学文学部兼任講師「日本史序説Ⅰ」(平成30年9月16日～平成31年3月31日)

[所属学会]

歴史学会、明治維新史学会、東アジア近代史学会、日本台湾学会、洋学史学会、法政大学史学会

小林 孝秀 専門分野:日本考古学・東アジア考古学

研究テーマ:「古墳時代東国社会の研究」「古代東アジア交流史の研究」

[年間活動]

- ・市制施行75周年・開館25周年記念特別展「ガンダーラー仏教文化の姿と形」(平成30年9月22日～11月25日)担当
- ・こども体験教室「親も楽しむ勾玉づくり」講師(2回、平成30年5月3日)
- ・こども体験教室「親も楽しむ土鈴づくり」講師(2回、平成30年7月28日)
- ・講演会講師 学芸員講演会④「仏教文化の受容－古墳・飛鳥・白鳳－」(平成30年10月28日)

[外部機関等協力活動]

- ・駒澤大学文学部非常勤講師「歴史学(日本考古学)」(平成30年4月1日～平成31年3月31日)
- ・専修大学文学部非常勤講師「歴史学101(前期)・歴史学102(後期)／歴史の視点(前期)・歴史と地域・民衆(後期)」「日本史a(前期)・日本史b(後期)」(平成30年4月1日～平成31年3月31日)
- ・学会発表「東日本の渡来文化・渡来人」考古学研究会第47回東京例会「古墳時代東日本における渡来文化のルートとルーツ」(会場:國學院大學渋谷キャンパス、平成30年6月30日)

- ・講座講師及び対談「群馬県の横穴式石室－その源流を探る－」群馬県立歴史博物館ミュージアムカレッジ「ぐんま古墳最前線」(全7回のうち第4回を担当、会場:群馬県立歴史博物館視聴覚室)
- ・学会報告及び討論「腰石をもつ横穴式石室の諸相－東日本を中心として－」第30回山梨県考古学協会研究集会『横穴式石室と用石技法』(主催:山梨県考古学協会、会場:帝京大学文化財研究所大ホール、平成31年1月19日)

[執筆]

- ・共編著『ガンダーラ－仏教文化の姿と形－』特別展展示図録 松戸市立博物館 平成30年9月22日
- ・「関東出土の仏教関連資料－埴仏・塑像・押出仏－」『ガンダーラ－仏教文化の姿と形－』特別展展示図録 松戸市立博物館 平成30年9月22日
- ・「腰石をもつ横穴式石室の諸相－東日本を中心として－」『第30回山梨県考古学協会研究集会 横穴式石室と用石技法』山梨県考古学協会 平成31年1月19日

[所属学会]

日本考古学協会、日本考古学会、考古学研究会、東北・関東前方後円墳研究会、中国・四国前方後円墳研究会、茨城県考古学協会、埴輪研究会、韓国考古学会、嶺南考古学会、専修大学歴史学会

富澤 達三 専門分野:日本近世史・歴史民俗資料学

研究テーマ:「図像資料による江戸後期から明治初頭の常民文化の研究」

「動物から探る松戸の近世」

[年間活動]

- ・市制施行75周年・開館25周年記念館蔵資料展「まつどの江戸時代－古文書・絵画・模型からさぐる－」(平成30年4月24日～6月24日)担当
- ・講演会講師 学芸員講演会①「まつどの江戸時代 歴史資料のいろいろ」(平成30年5月27日)
- ・講座講師「古文書を読む(近世入門編)」担当(全5回、平成31年1月5日(土)～2月16日(土)の隔週土曜日と3月10日[日曜日])
- ・「松戸駅前博物館1 江戸落語を楽しむ会」学芸員講話「お江戸の落語2 徒弟制と落語」(平成31年2月3日)
- ・「松戸駅前博物館2 江戸時代のまつどを探る」学芸員講話「地形と江戸時代の松戸」(平成31年3月24日)

[外部機関等協力活動]

- ・松戸市パートナー講座講師「松戸の歴史を学ぼう／江戸時代の北松戸」(主催:いきいきサロン北松戸、会場:北松戸会館、平成30年5月19日)
- ・松戸市パートナー講座講師「松戸の歴史を学ぼう／江戸時代の村と新松戸」(主催:マロン会、会場:アルス新松戸、平成30年6月27日)
- ・講演会講師 専修大学松戸中学校2年生向け講座「松戸の江戸時代 上本郷村」(平成30年12月1日)
- ・神奈川大学日本常民文化研究所非文字資料センター、研究協力者(平成30年4月1日～平成31年3月31日)

[執筆]

- ・「動く奪衣婆像－幕末錦絵の新傾向－」『松戸市立博物館紀要』第26号 松戸市立博物館 平成31年3月31日

[所属学会]

地方史研究協議会、関東近世史研究会、明治維新史学会、日本民俗学会、国際浮世絵学会、日本風俗史学会

6 資料の収集と利用

(1) 資料の収集

一次資料収集

受贈

・待山 順俊 様	「松戸市古ヶ崎待山重雄氏所蔵文書」	136点
・木村 淑子 様	「盃」 （「北小金駅開通記念」ほか4点）	5点
・神原 みよ 様	「浮彫片(ガンダーラ)」	2点
・鈴木 教傳 様	「仏頭(ガンダーラ)」	1点

寄託

・塚田 輝夫 様	「旧秋山村渡辺家文書」	42点
・上本郷獅子舞講中 様	「上本郷獅子講中史料」 「上本郷獅子舞 獅子頭羽根飾り」	528点 3点

購入

・薬入れ(江戸時代後期)	1点
・古文書「大目付江(虚無僧取締達)」(江戸時代後期)	1点
・摺物「下総小金ヶ原の御狩(仮題)」(嘉永二年)	1点

二次資料収集

受贈図書	342冊	図書交換機関等	357ヶ所
購入図書	81冊	購入逐次刊行物	39タイトル
交換図書	526冊	受贈及び交換逐次刊行物	227タイトル



松戸市古ヶ崎待山重雄氏
所蔵文書



盃



浮彫片(ガンダーラ)



浮彫片(ガンダーラ)



仏顔(ガンダーラ)



古文書「大目付江(虚無僧取締達)」



摺物「下総小金ヶ原の御狩(仮題)」



薬入れ

(2) 博物館資料の貸出 (平成30年4月1日～平成31年3月31日申請分)

	貸出期間	借用者	利用形態	目的	貸出資料・点数
1	平成30年6月12日～9月28日	東京国立博物館	資料貸出	特別展「縄文—1万年の美」で展示するため	幸田貝塚出土土器12点
2	平成30年7月24日～9月4日	松戸市教育委員会社会教育課	資料貸出	「松戸ゆかりの美術展—その潜在力—」で展示するため	陸軍工兵学校アルバム「特火点」ほか2点
3	平成30年8月15日～平成31年1月18日	岩宿博物館	資料貸出	企画展「石槍」の展示資料とするため	尖頭器(子と清水遺跡)ほか4点
4	平成30年10月30日～平成31年3月30日	一橋大学	資料貸出	上矢切町山家文書の目録作成のため	上矢切町山家文書117点
5	平成30年11月20日～平成31年3月31日	一橋大学	資料貸出	松戸市秋山 渡辺知家文書ほかの目録作成のため	秋山 渡辺知家文書ほか一括
6	平成30年12月22日～平成31年2月3日	葛飾区郷土と天文の博物館	資料貸出	企画展「家内安全 商売繁盛—厄除けと招福の縁起物—」で展示するため	五條天神宝船ほか5点

(3) 博物館資料の特別利用 (平成30年4月1日～平成30年3月31日申請分)

No.	利用日	利用者	利用形態	目的	利用資料・点数
1	平成30年4月15日	(株)フラジャイル	写真・イラスト利用	TBSテレビ「噂の!東京マガジン」にて使用	「常盤平団地2DK」写真・イラスト3点
2	平成30年4月19日	東京国立博物館	調査	東京国立博物館特別展「縄文—1万年の美の鼓動」作品借用に伴う確認のため	幸田貝塚出土土器21点
3	平成30年4月20日	手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会	写真利用・その他(刊行物から転載)	会誌「水辺の城」に小金城跡出土資料写真を掲載するため	当館図録「戦国の城をさぐる」所収写真6点
4	平成30年5月15日	一般社団法人 高麗1300	写真利用	『渡来文化古代東国史跡マップ』に掲載するため	行人台遺跡出土土器鉄斧・多孔式甕写真1点
5	平成30年5月15日	三郷市立後谷小学校	映像利用	教育・研究の資料とするため	ぼくらのワンダーランド(通常版・日本語)1点
6	平成30年5月20日	個人	画像利用	資料調査のため	「伊勢丹」松戸店開店セレモニー写真2点
7	平成30年5月20日	松戸よみうり新聞社	写真撮影・写真利用・その他(図録から転載)	松戸商工会議所会報誌「ブリッジ」平成30年5月号に掲載するため	常設展示室 下谷・谷津・台の模型写真3点、下谷・谷津・台の位置を示す図1点
8	平成30年5月22日	財務省関東財務局千葉財務局事務所	写真撮影	国有財産調査のため	一筆限地図帳1点
9	平成30年5月25日	個人	写真利用	『東京下町の開発と景観』上巻 古代編への掲載	栗山古墳群出土埴輪(人物頭部写真)1点
10	平成30年5月30日	財務省関東財務局千葉財務局事務所	写真撮影	国有財産調査のため	明村道路認定調書1点
11	平成30年5月31日	(株)かみゆ	写真利用	『今を知るための日本史(仮)』(株式会社朝日新聞出版)に掲載するため	幸田貝塚出土土器写真1点
12	平成30年6月2日	個人	写真撮影	当該資料の不明部分を撮影し、研究資料とするため	野馬焼印之図並考1冊
13	平成30年6月15日	個人	写真利用	法性尼の伝説、正泉寺における女人成仏の信仰を研究するため	『血盆経縁起絵 尼御寮法性尼生滅之図』写真ほか2点
14	平成30年6月20日	松戸よみうり新聞社	写真撮影・画像利用	松戸商工会議所会報誌「ブリッジ」平成30年6月号に掲載するため	常設展示室 常盤平団地の復元展示物
15	平成30年6月22日	個人	写真撮影	土地調査のため	丁一筆限地図帳(上本郷村)1点

No.	利用日	利 用 者	利用形態	目 的	利用資料・点数
16	平成30年 6 月25日	国文学研究資料館	写真利用・掲載	2018年連携展示「祈りと救いの中世」の解説冊子にて解題とともに掲載、さらにパネル解説に使用するため	熊野観心十界図(円福寺蔵)写真 1 点
17	平成30年 6 月25日	(株)はる制作室	写真利用	『宝島 いまこそ知りたい縄文時代』の記事中に挿図として掲載するため	常設展示縄文のムラ 貝の花貝塚模型 1 点
18	平成30年 7 月11日	松戸市立博物館友の会	写真複写	松戸市立博物館友の会古文書部会テキスト作成のため	旧大熊家文書 万延元年「御留」(No.1290) 1 冊
19	平成30年 7 月21日	個人	画像利用	常盤平地社協主催の「いきいき大学」において常盤平についての講座(市民対象)で使用するため	常盤平支所写真(昭和45年)ほか76点
20	平成30年 7 月21日から 平成30年11月18日まで	柏市教育委員会	写真利用	柏市郷土資料展示室開館10周年記念企画展「かしの食卓いま・むかし」内でパネル展示のため	常盤平団地 2DK ダイニングキッチン写真 1 点
21	平成30年 8 月 7 日	個人	動画撮影	個人利用	「御鹿狩シアター」映像(五明楼玉の輔師匠のナレーション部分)
22	平成30年 8 月15日	常盤平団地地区社会福祉協議会	画像利用	機関誌「福祉ネットワーク」に掲載するため	常盤平団地を視察する佐藤栄作首相写真 ほか6 点
23	平成30年 9 月 1 日	東京国立博物館	写真利用	パリ・日本文化館で開催される特別展「縄文」(2018年10月17日～12月8日)の図録作成のため	幸田貝塚出土関山式土器集合写真 1 点
24	平成30年 9 月20日	岩宿博物館	写真撮影・掲載	岩宿博物館第66回企画展「石棺」の展示図録に掲載するため	尖頭器(子清水遺跡) ほか4 点
25	平成30年10月 2 日	聖徳大学附属小学校	映像利用	教育・研究の資料とするため	三匹獅子舞 概要編 和名ヶ谷・上本郷・大橋(字幕版) 1 点
26	平成30年10月16日	個人	画像利用	郷土研究のため	新松戸郷土資料館旧蔵写真(流鉄大谷口駅付近) 5 点
27	平成30年11月 2 日	個人	調査	卒業論文執筆のため	貝の花貝塚出土土器 1 点
28	平成30年12月 6 日から 平成31年 2 月15日まで	真宗大谷派解放運動推進部	写真利用	2018年度人権週間ギャラリー展「経典の中で語られた差別—「是旃陀羅」問題と被差別民衆の闘い—」における写真データの利用	『血盆経縁起絵 尼御寮法性尼生滅之図』写真 ほか2 点
29	平成30年12月13日	個人	調査・写真撮影	明治大学日本先史文化研究所先史文化研究の新展開Ⅱ『身を飾る縄文人～副葬品から見た』	東平賀遺跡第2地点出土鹿角製腰飾 1 点
30	平成30年12月中旬	個人	写真利用	宮下直・西廣淳『人と農地・草地のダイナミズム』朝倉書店の挿図として使用するため	寛政七年小金原御鹿狩絵図写真 1 点、尖頭器写真 1 点、刺突具写真 1 点
31	平成30年12月中旬	江戸川区立二之江第三小学校	図像利用	『二之江第三小学校記念誌』の挿図として使用するため	東京両国通運会社蒸汽往復栄真景之図 1 点
32	平成31年 1 月 1 日	松戸市総合政策部広報広聴課	画像利用	「広報まつど」(2019年 1 月 1 日号)に掲載するため	松戸駅西口からくり時計写真 ほか2 点
33	平成31年 1 月10日	個人	画像利用	郷土研究のため	北小金駅写真 ほか2 点
34	平成31年 1 月13日	(株)まつど読売新聞社	写真撮影	「松戸よみうり」第833号(平成31年 1 月13日発行)の将軍御鹿狩に関する記事に掲載するため	御鹿狩人足轆(古ヶ崎村、常設展示の複製) 1 点
35	平成31年 1 月14日	(株)アマゾンラテルナ	ビデオ撮影	NHK「美の壺 昭和レトロの食卓(仮題)」を制作するため	常盤平団地 2DK
36	平成31年 1 月22日	(株)交通新聞社	写真撮影	月刊誌『散歩の達人』2019年 3 月号 連載「ツウ旅」にて紹介するため	常盤平団地 2DK
37	平成31年 1 月31日	(株)吉川弘文館	写真利用	平川南著『新しい古代史Ⅰ 地域に生きる人びと』に掲載のため	坂花遺跡出土「國厨」銘骨蔵器(蔵骨器)写真 ほか1 点

No.	利用日	利 用 者	利用形態	目 的	利用資料・点数
38	平成31年2月8日	松戸市立北小金小学校	映像利用	教育・研究の資料とするため	三匹獅子舞 概要編 和名ヶ谷・上本郷・大橋(通常版)
39	平成31年2月9日	松戸市教育委員会図書館	画像利用	松戸市立図書館活用講座「ふるさとまなび塾」で展示するため	旧国道6号写真 ほか12点
40	平成31年2月11日	松戸市教育委員会生涯学習推進課	画像利用	松戸市文化祭の歴史をまとめた記念誌を刊行するため	昭和30年 第13回松戸文化祭写真 ほか18点
41	平成31年2月26日	松戸市立稔台小学校	映像利用	教育・研究の資料とするため	三匹獅子舞 概要編 和名ヶ谷・上本郷・大橋(通常版) 1点
42	平成31年3月7日	流山市教育委員会	調査・写真撮影	流山市埋蔵文化財調査報告書作成のため	小金1号墳出土埴輪48点
43	平成31年3月15日	(株)洋泉社	写真利用	羊泉社『歴史REAL 関東戦国150年史(仮)』に参考図版として掲載するため	北条氏康書状(西原文書) 写真1点
44	平成31年3月15日	Koganehara-info	写真撮影	小金原地区活性化のために作成する動画中において使用するため	常設展示室内の資料・パネル・模型28点
45	平成31年3月19日	国立歴史民俗博物館	写真利用	国立歴史民俗博物館 総合展示第1展示室(先史・古代)の新構築に伴う大テーマⅡ「多様な縄文列島」における映像ソフトに使用するため	幸田貝塚出土土器写真2点
46	平成31年3月29日	市川市	写真利用	市川市史第3巻編集委員会『市川市史 通史編 まつりごとの展開―通巻3―』(市川市発行)に掲載するため	小金城跡第3地点写真1点
47	平成31年3月29日	市川市	写真利用	市川市史第3巻編集委員会『市川市史 通史編 まつりごとの展開―通巻3―』(市川市発行)に掲載するため	北条氏康書状(西原文書) 写真1点
48	平成31年4月1日	(株)オフィス303	写真利用	学校図書館向け書籍『4つの時代をタイムトラベル 昭和の図鑑』(廣済堂あかつき)に掲載のため	常盤平団地2DK(居間)写真1点
49	平成31年4月1日	(株)帝国書院	写真利用	『社会科 中学生の地理・歴史・公民』準拠テスト問題例WEB版に掲載するため	子と清水遺跡出土磨石写真 ほか1点

(4) 資料の燻蒸

[展示室燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸を行った。
 期 間:平成30年7月2日(月)～7月9日(月)
 対 象:常設展示室・企画展示室
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:酸化プロピレン製剤(商品名アルプ)

[燻蒸庫による資料燻蒸]

殺虫・殺卵・殺菌を目的とする燻蒸を行った。
 期 間:平成30年12月5日(水)～12月7日(金)
 対 象:仏像(漆喰製)・レリーフ(石製)・唐箕など
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:酸化プロピレン製剤(商品名アルプ)

[太鼓展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を行った。
 期 間:平成31年1月23日(水)～2月10日(日)

対 象:太鼓(「太鼓館」よりの借用資料)
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:二酸化炭素(炭酸ガス)

[学習資料展資料燻蒸]

殺虫・殺卵を目的とする燻蒸を行った。
 期 間:平成30年4月2日(月)～4月17日(火)
 対 象:民俗資料等
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:二酸化炭素(炭酸ガス)

[野外展示・復元竪穴住居]

殺虫を目的とする防除作業を行った。
 期 間:平成30年7月2日(月)～7月9日(月)
 対 象:復元竪穴住居3棟
 委 託 先:関東港業(株)
 使用薬剤:フェノトリン炭酸製剤(商品名ミラクンS)

7 平成30年度 常設展・企画展アンケート結果

■ 調査方法と設問内容

調査は、アンケート用紙をそれぞれ、エントランスホール(常設展アンケート)と企画展示室前ロビー(企画展アンケート)に置き、記入を利用者の任意に任せた調査票自己記入式で行った。

各アンケートに共通する設問は、回答者の性別、年齢、住所、来館回数、博物館に関する情報をどうやって入手したか、交通手段、職業、行動グループ、展示についての印象・感想である。

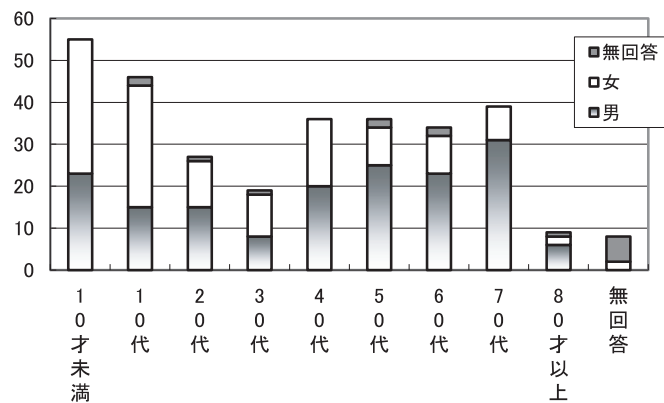
以下に、回答者の傾向を端的に示した“性別”と“年齢”のクロス集計、及び“来館回数”“満足度”という計3項目の結果をとりあげる。

(1) 平成30年度常設展

- 観覧者数 20,777人
- アンケート有効回答者数 309件(回答率 1.5%)
- 調査期間 平成30年4月1日(日)～平成31年3月31日(日)

■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	23	32	0	55
10代	15	29	2	46
20代	15	11	1	27
30代	8	10	1	19
40代	20	16	0	36
50代	25	9	2	36
60代	23	9	2	34
70代	31	8	0	39
80才以上	6	2	1	9
無回答	0	2	6	8
計	166	128	15	309



■ 来館回数(件)

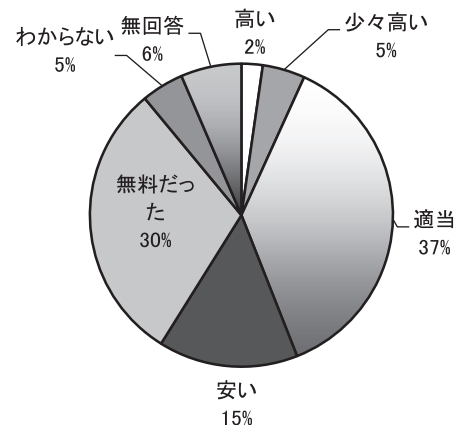
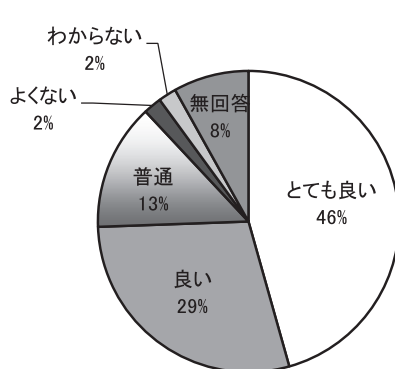
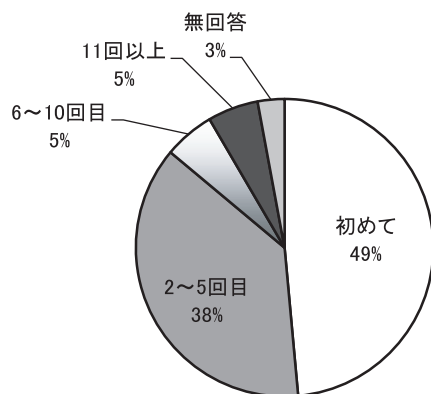
初めて	150
2～5回目	116
6～10回目	17
11回以上	17
無回答	9
計	309

■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	141
良い	89
普通	42
よくない	6
わからない	6
無回答	25
計	309

■ 観覧料について(件)

高い	7
少々高い	14
適当	115
安い	46
無料だった	93
わからない	14
無回答	20
計	309

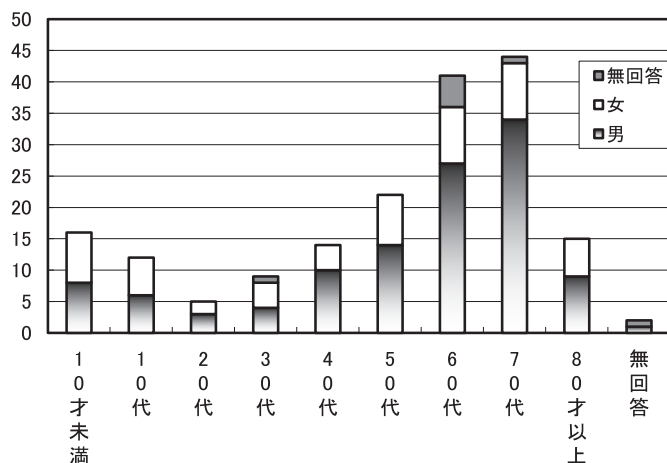


(2) 市制施行75周年・開館25周年記念 館蔵資料展「まつどの江戸時代－古文書・絵画・模型からさぐる－」

- 観覧者数 4,606人
- アンケート有効回答者数 180件(回答率 3.9%)
- 調査期間 平成30年4月24日(火)～平成30年6月24日(日)

■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	8	8	0	16
10代	6	6	0	12
20代	3	2	0	5
30代	4	4	1	9
40代	10	4	0	14
50代	14	8	0	22
60代	27	9	5	41
70代	34	9	1	44
80才以上	9	6	0	15
無回答	1	0	1	2
計	116	56	8	180

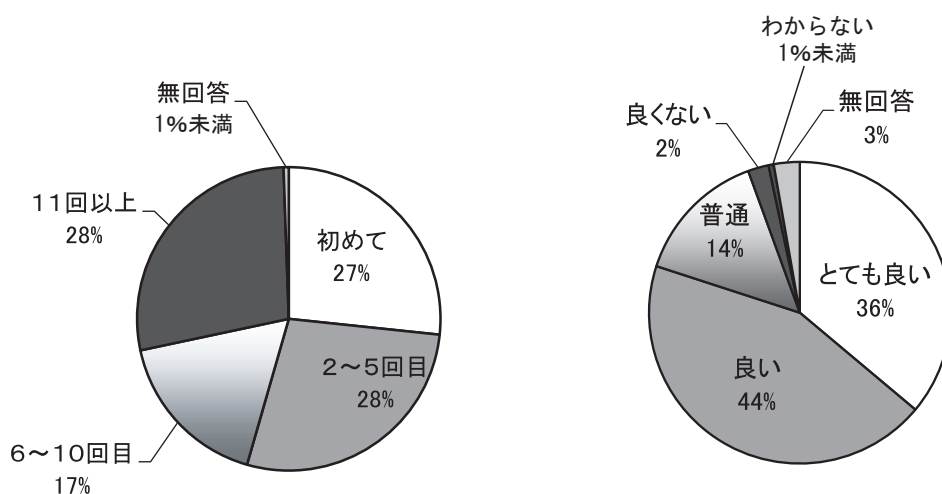


■ 来館回数(件)

初めて	48
2～5回目	50
6～10回目	31
11回以上	50
無回答	1
計	180

■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	65
良い	79
普通	26
良くない	4
わからない	1
無回答	5
計	180

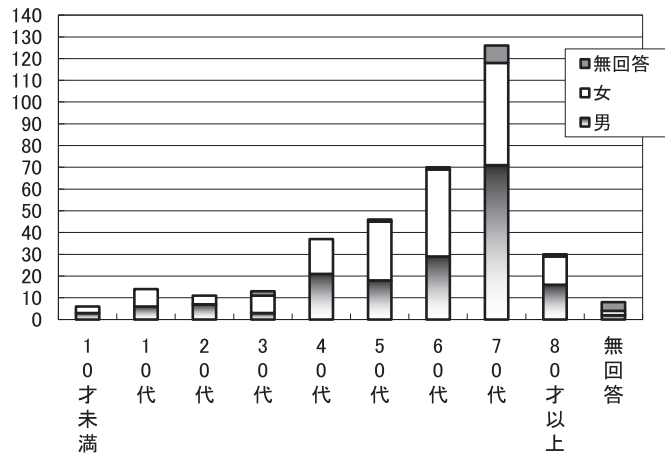


(3) 市制施行75周年・開館25周年記念 特別展「ガンダーラー 仏教文化の姿と形」

- 観覧者数 8,959 人
- アンケート有効回答者数 361件(回答率 4.0%)
- 調査期間 平成30年 9月22日(土)～平成30年11月25日(日)

■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	3	3	0	6
10代	6	8	0	14
20代	7	4	0	11
30代	3	8	2	13
40代	21	16	0	37
50代	18	27	1	46
60代	29	40	1	70
70代	71	47	8	126
80才以上	16	13	1	30
無回答	2	2	4	8
計	176	168	17	361



■ 来館回数(件)

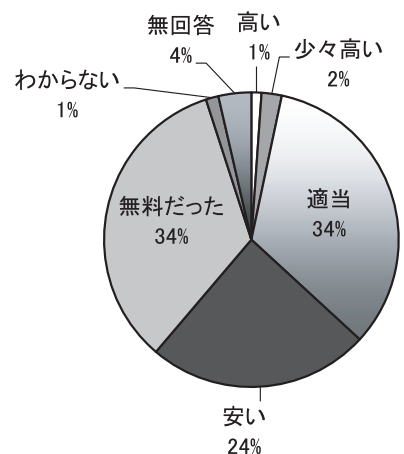
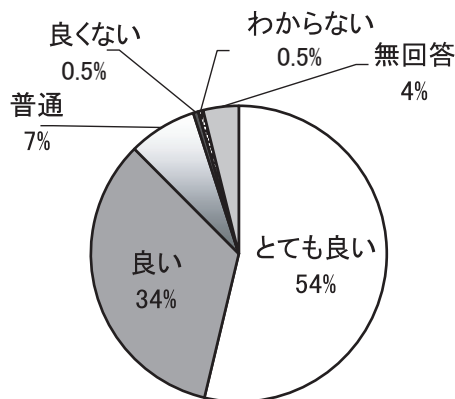
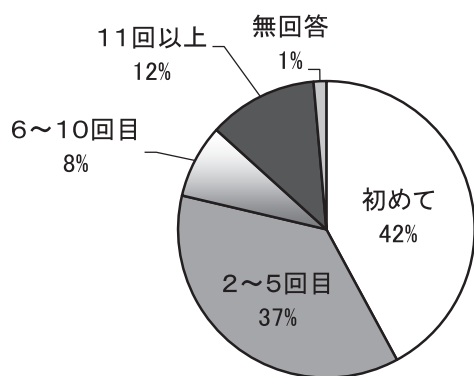
初めて	152
2～5回目	132
6～10回目	29
11回以上	43
無回答	5
計	361

■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	194
良い	122
普通	27
良くない	2
わからない	2
無回答	14
総計	361

■ 観覧料について(件)

高い	4
少々高い	8
適当	121
安い	88
無料だった	122
わからない	5
無回答	13
計	361

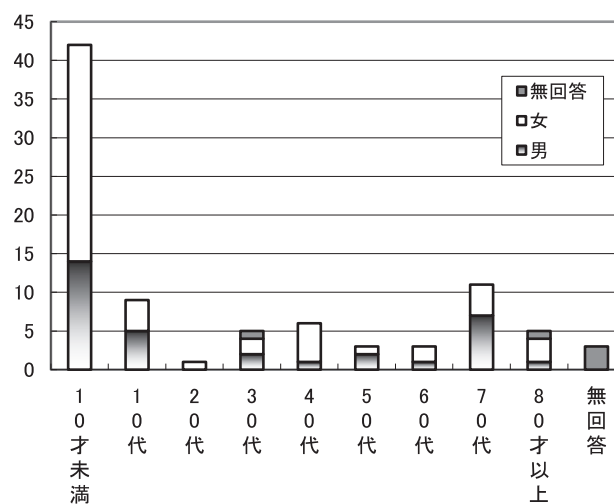


(4) 市制施行75周年・開館25周年記念 学習資料展「昔の暮らし探検」

- 観覧者数 7,305 人
- アンケート有効回答者数 88件(回答率 1.2%)
- 調査期間 平成31年 1 月12日(土)～平成31年 2 月24日(日)

■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	14	28	0	42
10代	5	4	0	9
20代	0	1	0	1
30代	2	2	1	5
40代	1	5	0	6
50代	2	1	0	3
60代	1	2	0	3
70代	7	4	0	11
80才以上	1	3	1	5
無回答	0	0	3	3
計	33	50	5	88

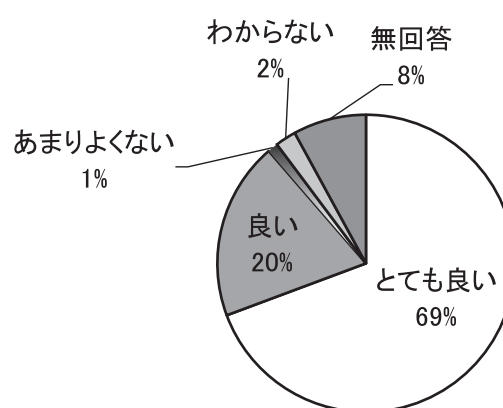
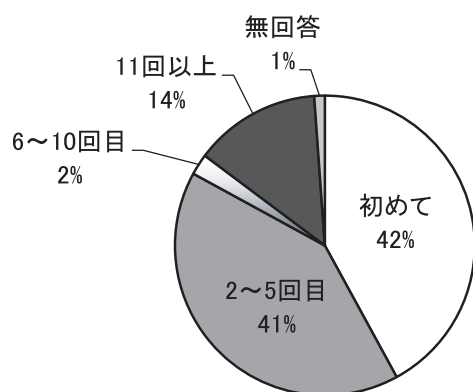


■ 来館回数(件)

初めて	37
2～5回目	36
6～10回目	2
11回以上	12
無回答	1
計	88

■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	61
良い	17
あまりよくない	1
よくない	0
わからない	2
無回答	7
計	88

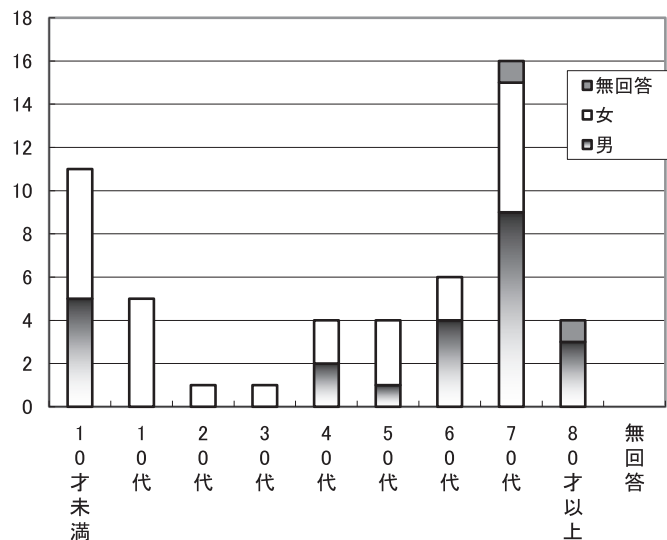


(5) 市制施行75周年・開館25周年記念 企画展「日本の太鼓・世界の太鼓」

- 観覧者数 1,371人
- アンケート有効回答者数 52件(回答率 3.8%)
- 調査期間 平成31年 3 月 9 日(土)～平成31年 3 月24日(日)

■ アンケート回答者の傾向・・・年齢×性別のクロス集計

	男	女	無回答	計
10才未満	5	6	0	11
10代	0	5	0	5
20代	0	1	0	1
30代	0	1	0	1
40代	2	2	0	4
50代	1	3	0	4
60代	4	2	0	6
70代	9	6	1	16
80才以上	3	0	1	4
無回答	0	0	0	0
計	24	26	2	52

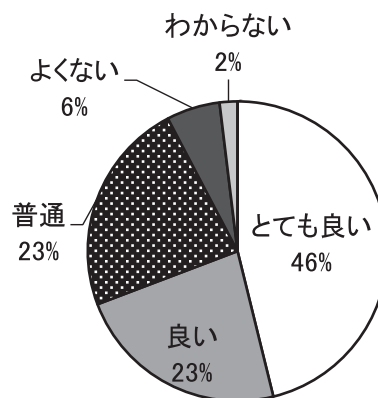
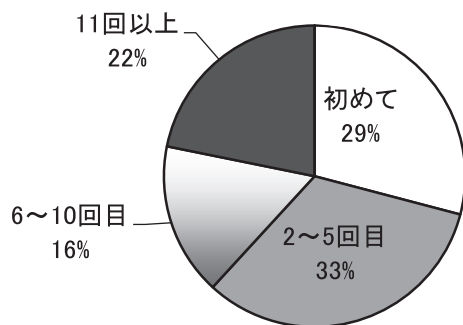


■ 来館回数(件)

初めて	16
2～5回目	18
6～10回目	9
11回以上	12
無回答	0
計	52

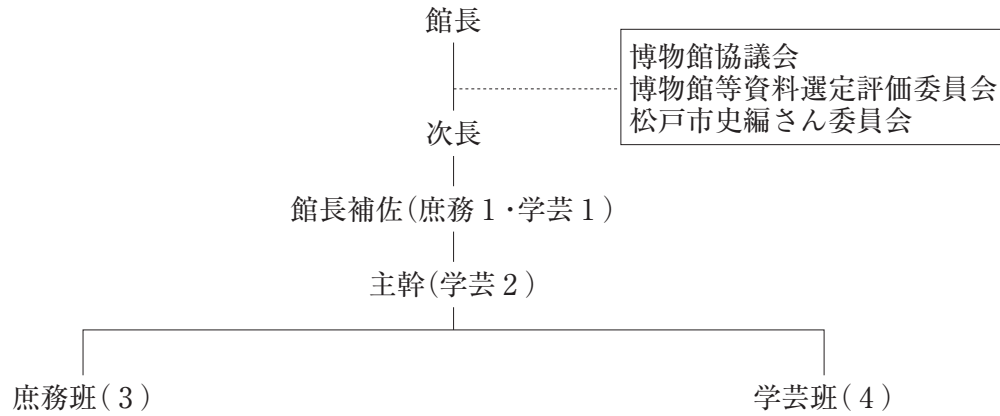
■ 回答者の満足度(件)

展示について	
とても良い	24
良い	12
普通	12
よくない	3
わからない	1
無回答	0
計	52



IV 組織と運営

1 組織



2 歳出予算

(単位 千円)

事業 科目	予算額	内 訳				
		管 理 運 営	展 示 事 業	学 習 支 援	資 料 収 集	市 史 編さん
報酬	304	204	0	0	100	0
賃金	19,557	0	3,090	10,936	5,531	0
報償	803	0	173	400	230	0
旅費	520	0	420	0	100	0
需用	28,332	21,767	4,300	488	1,777	0
役務	2,816	647	1,947	63	159	0
委託	95,324	68,762	19,012	716	6,834	0
使用	11,057	8,886	1,404	767	0	0
工事	6,815	6,815	0	0	0	0
原材	35	35	0	0	0	0
備品	1,459	85	324	100	950	0
負担	119	0	0	0	119	0
計	167,141	107,201	30,670	13,470	15,800	0

3 事務事業

事務事業名	事務事業の主な内容
博物館管理運営事業	施設の維持管理を目的としており、館利用者が安全で快適な環境で学習できるよう施設を整備する。また、博物館協議会において、適正な事業方針を審議する。
博物館展示事業	総合展示・主題展示・野外展示・映像展示で構成し、市民に郷土の歴史と文化への理解を深めてもらう。また、年4回程度、企画展・資料展・学習資料展を実施する。
博物館学習支援事業	歴史講座・体験教室・講演会等の開催、デジタル情報の提供、学校教育との連携などを図り、松戸の歴史文化等にかかわる最新情報を様々な媒体を通して提供する。
博物館歴史資産収集調査事業	松戸を中心とする歴史・文化・自然史等に関する資料の収集・保存及び調査研究を行い、市民の共有の資産として後世に伝える。
市史編さん事業	市民に郷土の歴史を知ってもらい、郷土に対する誇りを育てるため、松戸市史の編さんを行う。 平成10年度に市長から諮問のあった『松戸市史 上巻』の改訂については、平成26年度に『松戸市史 上巻(改訂版)』の刊行を行ったので、現在は、市長からの諮問案件はない。

4 各種委員会等

(1) 博物館協議会

委員名簿

(平成30年3月31日現在)

区 分	氏 名	役 職 等
1号委員 学校教育関係者	水嶋 淳一	松戸市立寒風台小学校校長
	佐藤 祐介	松戸市立六実小学校教諭
2号委員 社会教育関係者	山口恵理子	北部幼稚園副園長
	岡田 啓峙	松戸市立博物館友の会会長
	谷鹿 栄一	千葉県立関宿城博物館館長
3号委員 家庭教育の向上に 資する活動を行う者	百田 清美	NPO法人ねばあんど理事長
4号委員 学識経験者	安蒜 政雄	明治大学名誉教授(考古学)
	濱島 正士	国立歴史民俗博物館名誉教授(建築史学)
	佐藤 孝之	東京大学教授(近世史)
	小島 孝夫	成城大学教授(民俗学)

任期2年 令和元年9月30日まで

第1回協議会

平成30年6月2日(土)

会場：博物館会議室

議題：(1)平成30年度博物館事業概要の説明

(2)「(仮称)こども歴史博物館」の展示
構想について

(3)館蔵資料展「まつどの江戸時代－古文
書・絵画・模型からさぐる－」内覧と
評価

(4)その他

第2回協議会

平成31年3月2日(土)

会場：博物館会議室

議題：(1)「(仮称)こども歴史博物館」の展示
構想について(答申)

(2)その他

(2) 博物館等資料選定評価委員会

委員名簿

(平成30年3月31日現在)

氏 名	専 門	役 職 等
安蒜 政雄	考 古	明治大学名誉教授
金子 隆一	写 真	武蔵野美術大学非常勤講師
久保田昌希	歴 史	駒澤大学教授
佐野 賢治	民 俗	神奈川大学教授
松尾美恵子	歴 史	学習院女子大学名誉教授

任期2年 令和元年3月31日まで

委員会

平成30年度の開催はなし

(3) 松戸市史編さん委員会

※「3 事務事業」にて記載の通り、平成10年度に市長から諮問のあった事業については、平成26年度で終了したので、現在は市長からの諮問案件はない。

5 博物館利用者数の統計

利用者総計 81,412人

常設展示月別観覧者数、並びに平成30年度企画・特別展示等観覧者数は以下の通りである。

常設展示観覧者数（平成30年4月1日～平成31年3月31日現在）

月	開館日数(日)	有 料 観 覧 者 数 (人)							無 料 観 覧 者 数 (人)								観覧者 総数(人)
		個 人		団 体		共 通		有 料 観覧者 計	学 習 活 動	身 体 障 害 者	70 歳 以 上	中学生 以 下	視察等 友の会	無 料 開放日	無 料 観覧者 計		
		一 般	高校生 大学生	一 般	高校生 大学生	一 般	高校生 大学生										
4	26	458	17	0	0	—	—	475	130	60	42	219	62	2	854	1,369	1,844
5	26	572	29	27	0	—	—	628	224	52	55	213	26	13	365	948	1,576
6	26	470	6	44	0	—	—	520	204	40	55	148	29	12	157	645	1,165
7	20	323	34	0	0	—	—	357	83	78	50	208	48	5	—	472	829
8	27	353	45	0	0	238	21	657	35	133	95	349	50	3	—	665	1,322
9	26	289	30	23	0	167	8	517	1	163	67	166	36	3	—	436	953
10	26	158	8	0	0	627	15	808	105	135	273	117	170	12	—	812	1,620
11	26	196	7	123	0	584	12	922	291	108	224	127	427	5	1,042	2,224	3,146
12	23	280	20	1	19	—	—	320	51	28	26	105	25	1	—	236	556
1	22	340	32	0	0	—	—	372	2,059	38	41	142	138	2	—	2,420	2,792
2	23	496	17	0	0	—	—	513	2,538	41	45	319	19	17	—	2,979	3,492
3	27	434	18	0	0	—	—	452	124	99	65	248	17	8	469	1,030	1,482
計	298	4,369	263	218	19	1,616	56	6,541	5,845	975	1,038	2,361	1,047	83	2,887	14,236	20,777

企画・特別展示等観覧者数

企画・特別展	開催期間	開館日数(日)	有 料 観 覧 者 数 (人)							無 料 観 覧 者 数 (人)							観覧者総 数 (人)
			個 人		団 体		共 通		有 料 観覧者計	学 習 活 動	身 体 障害者	70歳 以上	中学生 以下	視 察 等	無 料 開放日	無 料 観覧者計	
			一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生	一般	高校生 大学生									
館蔵資料展 「まつどの江戸時代－古文書・絵画・模型からさぐる－」	H30.4.24～ H30.6.24	54	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	4,606	4,606
美術展 「松戸ゆかりの美術展」	H30.8.4～ H30.9.2	26	119	6	0	0	260	24	409	4	91	157	155	250	0	657	1,066
特別展 「ガンダーラ－仏教文化の姿と形－」	H30.9.22～ H30.11.25	56	2,146	25	0	0	1,356	32	3,559	637	432	1,345	280	993	1,713	5,400	8,959
学習資料展 「昔のくらし探検」	H31.1.12～ H31.2.24	36	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	7,305	7,305
企画展 「日本の太鼓・世界の太鼓」	H31.3.9～ H31.3.24	14	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	1,371	1,371
小計		184	2,265	31	0	0	1,616	56	3,968	641	523	1,502	435	1,243	1,713	19,339	23,307
第 3 回博物館アワード作品展	H30.12.4～ H30.12.16	12	－	－	－	－	－	－	0	－	－	－	－	－	－	346	346
計		196	2,265	31	0	0	1,616	56	3,968	641	523	1,502	435	1,243	1,713	19,685	23,653

※特別展以外については、無料展示につき観覧者の内訳は把握していない。

※括弧内の開館日数及び観覧者数については、同時開催の館蔵資料展又は学習資料展と重複するため合計に含めていない。

博物館無料ゾーン利用者

(下段総数単位：人)

博 物 館 施 設 名	プレイルーム	映像展示	野 外 展 示	講座・講演会等参加者	合 計
日 数	298日	298日	298日	—	—
利 用 者 総 数	12,173	3,524	14,731	6,554	36,982

博物館利用者総計（平成30年4月1日～平成31年3月31日）

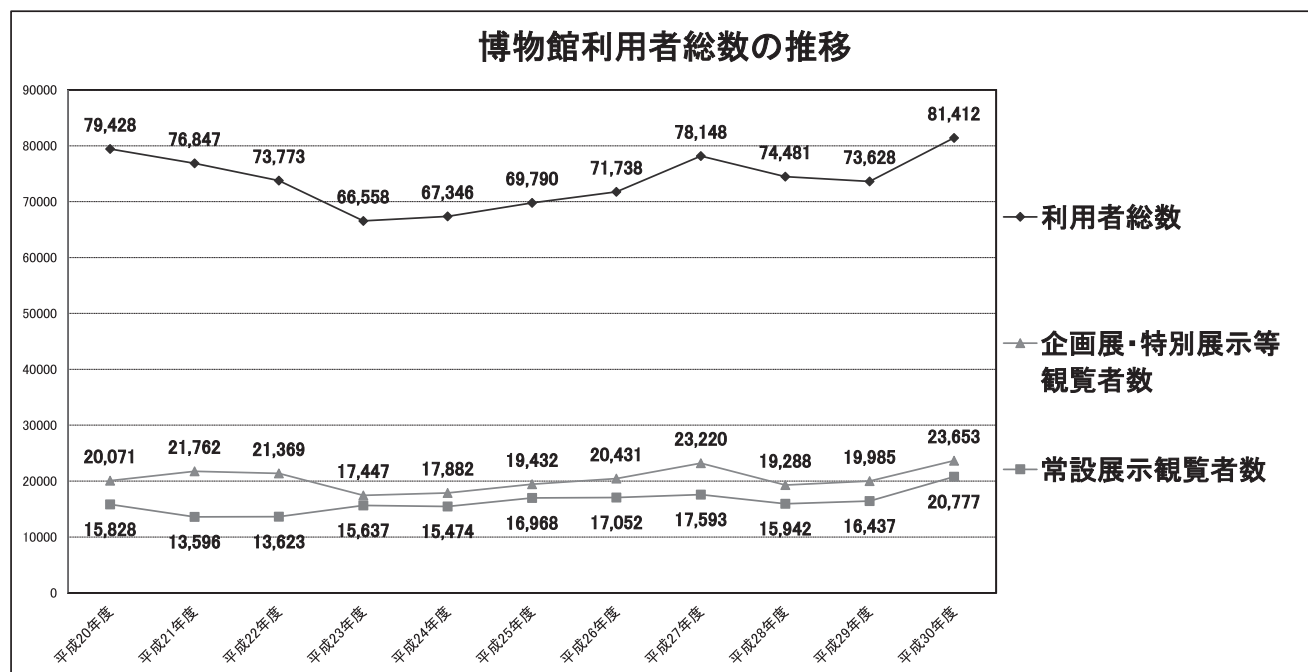
(単位：人)

	平成29年度	平成30年度	前年度比較
常 設 展 示 観 覧 者 数	16,437	20,777	4,340
企画・特別展示等観覧者数	19,985	23,653	3,668
博 物 館 無 料 ゾ ン 利 用 者	37,206	36,982	△ 224
利 用 者 総 計	73,628	81,412	7,784

博物館利用者総数の推移（博物館施設利用者の推移は、下の表のとおりである。）

(単位：人)

	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
利 用 者 総 数	79,428	76,847	73,773	66,558	67,346	69,790	71,738	78,148	74,481	73,628	81,412
常 設 展 示 観 覧 者 数	15,828	13,596	13,623	15,637	15,474	16,968	17,052	17,593	15,942	16,437	20,777
企画・特別展示等観覧者数	20,071	21,762	21,369	17,447	17,882	19,432	20,431	23,220	19,288	19,985	23,653
(うち) 企画展観覧者数	4,001	4,330	1,993	5,766	2,885	2,576	2,641	3,809	2,917	4,153	8,959
その他展示観覧者数	16,070	17,432	19,376	11,681	14,997	16,856	17,790	19,411	16,371	15,832	14,694
講座・講演会等参加者数	2,395	2,159	3,384	2,802	3,368	3,259	3,291	3,052	5,999	6,910	6,554



6 来訪者(敬称略)

平成30年

4月4日	TBSテレビ 取材
4月25日	J:COM 取材
4月26日	読売新聞社 取材
4月30日	ちばテレビ 取材
5月4日	聖徳大学 見学(学芸員資格課程)
5月5日	朝日新聞 取材
6月12日	川村学園女子大学 見学(学芸員資格課程)
7月1日	江戸川大学 見学(現代社会学科)
7月25日	文化財史跡めぐり 見学(社会教育課主催)
8月21日	ドミニカ共和国オリンピック委員会及びさ3競技連盟 視察
8月23日	平成31年度東葛飾地区民生委員児童委員会長会 (松戸市民生委員児童委員協議会主催) 見学
9月26日	MIHO MUSEUM友の会 見学
9月26日	NHK 取材
11月7・8日	文化財史跡めぐり 見学(社会教育課主催)
11月14日	千葉県教育研究会松戸支会社会科教育部会 見学
11月15日	千葉県生涯大学校 見学
11月16日	ひたちなか市文化財愛護協会 視察研修
11月21日	長生郡市社会教育連絡協議会 視察研修
11月22日	山梨県立考古博物館協力会 見学
11月28日	長柄町教育委員会「生涯学習講座文化財探訪」視察研修

平成31年

1月5日	千葉大学 見学(学芸員資格課程)
2月8日	船橋市博物館協議会 視察
3月8日	朝日新聞社・毎日新聞社・産経新聞社・千葉日報社・千葉テレビ 取材
3月9日	読売新聞社 取材
3月12日	東京新聞社 取材

V 条 例 ・ 規 則

松戸市立博物館条例

(平成4年9月24日松戸市条例第28号)

(趣旨)

第1条 この条例は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の設置及び管理に関し必要な事項を定めるものとする。

(位置)

第2条 本市は、市民の教育、学術及び文化の発展に寄与するため、博物館を次のとおり設置する。

名 称	位 置
松戸市立博物館	松戸市千駄堀671番地

(管理)

第3条 博物館は、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)が管理する。

(職員)

第4条 博物館に館長、学芸員その他必要な職員を置く。

(事業)

第5条 博物館は、次の各号に掲げる事業を行う。

- (1) 歴史、考古、民俗、自然史等に関する実物、標本、模写、模型、文献、図表、フィルム等の資料(以下「博物館資料」という。)を収集し、保管し、及び展示すること。
- (2) 博物館資料に関する調査研究を行うこと。
- (3) 博物館資料に関する案内書、解説書、目録、図録、年報、調査研究の報告書等を作成し、及び頒布すること。
- (4) 博物館資料に関する講演会、講習会、研究会等を開催すること。
- (5) 博物館資料の利用に関し必要な説明、助言及び指導を行うこと。
- (6) 他の博物館、美術館、文書館、図書館、学校その他学術又は文化に関する施設との相互協力に関すること。
- (7) その他教育委員会が必要と認める事業

(観覧料)

第6条 博物館に展示されている博物館資料を観覧しようとする者は、別表に定める観覧料を納入しなければならない。

- 2 教育委員会は、特に必要と認める場合においては、前項の観覧料を免除することができる。
- 3 既納の観覧料は、返還しない。ただし、教育委員会が特別の理由があると認めるときは、返還

することができる。

(入館の制限及び退館)

第7条 教育委員会は、次の各号の一に該当すると認めるときは、入館を禁止し、又は退館させることができる。

- (1) 公の秩序又は善良な風俗を乱すおそれのあるとき。
- (2) 博物館の施設、展示品等を損壊するおそれのあるとき。
- (3) その他博物館の管理上支障があるとき。

(博物館協議会)

第8条 博物館法(昭和26年法律第285号)第20条第1項の規定により、博物館に松戸市立博物館協議会(以下「協議会」という。)を置く。

2 協議会は、委員10名以内で組織し、次に掲げる者のうちから、教育委員会が任命する。

- (1) 学校教育関係者
- (2) 社会教育関係者
- (3) 家庭教育の向上に資する活動を行う者
- (4) 学識経験者

3 委員の任期は、2年とし、再任を妨げない。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

4 前2項に規定するもののほか、協議会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、博物館の管理に関し必要な事項は、教育委員会が規則で定める。

附 則

この条例は、公布の日から起算して8か月を越えない範囲内において教育委員会が規則で定める日から施行する。

(平成5年3月松戸市教育委員会規則第2号で、同5年4月29日から施行)

附 則(平成10年3月27日松戸市条例第11号)

この条例は平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年6月21日松戸市条例第23号)

この条例は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市条例第11号)

この条例は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月29日松戸市条例第7号)

この条例は、平成24年4月1日から施行する。

別表(第6条関係)

区 分		観覧料(1人1回につき)	
		個 人	団体(20人以上)
常設展示	一般	300円	240円
	高校生・大学生	150円	100円
	中学生以下	無料	無料
企画・特別展示	次の各号に掲げる額を超えない範囲内において、その都度展示内容に応じ、教育委員会が定める。ただし、中学生以下の者に係る観覧料にあっては、無料とする。		
	(1) 一般	1,200円	
	(2) 高校生・大学生	600円	

備考

- 1 企画・特別展示とは、博物館において通常の展示品以外を展示する場合をいう。
- 2 共通観覧料とは、常設展示及び企画・特別展示を観覧することができる観覧料をいう。

松戸市立博物館管理運営規則

(平成5年3月26日松戸市教育委員会規則第3号)

(趣旨)

第1条 この規則は、松戸市立博物館条例(平成4年松戸市条例第28号。以下「条例」という。)第9条の規定により、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の管理運営に関し必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 博物館の開館時間は、午前9時30分から午後5時までとする。ただし、博物館への入館時間は、午後4時30分までとする。

2 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、必要と認めるときは、前項に規定する開館時間及び入館時間を変更することができる。

(休館日)

第3条 博物館の休館日は、次のとおりとする。ただし、教育委員会が必要と認めるときは、臨時に休館し、又は休館日を変更することができる。

- (1) 月曜日
- (2) 1月1日から4日まで及び12月28日から31日まで
- (3) 館内整理日(毎月第4金曜日とする。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に規定する休日(以下「祝

日法による休日」という。)である場合は、この限りでない。)

2 前項第1項の規定にかかわらず、同号に規定する日が祝日法による休日に当たるときは、その日後において、その日に最も近い祝日法による休日でない日を休館日とする。

(観覧券の交付)

第4条 条例第6条第1項の規定により、所定の観覧料を徴収したときは、観覧券(第1号様式)を交付するものとする。

(観覧料の免除等)

第5条 条例第6条第2項の規定により、観覧料を免除することができる場合は、次に掲げるとおりとする。

- (1) 高校生、大学生及び大学生以下の者を引率する者が教育課程に基づく学習活動として観覧するとき。
- (2) 博物館が開催する講演会、講習会、研究会等に参加する者が観覧するとき。
- (3) 身体障害者手帳、療育手帳又は精神障害者保健福祉手帳の交付を受けている者及びその介護人(手帳の交付を受けている者1人につき1人に限る。)が観覧するとき。
- (4) 市内に居住する70才以上の者が観覧するとき。
- (5) 県民の日を定める条例(昭和59年千葉県条例第3号)第2条に定める日に観覧するとき。
- (6) その他教育委員会が必要と認めたとき。

2 観覧料の免除を受けようとする者で前項第1号に該当するものは、あらかじめ博物館観覧料免除申請書(第2号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(観覧料の返還)

第6条 条例第6条第3項ただし書の規定により、観覧料の返還を受けようとする者は、博物館観覧料返還申請書(第3号様式)を教育委員会に提出し、承認を受けなければならない。

(資料の貸出し)

第7条 教育委員会は、次の各号に掲げる者に対し、博物館業務に支障がないと認めるときは、博物館で所蔵する資料を貸し出すことができる。

- (1) 国立博物館、博物館法(昭和26年法律第285号)第2条第1項の規定による博物館及び同法第29条の規定による博物館に相当する施設の設置者
- (2) 前号に掲げる者のほか、教育委員会において特に認める者

2 博物館資料の貸出しを受けようとする者は、博物館資料貸出申請書(第4号様式)を教育委員会に提出し、博物館資料貸出許可書(第5号様式)の交付を受けなければならない。

3 博物館資料の貸出期間は、60日以内とする。ただし、教育委員会が必要があると認めるときは、これを延長することができる。

(文献等の閲覧等)

第8条 教育委員会は、必要があると認めるときは、博物館で所蔵する資料のうち文書及び図書(以下「文献等」という。)の閲覧又は複写(文書については、マイクロフィルムに保存されているものに限る。)をさせることができる。

2 文献等を閲覧しようとする者は、博物館文献等閲覧許可申請書(第6号様式)を教育委員会に提出し、博物館文献等閲覧許可証(第7号様式)の交付を受けなければならない。

3 博物館文献等閲覧許可証の有効期間は、交付の日から1年とする。

4 文献等の複写を希望する者は、博物館文献等複写申請書(第8号様式)により教育委員会の許可を受けなければならない。

(閲覧又は複写の制限)

第9条 教育委員会は、次の各号に掲げる文献等の閲覧又は複写を許可しないものとする。

- (1) 未公開および未整理のもの
- (2) 保存に影響を及ぼすおそれがあると認められるもの
- (3) 寄託された文献等で寄託者の同意を得ていないもの
- (4) その他教育委員会が不適当と認めたもの

(入館者の遵守事項)

第10条 博物館の入館者は、次に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 施設、設備、展示資料等を汚損し、又は損傷しないこと。
- (2) 許可なく展示資料の写真撮影、模写等の行為を行わないこと。
- (3) 所定の場所以外において喫煙し、飲食し、又は火気を使用しないこと。
- (4) 無断で広告その他これに類するものを掲示又は配布しないこと。
- (5) 他人に危害を加え、又は迷惑となる行為をしないこと。
- (6) 前各号に定めるもののほか、教育委員会の指示に従うこと。

(所掌事務)

第11条 博物館の所掌事務は、別表のとおりとする。
(職務)

第12条 館長は、博物館の事務を掌理し、職員を指揮監督する。

2 次長は、館長を補佐し、所属の事務を統轄する。

3 館長補佐は、館長及び次長を補佐する。

4 その他の職にある者は、上司の命を受け、担当事務を処理する。

(博物館協議会の会長等)

第13条 条例第8条第1項に規定する博物館協議会(以下「協議会」という。)に会長及び副会長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 会長は、協議会を代表し、会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(博物館協議会の会議等)

第14条 協議会の会議は、会長が招集し、議長となる。

2 協議会は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができない。

3 会議の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

4 協議会は、特に必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

5 協議会の会議は、公開を原則とする。ただし、協議会において会議を公開しないと認めたときは、この限りでない。

6 協議会の庶務は、博物館において処理する。

7 前各項に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って定める。

(委任)

第15条 この規則に定めるもののほか必要な事項は、教育長が定める。

附 則

この規則は、平成5年4月29日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第10号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年3月2日松戸市教育委員会規則第5号)

この規則中、第5条第1項の改正規定は平成7年4月1日から、第11条に1号を加える改正規定は公布の日から施行する。

附 則(平成8年3月14日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成10年3月26日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年7月11日松戸市教育委員会規則第12号)

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成14年3月4日松戸市教育委員会規則第1号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日松戸市教育委員会規則第8号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月15日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則

この規則は、平成5年4月29日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成6年3月31日松戸市教育委員会規則第10号)

この規則は、平成6年4月1日から施行する。

附 則(平成7年3月2日松戸市教育委員会規則第5号)

この規則中、第5条第1項の改正規定は平成7年4月1日から、第11条に1号を加える改正規定は公布の日から施行する。

附 則(平成8年3月14日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成8年4月1日から施行する。

附 則(平成10年3月26日松戸市教育委員会規則第9号)

この規則は、平成10年4月1日から施行する。

附 則(平成13年7月11日松戸市教育委員会規則第12号)

この規則は、平成13年10月1日から施行する。

附 則(平成14年3月4日松戸市教育委員会規則第1号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成20年3月31日松戸市教育委員会規則第8号)

この規則は、平成20年4月1日から施行する。

附 則(平成23年3月30日松戸市教育委員会規則第3号)

この規則は、平成23年4月1日から施行する。

附 則(平成24年3月30日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成24年4月1日から施行する。

附 則(平成25年3月15日松戸市教育委員会規則第4号)

この規則は、平成25年4月1日から施行する。

附 則(平成30年3月13日松戸市教育委員会規則第2号)

この規則は、平成30年4月1日から施行する。

別表(第11条関係)

- ・ 文書の収受、保存及び公印の管理に関する事。
- ・ 観覧料の徴収に関する事。
- ・ 予算、経理及び物品の管理に関する事。
- ・ 要覧及び年報の作成に関する事。
- ・ 財産の管理に関する事。
- ・ 施設及び設備の維持管理に関する事。
- ・ 博物館協議会に関する事。
- ・ 資料選定評価委員会に関する事。
- ・ 市史編さんに関する事。
- ・ 市史編さん委員会に関する事。
- ・ 関係団体との連絡調整に関する事。
- ・ 資料の収集、保存及び展示に関する事。
- ・ 資料の調査及び研究に関する事。
- ・ 資料に関する講座、講演会、研究会等の開催に関する事。
- ・ 資料に関する目録、解説書、図録、調査研究、報告書等の作成に関する事。
- ・ 資料に関する相談、情報提供に関する事。
- ・ 博物館資料に関する閲覧、貸出等についての許可に関する事。
- ・ 博物館資料の寄贈、寄託に関する事。
- ・ 他の博物館、図書館、学校等との連絡及び協力に関する事。
- ・ その他博物館の専門的事項に関する事。

第1号様式～第8号様式 省略

松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例

(平成26年12月25日松戸市条例第28号)

(設置)

第1条 地方自治法(昭和22年法律第67号)第138条の4第3項の規定に基づき、松戸市立博物館等資料選定評価委員会(以下「委員会」という。)を置く。

(所掌事務)

第2条 委員会は、松戸市立博物館及び松戸市戸定歴史館における歴史に関する資料(以下「歴史資料」という。)の収集を適正かつ円滑に行うため、松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)の諮問に応じ、次に掲げる事項について調査審議する。

- (1) 歴史資料の真がんに関する事項
- (2) 歴史資料の価格の適否に関する事項
- (3) 歴史資料の寄贈及び寄託の受入れ又は購入の適否に関する事項
- (4) 前3号に掲げるもののほか、教育委員会が必要と認める事項

(組織)

第3条 委員会は、委員5人以内をもって組織する。

(委員)

第4条 委員は、学識経験を有する者その他教育委員会が必要と認める者のうちから教育委員会が委嘱する。

2 委員は、職務上知り得た秘密を漏らしてはならない。その職を退いた後も、また、同様とする。

(任期)

第5条 委員の任期は、2年とする。ただし、委員が欠けた場合における補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

2 委員は、再任されることができる。

(委員長及び副委員長)

第6条 委員会に委員長及び副委員長各1人を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、会務を総理し、委員会を代表する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるとき又は委員長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第7条 委員会の会議は、委員長が招集し、委員長がその議長となる。

2 委員会は、委員の過半数の出席がなければ会議を開くことができない。

3 委員会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

(意見の聴取等)

第8条 委員会は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の専門的知識を有する者の出席を求め、意見若しくは説明を聴き、又は資料の提出を求めることができる。

(委任)

第9条 この条例に定めるもののほか、委員会の組織及び運営に関し必要な事項は、教育委員会が別に定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、平成27年4月1日から施行する。(特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例の一部改正)

2 特別職の職員の給与及び費用弁償の支給に関する条例(昭和31年松戸市条例第15号)の一部を次のように改正する。

別表2に次のように加える。

松戸市立博物館等資料選定評価委員会委員	日額 20,000円
---------------------	------------

※「松戸市立博物館等資料選定評価委員会設置要綱」については、「松戸市立博物館等資料選定評価委員会条例」(平成26年12月25日松戸市条例第28号)として条例化されたことに伴い、平成27年3月31日付で廃止となった。

松戸市史編さん委員会条例

(昭和55年3月26日松戸市条例第3号)

(設置)

第1条 郷土をより深く理解することによつて市民の愛郷心を振起させ、あわせて市勢発展の基礎資料となる松戸市史を編さんするために、松戸市史編さん委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(所掌事務)

第2条 委員会は、市長の諮問に応じ、松戸市史の編さんについて調査審議する。

(組織)

第3条 委員会は、5人の編さん委員で組織し、次に掲げる者のうちから市長が委嘱又は任命する。

(1) 学識経験者

(2) 市の職員

(任期)

第4条 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠委員の任期は、前任者の残任期間とする。

(委員長及び副委員長)

第5条 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選によりこれを定める。

2 委員長は、委員会を代表し、会務を総理する。

3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、これを代理する。

(招集及び会議)

第6条 会議は、委員長が招集する。

(委任)

第7条 この条例に定めるもののほか、委員会に関し必要な事項は、規則で定める。

附 則

(施行期日)

1 この条例は、昭和55年4月1日から施行する。(松戸市誌編さん委員会条例の廃止)

2 松戸市誌編さん委員会条例(昭和28年松戸市条例第23号)は、廃止する。

(松戸市役所部課設置条例の一部改正)

3 松戸市役所部課設置条例(昭和38年松戸市条例第3号)の一部を次のように改正する。

第2条総務部の項中「市誌編さん」を「市史編さん」に改める。

松戸市立博物館研究員設置要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)の資料整備並びに学校教育及び社会教育における博物館の活用に関し、専門的な調査研究に資するため、博物館に研究員をおく。

(定数)

第2条 研究員の定数は、8人を超えない範囲内において、館長が定める。

(委嘱)

第3条 研究員は、博物館の業務に関し、学識経験を有する者のうちから、博物館館長が委嘱する。

(任期)

第4条 研究員の任期は、1年とする。ただし、年度中途に委嘱された研究員の任期は、当該年度末までとする。

(職務)

第5条 研究員は、次に掲げる職務に従事する。

- (1) 博物館の資料の収集、保管、展示等に関する専門的、技術的な調査研究
- (2) 学校教育及び社会教育における博物館の活用に関する専門的な調査研究
- (3) その他博物館の事業に関する専門的な調査研究

(会議)

第6条 館長は、研究員の職務の円滑な遂行を図るため、必要と認めるときは、研究員の会議を開催することができる。

(委任)

第7条 この要綱に定めるもののほか必要な事項は、館長が定める。

附 則

この要綱は、平成5年12月1日から施行する。

松戸市立博物館資料取扱い及び特別利用に関する要綱

(目的)

第1条 この要綱は、松戸市立博物館(以下「博物館」という。)における博物館資料(以下「資料」という。)の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、借入れ及び調査又は研究のための特別利用に関し、必要な手続を定めるものとする。

(寄贈の申込み)

第2条 松戸市教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、資料の寄贈を受けるときは、寄贈の申込みをする者から資料寄贈申込書を徴するものとする。

(寄贈の承認)

第3条 教育委員会は、寄贈を受けることとなった資料を受領したときは、寄贈者に資料受領書を交付するものとする。

(寄託の申込み)

第4条 教育委員会は、資料の寄託を受けるときは、資料の寄託の申込みをする者から資料寄託申込書を徴するものとする。

(寄託資料の受託及び返還)

第5条 教育委員会は、寄託を受けることとなった資料を受領したときは、寄託者に資料受託証書を交付するものとする。

2 寄託を受けた資料(以下「寄託資料」という。)の返還は、資料受託証書と引き替えに行うものとする。

(資料の一時預り)

第6条 教育委員会は、資料の寄贈又は寄託の申込みがあった場合において、資料の寄贈又は寄託の可否を決定するために必要と認めるときは、当該申込者に対し資料の一時預りを求めることができる。

2 教育委員会は、前項の場合において当該申込者が資料の一時預りを承諾したときは、資料と引きかえに資料一時預り証を交付するものとする。

(寄託期間)

第7条 寄託期間は、3年とする。

2 前項の寄託期間の起算日は、寄託を受けた日の属する年度の4月1日とする。

3 教育委員会は、寄託期間の更新をするときは、寄託者から新たに資料寄託申込書を徴するとともに、寄託者に新たに資料受託証書を交付するものとする。

(寄託期間内の返還)

第8条 教育委員会は、寄託期間満了前であっても、寄託者から寄託資料期間内返還申込書の提

出があったときは、寄託資料の返還に応ずるものとする。

(寄託資料の一時返還)

第9条 教育委員会は、寄託資料の一時返還をするときは、寄託期間中に寄託者から寄託資料一時返還申込書を徴するものとする。

2 一時返還の期間は、60日を限度とする。ただし、特別の事由がある場合は、その期間を延長することができる。

3 一時返還の期間中における寄託資料の管理については、教育委員会は、その責を負わない。

(寄託資料の所有者変更)

第10条 教育委員会は、寄託者が寄託資料の所有権を移転する場合においては、寄託者から寄託資料所有者変更届を徴するとともに、受託証書の返還を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、教育委員会は寄託者の死亡に伴い相続が発生したときは、相続により当該寄託資料の所有権を取得した者から、寄託資料所有変更届を徴するものとする。

(受託証書の再交付)

第11条 教育委員会は、前条の規定により寄託資料の所有者の変更が生じた場合は、受託証書の再交付を行うものとする。

2 教育委員会は、寄託者が受託証書を亡失、滅失又は破損した場合は、寄託者にこれらの事由を記載した書面によって受託証書の再交付を申請させるものとする。

(資料の館外貸出し)

第12条 資料の館外貸出しについては、松戸市立博物館管理運営規則第7条に定めるもののほか、次条及び第14条の規定によるものとする。

(資料の館外貸出条件)

第13条 教育委員会は、資料の館外貸出しをしようとするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

- (1) 貸出しを受けた者(以下「借受人」という。)は、貸出しを受けた資料(以下「貸出資料」という。)を善良なる管理者の注意をもって管理すること。
- (2) 貸出資料の取扱いは、学芸員又はこれと同等の資格を有すると認められる者が行うこと。
- (3) 貸出し期間中に貸出資料の保管等のために要する費用は、全て借受人の負担とすること。
- (4) 借受人は、貸出資料を貸出目的以外の用に供してはならない。
- (5) 貸出資料を展示する場合は、原則としてケース内展示とし、松戸市立博物館所蔵の旨を

明示すること。

(6) 借受人は、貸出資料を滅失し、又はき損したときは、これによって生じた損害を賠償すること。

(7) 借受人は、資料借用申込書に記載した事項を遵守すること。

(8) 借受人において、貸出条件に違反する行為があるとき又は特別の事由が生じたときは、貸出期間中であっても貸出を取り消す場合があること及びこの場合において生じた損害については、教育委員会はその責を負わないものであること。

(9) 博物館職員の指示に従うこと。

(10) その他必要と認められる条件

(借用書の徴収)

第14条 教育委員会は、貸出資料と引き替えに借受人から資料借用書を徴するものとする。

(資料の借入れ)

第15条 教育委員会は、博物館における展示、研究等のために資料の借入れをするときは、借入れする資料(以下「借受資料」という。)の受領の際、資料預り証を資料の貸主に交付するものとする。

(借受資料の返還)

第16条 借受資料の返還は、資料預り証と引き替えに行うものとする。

(特別利用の申込み)

第17条 資料について、調査、写真撮影等の特別な利用(以下「特別利用」という。)をしようとする者は、資料特別利用申込書(寄託資料にあっては資料特別利用申込書及び所有者の承諾書)を教育委員会に提出して申込まなければならない。

(特別利用の承認)

第18条 教育委員会は、前条の申込みがあった場合において、資料の特別利用を承認したときは、当該申込者に資料特別利用承認書を交付するものとする。

(特別利用の条件)

第19条 教育委員会は、特別利用の承認をするときは、次の各号に掲げる条件を明示するものとする。

- (1) 資料の特別利用申込書に記載した目的以外の用に供してはならないこと。
- (2) 出版物等に掲載する場合は、松戸市立博物館所蔵の旨を明示すること。
- (3) 出版物等に掲載する場合は、博物館(寄託資料にあっては、博物館及びその所有者)に出版物等を寄贈すること。
- (4) 博物館職員の指示に従うこと。

(5) その他必要と認める条件
(申込書等の様式)

第20条 この要綱の施行に関し必要な申込書等の様式は、別表の定めるところによる。ただし、特に必要と認める場合は、これらの様式に準じたものをもって手続をすることができる。

(委任)

第21条 この要綱の実施に関して必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この要綱は、平成5年12月1日から施行する。
- 2 この要綱の施行前になされた資料の寄贈又は寄託による受入れ、貸出し、特別利用その他の手続については、この要綱の相当規定によりなされたものとみなす。

松戸市立博物館紀要投稿規程

(目 的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)への投稿に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(資 格)

第2条 紀要に投稿することができる者は、次の各号に定めるものとする。

- (1) 投稿時において松戸市立博物館の職員である者
- (2) 投稿時において松戸市立博物館の研究員である者
- (3) 過去において松戸市立博物館の職員であった者
- (4) 松戸市立博物館が投稿を依頼した者
- (5) その他松戸市教育委員会が適当と認めた者

(審 査)

第3条 原稿の掲載の可否は、松戸市立博物館紀要査読規程(平成23年10月1日施行。以下「査読規程」という。)にもとづいて松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)で査読の上決定し、著者に通知するものとする。

(投稿区分と枚数)

第4条 紀要の投稿区分と枚数は、次の各号に定めるところによる。

- (1) 論文 70枚以内(400字詰原稿用紙換算)
 - (2) 研究ノート 50枚以内(同上)
 - (3) 資料紹介 30枚以内(同上)
 - (4) その他 編集委員会の定めるところによる
- 2 前項の枚数には、本文、注、参考文献、図表を含めるものとする。

3 投稿する原稿は、未発表のものに限る(刊行予定のものは既発表とみなす)。

(投稿形式)

第5条 投稿の形式は、原則として電子文書によるものとし、電子メールの添付ファイルとして送信し、又は電子媒体を編集委員会事務局宛てに送付する方法によるものとする。併せて、電子文書とは別に、紙媒体に印字された原稿を一部送付する。

2 前項の規定にかかわらず、編集委員会が特に必要と認めたときは、紙媒体による投稿をすることができる。この場合における投稿部数は、4部とする。

3 前2項の原稿を投稿するときは、図1に示す投稿票を添付するものとする。

(締 切)

第6条 投稿の締め切りは、毎年10月31日とする。

(校 正)

第7条 原稿が受理された後の本文の書き直しは、校正(明らかな誤字脱字を訂正することをいう。)を除き、これを認めない。

2 前項に規定する校正には、松戸市立博物館紀要執筆要領(以下「執筆要領」という。)にもとづいて形式を訂正することを含む。

3 著者による校正は初校のみとし、再校以後は編集委員会事務局が行うものとする。

(別刷の取り扱い及び掲載誌の贈呈)

第8条 著者には著作が掲載された号の紀要を5部贈呈する。

2 別刷が必要なときは、投稿時に編集委員会事務局あて必要部数を通知するものとし、別刷の作成に必要な経費は著者が負担する。

(委 任)

第9条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規定は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

図1 (用紙規格 J I S A 5)

投稿票

氏 名	
タイトル	
投稿区分	
原稿枚数(400字詰 原稿用紙換算)	

松戸市立博物館紀要編集委員会規程

(目 的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)の設置に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(所掌事務)

第2条 編集委員会は、次の各号に掲げる事項について調査審議するものとする。

- (1) 松戸市立博物館紀要に投稿された原稿の掲載の可否に関すること。
- (2) その他松戸市立博物館紀要の編集・発行に関し必要な事項

(構 成)

第3条 編集委員会の委員は、学識経験を有する者及び関係機関の職員のうちから2名以上の者を松戸市立博物館長(以下「館長」という。)が指名する。

2 編集委員会の委員長は、館長をもってあてる。

(会 議)

第4条 編集委員会の会議は委員長が招集し、自ら議長となる。

(意見の聴取)

第5条 編集委員会は、会議に編集委員以外の者の出席を求め、意見又は説明を聴くことができる。

(庶 務)

第6条 編集委員会の庶務は、松戸市立博物館において処理する。

(委 任)

第7条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

松戸市立博物館紀要査読規程

(目的)

第1条 この規程は、松戸市立博物館紀要(以下「紀要」という。)に投稿された原稿の査読に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(査読)

第2条 松戸市立博物館紀要編集委員会(以下「編集委員会」という。)は、紀要に投稿された論文、研究ノート及び資料紹介(以下「論文等」という。)について査読を行い、その結果を投稿者に通知するものとする。

2 編集委員会は、必要に応じて編集委員以外の者に査読を依頼することができる。

(査読方法)

第3条 編集委員会は、査読対象の論文等に関し、別表1に掲げる事項について評価を行う。

(判定)

第4条 編集委員会は、前条の評価に基づいて別表2に掲げる4段階の判定を行う。

2 前項の判定は、編集委員の過半数の賛成によって行うものとする。

(委任)

第5条 この規程に定めるもののほか必要な事項は、松戸市立博物館長が別に定める。

附 則

この規程は、平成23年10月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成24年6月1日から施行する。

附 則

この規程は、平成26年4月1日から施行する。

別表1

1 形式

- (1) 表題・副題の適切さ
- (2) 章・節等の全体構成の適切さ
- (3) 原稿枚数の適切さ
- (4) 投稿区分の妥当性

2 内容

- (1) 素材及び資料の妥当性、提示方法
- (2) 論理展開の明確さ
- (3) 内容の正確さ、完成度
- (4) 結論の提示方法

3 図表等

- (1) 図表の必要性
- (2) 図表の作成、説明の適切さ

4 文献

- (1) 参考文献の妥当性、引用の適切さ

5 表現

- (1) 文章の表現力、読みやすさ

別表2

- 1 掲載可(再審査不要)
 - (1) このままで掲載可
 - (2) 指摘箇所訂正後に可
- 2 修正後再審査
 - (1) 書き直し後に再審査
 - (2) 投稿区分の変更を必要とする
- 3 掲載否
 - (1) 既発表部分が多い
 - (2) 「松戸市立博物館紀要」として不適當
 - (3) 内容不可
- 4 判定不能
 - (1) 一部他分野の専門家の判断を必要とする
 - (2) その他

職員名簿（平成30年4月1日現在）

館長（非常勤）	望月 幹夫
次長	堤 和子
館長補佐・学芸員	山田 尚彦
館長補佐	染野 寿郎
主任主事	渡辺 宏一
主事	坪内 知世
主事	山本 直
主幹・学芸員	中山 文人
主幹・学芸員	青木 俊也
主査・学芸員	柏木 一朗
主査・学芸員	富澤 達三
主任主事・学芸員	小林 孝秀
再任用・学芸員	大森 隆志

人事異動

〈平成30年4月1日〉（カッコ内は転出後・転入前の所属）

転出：主事	永井 勇輔（国民健康保険課）
転入：次長	堤 和子（男女共同参画課）
館長補佐	染野 寿郎（監査委員事務局）
主事	山本 直（市民課）

〈平成30年6月20日〉

退職：主事	坪内 知世
-------	-------

〈平成31年3月31日〉

退職：館長補佐・学芸員	山田 尚彦
退職：主査・学芸員	柏木 一朗

松戸市立博物館年報 第26号

発行日 令和元年8月23日
編集発行 松戸市立博物館
松戸市千駄堀671番地（〒270-2252）
電話 047-384-8181（代表）
http://www.city.matsudo.chiba.jp/m_muse/
印刷 株式会社 弘文社

